

事業年報

Activity Report 2013 (No.31)

.....
平成25年度版
.....

通巻 第31号

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
Hyogo Health Service Association

綱 領

1. 国民の健康保持増進のため、予防医学事業の進展に務めることを目的とし、広く社会に貢献します。
2. 常に新しい医学の研究に取り組み、技術の向上を怠らず、正確に迅速な健診検査業務を行うとともに、保健知識の普及に努めます。
3. 確固とした自主独立の精神を堅持し、質実を心掛け、謙讓の気持ちを忘れず、協会発展のため誠実かつ積極的にその職責を全うします。

公益財団法人 兵庫県予防医学協会

はじめに

本会の事業運営につきましては、日ごろより格別なるご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

我が国の社会経済情勢は、消費税増税後の落ち込みから持ち直しつつあり、雇用や所得関連が改善傾向を維持する一方で、個人消費の回復の鈍さが続くなど、まだまだ景気回復を実感するには至っておりません。健康面では、メンタルに不調を訴える従業員が増加していることが、大きな社会問題となっております。そのため、メンタルヘルス対策の充実・強化を目的として労働安全衛生法の一部を改正する法案（通称ストレスチェック義務化法案）が国会で可決・成立し2015年12月より施行されることになりました。

健診・検査を取り巻く環境は、依然として特定健康診査・特定保健指導や各種がん検診ともに受診率が伸び悩み、県下の受診率は全国平均を下回る状態です。

産業保健分野においては、厳しい雇用情勢により事業所従業員が減少し、また学校保健の分野では長期に続く出生率の低下による児童・生徒数の減少の影響を受け、それぞれに厳しい状況が続いております。

このような状況下で大きな変革を求められている中、当協会は平成25年4月1日付けで公益財団法人へ移行いたしました。今後は一層、事業の内容を充実させ、積極的に各種健診・検査の受診率向上を図り、県民の疾病予防と健康増進に寄与してまいります。

また、平成25年11月に竣工した新健診センターは、26年1月より施設での健診を開始し、受診者の満足度を高めるべく日々サービスの向上に努めてまいります。

皆様の尚一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

平成26年12月

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
会 長 南 部 征 喜

公益財団法人 兵庫県予防医学協会 事業年報

平成25年度版 第31号

目 次

綱 領

はじめに

I 疾病予防に関する知識の普及・啓発活動

1. 広報・情報提供事業	3
(1) 機関誌「あすの健康」の発行	3
(2) 「産業保健情報誌」の発行	4
(3) ホームページでの情報提供事業等	4
2. 講演会開催、講師派遣、普及・啓発活動	5
(1) 講演会の開催	5
(2) 講師派遣（産業医としての指導も含む）	7
(3) 普及・啓発活動	8

II 疾病予防のための健康診断及び検査事業

1. 地域保健	11
(1) 神戸市国民健康保険 特定健康診査	11
(2) その他自治体 特定健康診査	15
(3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）	16
(4) 乳がん検診（神戸市・芦屋市・伊丹市）	18
(5) 子宮頸がん検診（指定医療機関分）	19
(6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）	21
(7) 大腸がん検診（神戸市）	25
(8) 前立腺がん検診	26
(9) 結核健診（神戸市）	27
(10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）	28
(11) エイズ（HIV/AIDS）及びクラミジア・梅毒検査	30
(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）	32

2. 学校保健	33
(1) 心臓検診	33
(2) 脊柱変形学校検診	35
(3) 腎臓・糖尿病検診	38
(4) 結核検診（胸部X線）	40
(5) ぎょう虫卵検査	41
3. 産業保健	42
(1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断	42
(2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）	43
4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）	44
(1) 胃がん検診	44
(2) 肺がん検診（職域）	46
(3) 大腸がん検診	48
5. 人間ドック・脳ドック	50
6. 保健指導	53
(1) 特定保健指導事業	53
(2) 健康相談事業	54
7. 細胞診	57
(1) 子宮がん細胞診	57
(2) 喀痰細胞診	59
8. 腸内細菌検査	61
9. 環境測定	62
10. 食品検査	63
11. 水質検査	64
12. 水道施設検査	66

Ⅲ 予防医学に関する調査研究事業

調査・研究	71
1. 論文発表（総説論文、原著論文等）	71
2. 学会報告等	71

Ⅳ 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業	75
（1）健康学習	75
（2）健康づくり教室	77
（3）運動施設の個人利用	82
2. 健康づくり支援事業	83
（1）講師派遣等	83
（2）健康づくりの場の提供（貸室等）	86

Ⅴ 沿革・概要

1. 沿革	89
2. 施設概要	94
3. 組織図	95
4. 名簿	96
（1）役員名簿	96
（2）評議員名簿	97
（3）顧問・名誉会長名簿	98
5. 有資格者一覧	99

I 疾病予防に関する知識の 普及・啓発活動

1. 広報・情報提供事業

(1) 機関誌「あすの健康」の発行

昭和48年7月から、予防医学知識の普及・啓発や健康づくり情報を広く提供することを目的として発行しており、現在は年4回発行、県内の学校（小、中、高、大）、県内医師会、関連事業所、行政、関係機関などに配布している。

誌面は、「からだの話」「エッセイ」「赤ちゃんの四季」「ひょうご・小さな旅」「歴史を歩く」「トピックス」から構成されている。今年度3月から当協会発行の産業保健情報誌と合併し、新たに「協会情報」欄が加わった。

	90号 平成25年6月	91号 平成25年9月	92号 平成25年12月	93号 平成26年3月
からだの話	からだにやさしい放射線治療	心房細動	血液がんとその治療	高齢者の健康管理
エッセイ	妻の入院	卯衣（ウイ）先生	一冊の本に学ぶ	“心〈こころ〉”はどこに？
赤ちゃんの四季	脳科学、認知心理学からみた早期教育の是非 その1	脳科学、認知心理学からみた早期教育の是非 その2	生まれつきもつ“まなかい”能力を損なわないように	光るニホンウナギと赤ちゃんの黄疸
ひょうご・小さな旅	ひょうご環境体験館（通称・はりまエコハウス）	鶴林寺と界隈	豊岡市街地界隈	竹中半兵衛の墓と三木城跡周辺
歴史を歩く	古代から開けた三田盆地	城下町、三田	三田文化の偉人から	断層崖を落ちる名瀑の信仰
協会情報	—	—	—	◇健診結果の読み方・生かし方 ◇健診データを活用した健康づくり

（２）「産業保健情報誌」の発行

職場における健康管理の取り組みや、健康づくりに対する工夫など、産業保健分野のさまざまな情報を発信することを目的として産業保健情報誌を作成し、兵庫県下の事業所や各種団体（約1,000ヵ所）へ平成13年9月から定期的に発刊している。

内容は事業所や健康保険組合などの取材を行い、活動内容を記事とした『職場訪問』に始まり、季節ごとのエッセイ、トピックスなどを記載している。また、『働く人の健康管理研修会』の活動報告を掲載し、研修会に参加できなかった方々への情報発信を行っている。

	Vol.30 4月	Vol.31 9月
職場訪問	大阪ガス株式会社 人事部 大阪ガスグループ健康開発センター	兵庫大学・兵庫大学短期大学部
働く人の健康管理研修会報告	ポジティブ・メンタルヘルス －職場改善は風通しの良いコミュニケーションと主体性から－	職場復帰支援 －最近の裁判例も踏まえて－
トピックス	「特定保健指導の効果について①」	「特定保健指導の効果について②」
健康情報	朝ごはん生活を始めよう －朝もおかずを大切に－	いつまでも若々しく！ －糖化予防の生活習慣を目指そう－

（３）ホームページでの情報提供事業等

ホームページの全面リニューアルをおこない、内容の充実を図るとともに、事業内容など利用者が情報を検索しやすいようにページ分類も改善した。従来と同じく、機関誌「あすの健康」の掲載内容やセミナー、フォーラムの参加者募集の案内を掲載する等、予防医学の普及・啓発をおこなった。また、人間ドックの申込ページを追加し、利用者の利便性を高めた。新館移転による検索も

増加しているため、必要な情報をわかりやすく提供できるように今後も手直しをしながら、よりよいページを作成していきたい。

健康ライフプラザのホームページは、昨年 of 全面リニューアル後、他府県からの閲覧が増加し、見学の問い合わせなどが増加した。

2. 講演会開催、講師派遣、普及・啓発活動

(1) 講演会の開催

i. 予防医学フォーラム

昭和61年の予防医学事業推進神戸大会からさまざまなテーマで開催し、今回で28回目を迎えた。平成25年度は、神戸新聞松方ホールにおいて平成25年11月9日に開催した。札幌医科大学医学部細胞生理学講座教授 當瀬規嗣氏

から「疲れは体からの警報－そのつきあい方」と題し、ご講演いただいた。

講演後は、聞き手に元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談が行われ、体の疲れと精神的な疲労について話し合われた。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第28回 11月8日	疲れは体からの警報 －そのつきあい方－ 【要旨】 同じ動作を繰り返すことでおこる筋肉疲労（短期疲労）が、動作を中止して筋肉を休めると回復するように、体の疲労や精神的疲労（長期の疲労）も体に休息を与えると回復する。 しかし、頭の中の「報酬系」という仕組みが疲労感を克服してしまい、体からのサインを無視して頑張ってしまうのが、現代の重要な問題。頑張るタイプの人は疲れを自覚しないので、定期的な休息が必要。 体の疲れは、休めば早く回復するが、精神的な疲労は、ストレスの蓄積と考えられ、解消するには手間がかかる。精神的な疲労で重要なのは睡眠と気分転換。 疲れない人間はこの世に存在しないので一日の生活にメリハリをつけ過ごすことが大切である。	札幌医科大学医学部 細胞生理学講座教授 當瀬 規嗣 氏	556

ii. いきいきライフセミナー

毎年9月のがん征圧月間にちなみ、がんの話やさまざまな健康をテーマに「いきいきライフセミナー」を開催している。今年度は、平成25年9月14日に神戸新聞松方ホールにおいて開催した。

「笑顔をとりもどすためのがん治療－最新の放射線療法のすべて」と題し、神戸大学附属病院放射線腫瘍科特

命教授 佐々木良平氏にご講演いただいた。

講演後、元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談では、手術、放射線療法、化学療法をどう組み合わせれば最適か、主治医とよく相談して、自分にあった治療法を選んでほしいとのお話があり、続いて座ったままできる健康表現体操があった。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第26回 9月14日	笑顔をとりもどすためのがん治療 －最新の放射線療法のすべて－ 【要旨】 兵庫県でがんが見つかった経緯を調べたところ、60%以上がリンパ節転移などの症状が出てからわかったか、発見の経緯不明というのが実態。がんを早期発見し根治するには検診を受けることが大切なので、一人一人がそのチャンスを活用することが大事。 近年、放射線装置の進歩は著しく、より体に優しい低侵襲ながん治療を可能にしている。特に、乳がん、前立腺がん、頭頸部がんの高い治療効果がある。 「すべてのがん患者さんが笑顔を取り戻せるように、また納得いく人生を送れるように、そばに寄り添いながら全力で応援していきたいと願っている」とまとめられた。	神戸大学附属病院 放射線腫瘍科特命教授 佐々木良平 氏	451

iii. がんをよく知るための講座

日本人の死亡率のトップを占める“がん”についての知識を深めるために、専門分野の医師による講座を開催

している。

今年度は健康ライフプラザ5階多目的室において2回開催した。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第39回 7月23日	血液がんとその治療について 【要旨】 かつては「不治の病」といわれた血液がんだが、遺伝子研究が進んだ結果、近年は新しい薬が次々と開発され、生存率は大きく向上している。 血液がんは骨髄やリンパ節の中で血液のもとになる細胞ががん化する。一つの細胞に遺伝子異常が起これば、異常な細胞が増えることが原因。遺伝子の異常は個体の一つの細胞で生じ、遺伝病とは異なる。治療は、化学療法（抗がん剤）、分子標的療法、移植療法の3種類があり、血液がんの種類や病状によって選ぶ。 今後もゲノム（全遺伝情報）解析など技術の進歩とともに、治療成績の向上が期待される。	神鋼病院 血液センター センター長 高橋 隆幸 氏	86
第40回 2月19日	早期胃・大腸がんの内視鏡治療 －早く見つけ早く治療しよう－ 【要旨】 胃がんと大腸がんは、日本人にとって罹患率、死亡率ともがんの中で上位だが、早期発見による生存率は上がっている。 胃がんは主にピロリ菌による感染症で、予防可能ながんである。感染の有無を調べ、陽性だった場合は、内視鏡検査をして、ピロリ菌の除菌治療をする。 早期のがんが見つかった場合は、内視鏡手術が有効。ポリープ切除や内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）をおこなう。粘膜や粘膜下層にできたがんをこれらの方法で早期に手術した場合の5年生存率は、ほぼ9割以上になっている。早期発見のためには1年に1回、健康診断を受診していただきたい。	神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野教授 東 健 氏	76

iv. 働く人の健康管理研修会

「働く人の健康管理研修会」は、県下の各種団体や事業所・健康保険組合に勤務する衛生管理者、健康診断担当者や医療従事者に、産業保健分野に関する新しい情報

や時事の話題をタイムリーに提供するとともに、参加者相互の情報交換や交流の場として活用ができる機会となることを目的に、年2回開催している。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第42回 5月21日	①職場復帰支援 －最近の裁判例も踏まえて－ 【要旨】 心の健康問題で休業する労働者数が増加する一方、その職場復帰支援が円滑に進まず、訴訟に発展する事例も増えている。 このような現状を踏まえ、心の健康問題を未然に防いだり、また労働者に心の健康問題が生じた場合は、その悪化を予防したり、職場復帰支援を円滑に進めるために、管理監督者の役割や支援のポイントについて、具体的に講演いただいた。 ②腰痛体操	①大阪ガス株式会社 人事部 大阪ガスグループ 健康開発センター 統括産業医 岡田 邦夫 氏 ②健康ライフプラザ 健康運動指導士 清水利江子 氏	56
第43回 10月25日	①セクシュアル・ハラスメントはなぜおこる？ －性の健康と権利について－ 【要旨】 労働基準局への相談件数の増加や労災認定基準の変更など、近年、企業においてはセクシュアル・ハラスメントへの対応が急務となっている。 このような現状を踏まえ、誰もが安心して働ける職場環境づくりを目指して、ハラスメントを理解する視点やセクシュアル・ハラスメントの予防と対策について、ご講演いただいた。 ②肩こり予防リフレッシュ体操	①大阪府立大学 人間社会学部 地域保健学域 教授 東 優子 氏 ②兵庫県予防医学協会 保健師 本田由里絵 氏 下平 朱美 氏	22

(2) 講師派遣（産業医としての指導も含む）

実施日	対 象	テ ー マ	講 師
4月23日	JA全農青果センター株式会社	痛風について	健診センター医長 武 田 弘 子
5月21日	JA全農青果センター株式会社	熱中症について	健診センター医長 武 田 弘 子
6月25日	JA全農青果センター株式会社	食中毒について	健診センター医長 武 田 弘 子
7月23日	JA全農青果センター株式会社	健康診断を受ける前に	健診センター医長 武 田 弘 子
8月22日	株式会社ソフト99コーポレーション	現在の労働環境における問題点	健診センター医長 田 中 一 朗
8月27日	JA全農青果センター株式会社	骨粗鬆症と食事	健診センター医長 武 田 弘 子
9月19日	株式会社新神戸ホールディング	現在の職場労働環境における問題点	健診センター医長 田 中 一 朗
9月20日	神戸地方裁判所	健康診断の結果が届いたら	健診センター副センター長 安 田 敏 成
9月24日	JA全農青果センター株式会社	健康診断の結果が届いたら	健診センター医長 武 田 弘 子
10月15日	神戸交通振興株式会社	飲酒について	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
12月14日	健康保険組合連合会兵庫連合会	心血管病予防のために －メタボ対策の重要性－	常務理事 西 尾 利 一
1月21日	JA全農青果センター株式会社	インフルエンザについて	健診センター医長 武 田 弘 子
2月25日	JA全農青果センター株式会社	たばこと健康	健診センター医長 武 田 弘 子
2月26日	株式会社ノーリツ加古川事業所	インフルエンザ感染	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
3月18日	JA全農青果センター株式会社	花粉症について	健診センター医長 武 田 弘 子
3月19日	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社	「トクホ」について	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
3月19日	神戸市水道局	最近の気になるトピックス	健診センター副センター長 安 田 敏 成

(3) 普及・啓発活動

結核、乳がんの早期発見や知識の普及啓発を目的に、自治体や各種団体が主催するキャンペーン事業に協力し、胸部X線検診車による結核検診、乳房検診車による乳がん検診をおこなった。

結核検診受診者は、こうべ福祉・健康フェアで310名、結核ハイリスク者に対する早期発見および蔓延防止のための啓発活動で1,330名であった。

乳がん検診受診者は、母の日乳がん検診街頭キャンペーンで24名、こうべ福祉・健康フェアで52名、ピンクリボンフェスティバル神戸大会で45名であった。

ピンクリボンフェスティバル神戸大会では神戸推進委員会の一員として、企画運営に参加し、街頭キャンペーンやシンポジウムへの協力、スマイルウォーク参加者への乳がん検診実施など多方面で啓発活動をおこなった。

Ⅱ 疾病予防のための健康診断 及び検査事業

1. 地域保健

(1) 神戸市国民健康保険 特定健康診査

特定健康診査を神戸市国民健康保険等から受託し各区拠点会場において実施した。同時に神戸市独自の若年者・後期高齢者等の神戸市健康診査も受託し実施した。検査項目、実施回数、受診者数は下記のとおりである。

基本項目：身長・体重・BMI・腹囲測定・尿検査・血圧測定・血液検査（肝機能、脂質、血糖）・診察（問診）
 詳細検査：貧血検査・心電図検査・眼底検査
 希望検査：骨粗鬆症検診、前立腺がん検診（PSA検査）
 追加検査：結核健診

特定健康診査・神戸市健康診査受診状況

年度	実施回数	実施人数	性別	受診者数						
				特定健康診査		神戸市健康診査			骨粗鬆症検診	前立腺がん検診
				神戸市国保	市国保以外	若年者	生活保護受給者等	後期高齢者		
平成23年度	389	46,797	男	16,122	65	1,014	81	1,274	2,641	9,514
			女	22,359	1,070	3,441	132	1,239	11,080	
			計	38,481	1,135	4,455	213	2,513	13,721	9,514
平成24年度	394	49,365	男	16,659	66	1,139	88	1,703	2,721	9,756
			女	23,321	1,155	3,500	157	1,577	11,125	
			計	39,980	1,221	4,639	245	3,280	13,846	9,756
平成25年度	406	51,844	男	16,875	160	947	101	1,965	2,670	10,108
			女	23,169	3,536	3,071	141	1,879	11,703	
			計	40,044	3,696	4,018	242	3,844	14,373	10,108

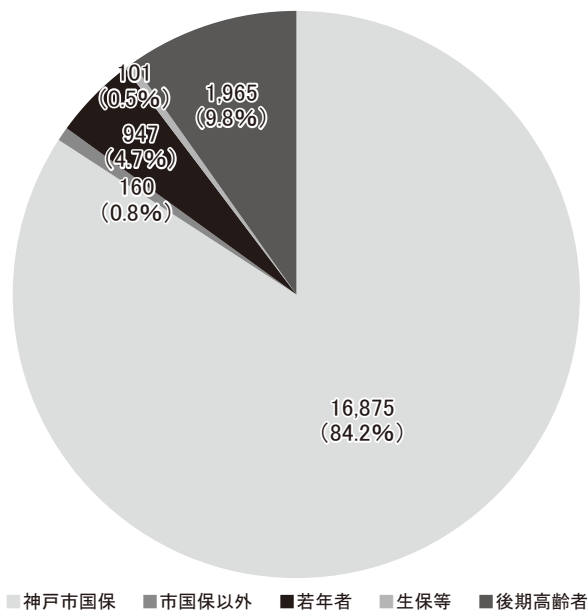


図1 特定健診・神戸市健康診査受診割合（男）

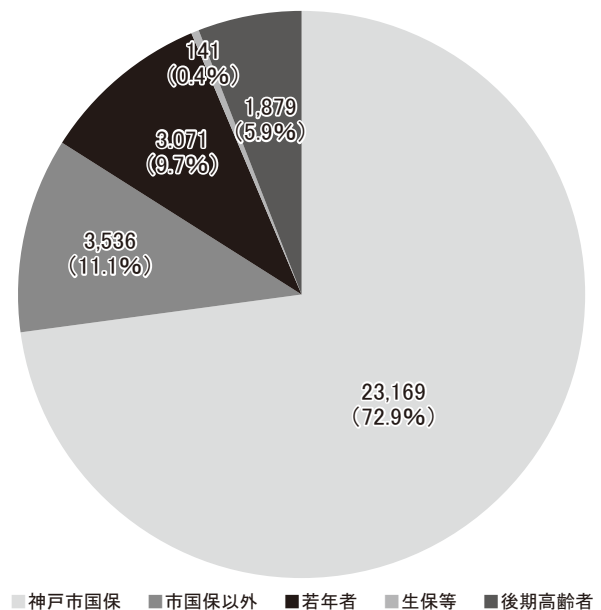


図2 特定健診・神戸市健康診査受診割合（女）

表1 特定健診（神戸市国保）受診結果

年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
				異常なし	要注意	要医療	医療中	
平成23年度	38,481	男	16,122	421	3,479	6,570	5,652	75.8
		女	22,359	1,508	5,139	9,132	6,580	70.3
		計	38,481	1,929	8,618	15,702	12,232	72.6
平成24年度	39,980	男	16,659	443	3,634	6,625	5,957	75.5
		女	23,321	1,561	5,417	9,401	6,942	70.1
		計	39,980	2,004	9,051	16,026	12,899	72.3
平成25年度	40,044	男	16,875	448	3,449	6,794	6,184	76.9
		女	23,169	1,624	4,947	9,607	6,991	71.6
		計	40,044	2,072	8,396	16,401	13,175	73.9

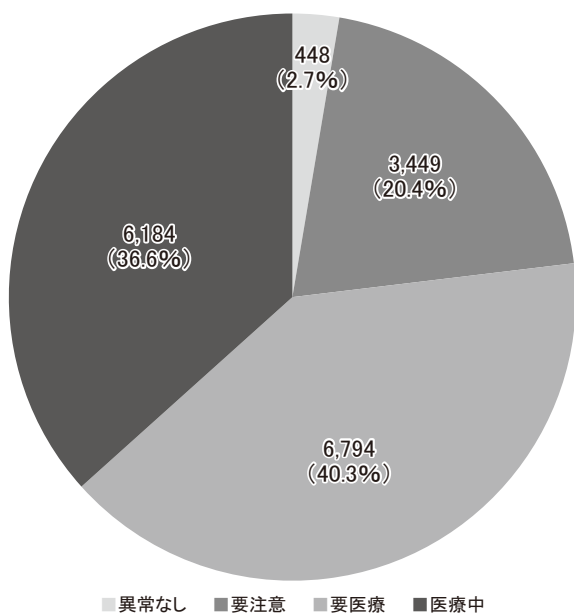


図3 特定健診（神戸市国保）受診結果（男）

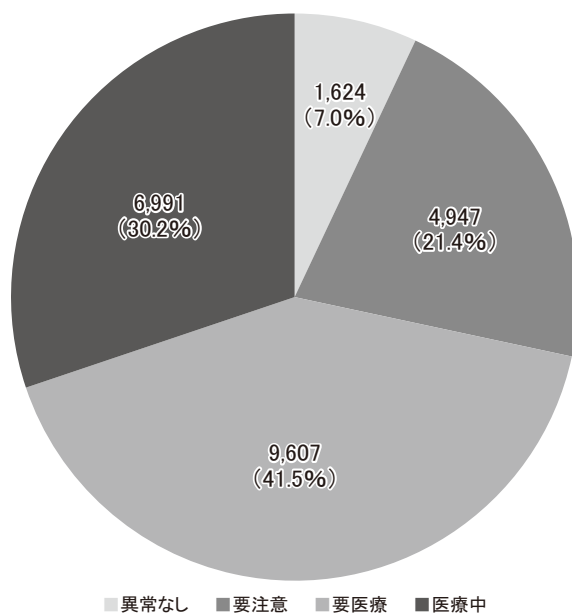


図4 特定健診（神戸市国保）受診結果（女）

表2 神戸市健康診査受診結果

種 別	年 度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
					異常なし	要注意	要医療	医療中	
若年者	平成23年度	4,455	男	1,014	162	439	394	19	40.7
			女	3,441	1,763	1,093	569	16	17.0
			計	4,455	1,925	1,532	963	35	22.4
	平成24年度	4,639	男	1,139	179	526	421	13	38.1
			女	3,500	1,765	1,124	598	13	17.5
			計	4,639	1,944	1,650	1,019	26	22.5
	平成25年度	4,018	男	947	160	398	374	15	41.1
			女	3,071	1,554	971	533	13	17.8
			計	4,018	1,714	1,369	907	28	23.3
生活保護 受給者等	平成23年度	213	男	81	3	13	41	24	80.2
			女	132	28	39	45	20	49.2
			計	213	31	52	86	44	61.0
	平成24年度	245	男	88	4	25	32	27	67.0
			女	157	28	47	48	34	52.2
			計	245	32	72	80	61	57.6
	平成25年度	242	男	101	1	25	43	32	74.3
			女	141	29	36	47	29	53.9
			計	242	30	61	90	61	62.4
後期高齢者	平成23年度	2,513	男	1,274	24	286	413	551	75.7
			女	1,239	23	202	467	547	81.8
			計	2,513	47	488	880	1,098	78.7
	平成24年度	3,280	男	1,703	41	404	554	704	73.9
			女	1,577	29	294	597	657	79.5
			計	3,280	70	698	1,151	1,361	76.6
	平成25年度	3,844	男	1,965	38	409	656	862	77.3
			女	1,879	39	365	657	818	78.5
			計	3,844	77	774	1,313	1,680	77.9

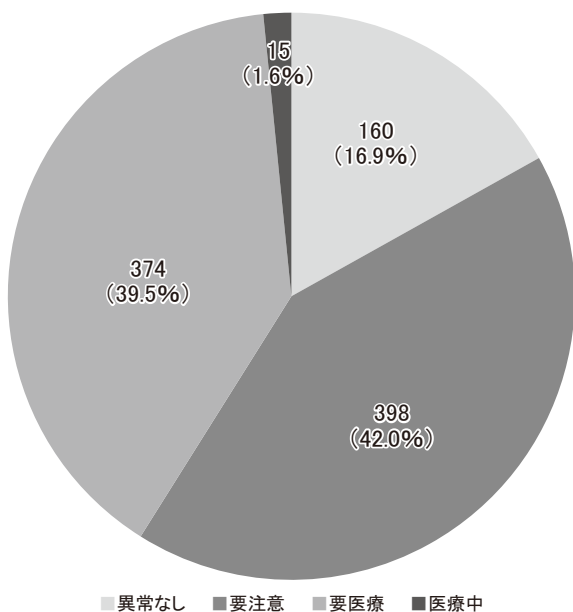


図5 若年者受診結果 (男)

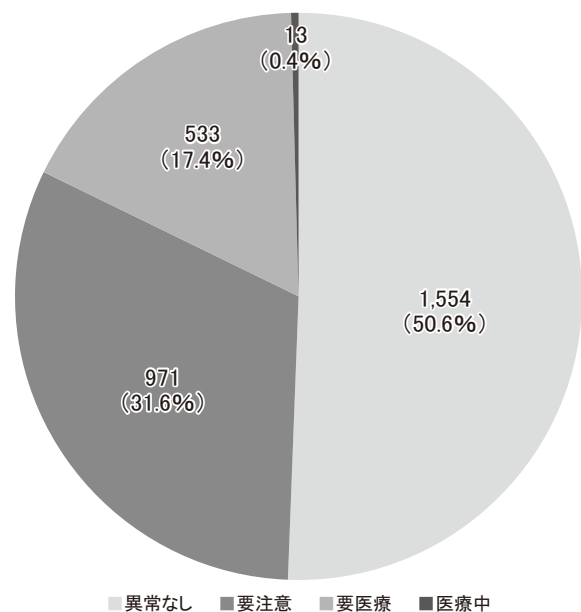


図6 若年者受診結果 (女)

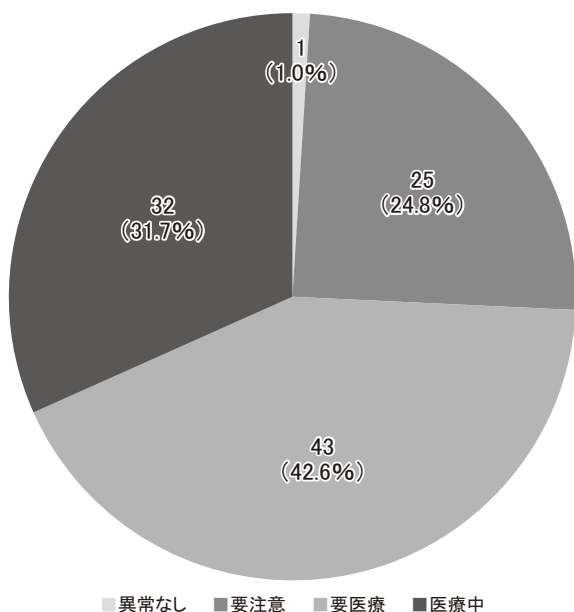


図7 生活保護受給者等等受診結果（男）

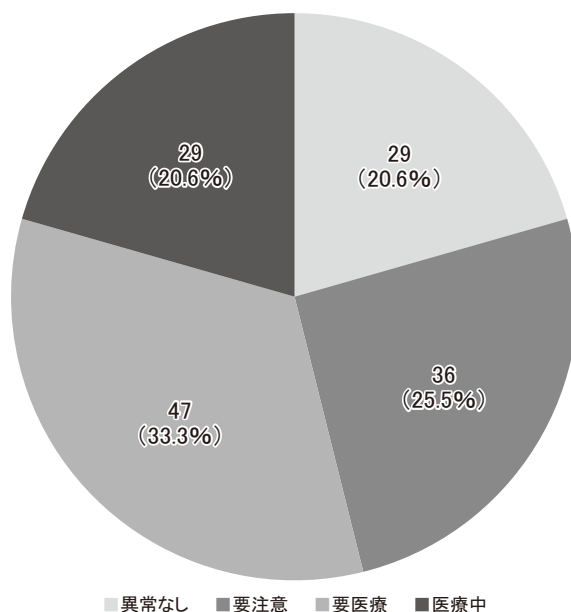


図8 生活保護受給者等等受診結果（女）

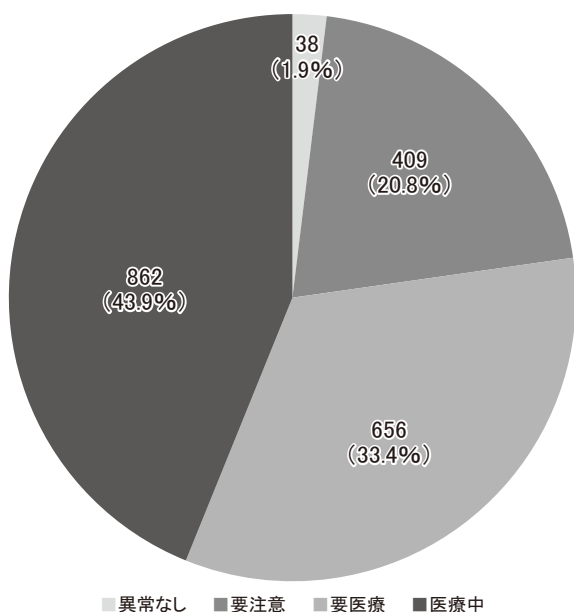


図9 後期高齢者受診結果（男）

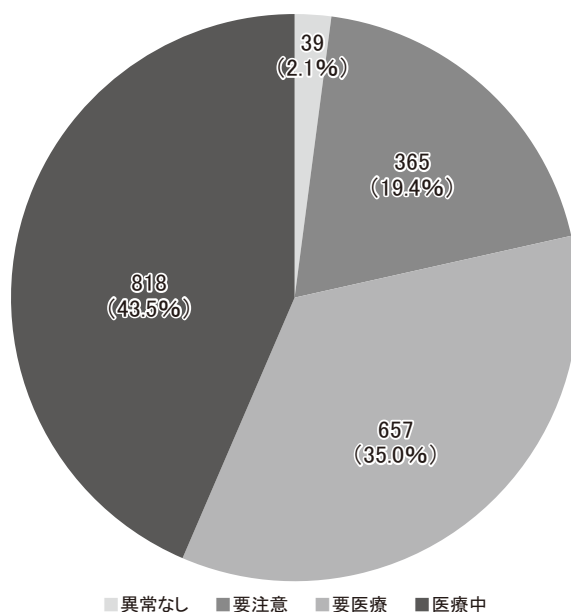


図10 後期高齢者受診結果（女）

(2) その他自治体 特定健康診査

年齢階級	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
40～44	男	81	40	49.4	83	47	56.6	70	35	50.0
	女	128	30	23.4	125	33	26.4	119	28	23.5
	計	209	70	33.5	208	80	38.5	189	63	33.3
45～49	男	81	46	56.8	71	27	38.0	73	36	49.3
	女	127	40	31.5	105	25	23.8	103	29	28.2
	計	208	86	41.3	176	52	29.5	176	65	36.9
50～54	男	68	43	63.2	57	41	71.9	71	47	66.2
	女	115	57	49.6	115	47	40.9	127	61	48.0
	計	183	100	54.6	172	88	51.2	198	108	54.5
55～59	男	87	64	73.6	64	45	70.3	84	61	72.6
	女	158	95	60.1	145	87	60.0	159	97	61.0
	計	245	159	64.9	209	132	63.2	243	158	65.0
60～64	男	204	164	80.4	187	154	82.4	152	116	76.3
	女	419	279	66.6	354	239	67.5	301	199	66.1
	計	623	443	71.1	541	393	72.6	453	315	69.5
65～69	男	118	97	82.2	225	181	80.4	271	221	81.5
	女	129	96	74.4	329	227	69.0	387	265	68.5
	計	247	193	78.1	554	408	73.6	658	486	73.9
70～74	男	53	46	86.8	125	101	80.8	154	120	77.9
	女	65	54	83.1	180	128	71.1	190	141	74.2
	計	118	100	84.7	305	229	75.1	344	261	75.9
合 計	男	692	500	72.3	812	596	73.4	875	636	72.7
	女	1,141	651	57.1	1,353	786	58.1	1,386	820	59.2
	計	1,833	1,151	62.8	2,165	1,382	63.8	2,261	1,456	64.4

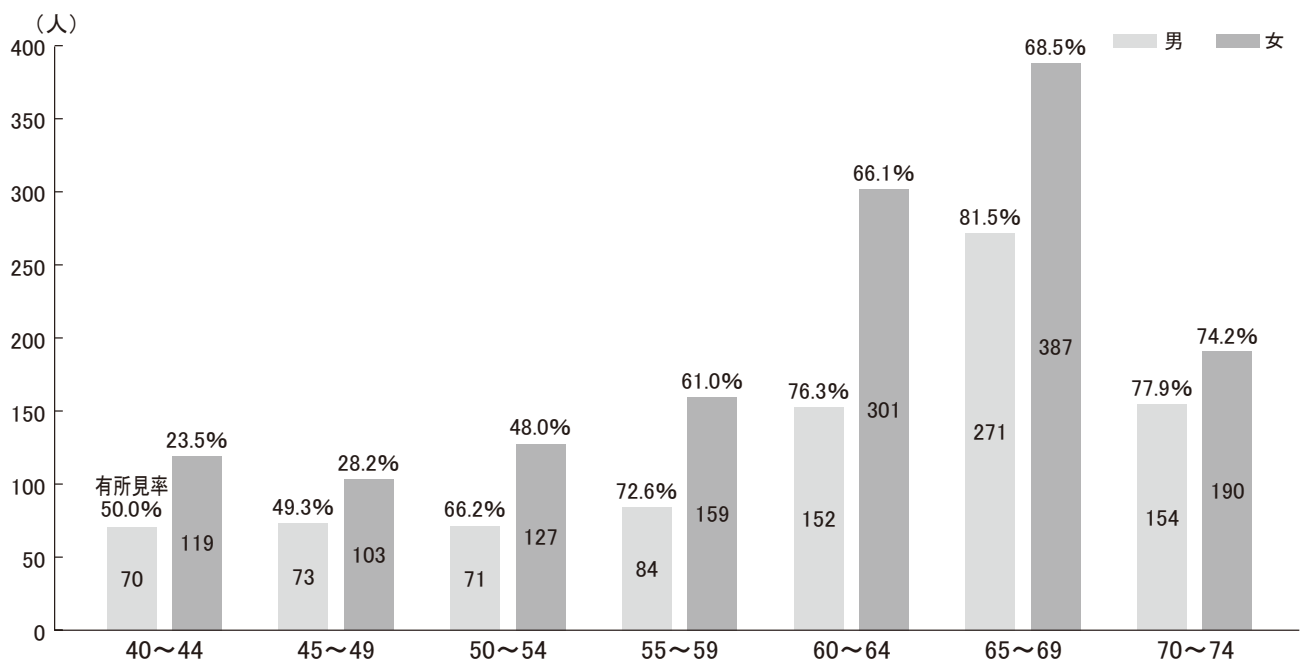


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

(3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）

地域胃がん検診は、神戸市、伊丹市より委託され地域住民を対象に実施している。神戸市は撮影を当協会、読影は神戸市医師会（一部当協会）、追跡管理は当協会で行っている。伊丹市は撮影、読影は当協会が追跡管理は

伊丹市で行っている。受診勧奨・休日に実施する等、受診できる環境の整備をすることにより受診率向上を図っている。

表1 胃部X線検査（神戸市）

年齢階級	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	741	39	5.3	805	31	3.9	795	17	2.1
	女	2,240	16	0.7	2,243	105	4.7	2,187	67	3.1
	計	2,981	55	1.8	3,048	136	4.5	2,982	84	2.8
45～49	男	329	22	6.7	381	21	5.5	408	18	4.4
	女	650	40	6.2	655	27	4.1	743	38	5.1
	計	979	62	6.3	1,036	48	4.6	1,151	56	4.9
50～54	男	333	22	6.6	324	23	7.1	342	23	6.7
	女	629	57	9.1	668	32	4.8	625	22	3.5
	計	962	79	8.2	992	55	5.5	967	45	4.7
55～59	男	364	33	9.1	382	33	8.6	376	18	4.8
	女	853	46	5.4	818	52	6.4	730	31	4.2
	計	1,217	79	6.5	1,200	85	7.1	1,106	49	4.4
60～64	男	1,036	94	9.1	1,044	64	6.1	903	71	7.9
	女	2,043	140	6.9	1,798	106	5.9	1,562	79	5.1
	計	3,079	234	7.6	2,842	170	6.0	2,465	150	6.1
65～69	男	1,866	172	9.2	1,956	174	8.9	2,031	144	7.1
	女	2,098	145	6.9	2,157	121	5.6	2,214	127	5.7
	計	3,964	317	8.0	4,113	295	7.2	4,245	271	6.4
70～74	男	2,281	221	9.7	2,366	203	8.6	2,448	189	7.7
	女	2,141	152	7.1	2,209	136	6.2	2,182	132	6.0
	計	4,422	373	8.4	4,575	339	7.4	4,630	321	6.9
75歳以上	男	1,586	155	9.8	1,806	173	9.6	1,726	155	9.0
	女	1,181	76	6.4	1,344	79	5.9	1,308	72	5.5
	計	2,767	231	8.3	3,150	252	8.0	3,034	227	7.5
合 計	男	8,536	758	8.9	9,064	722	8.0	9,029	635	7.0
	女	11,835	672	5.7	11,892	658	5.5	11,551	568	4.9
計		20,371	4,430	7.0	20,956	1,380	6.6	20,580	1,203	5.8

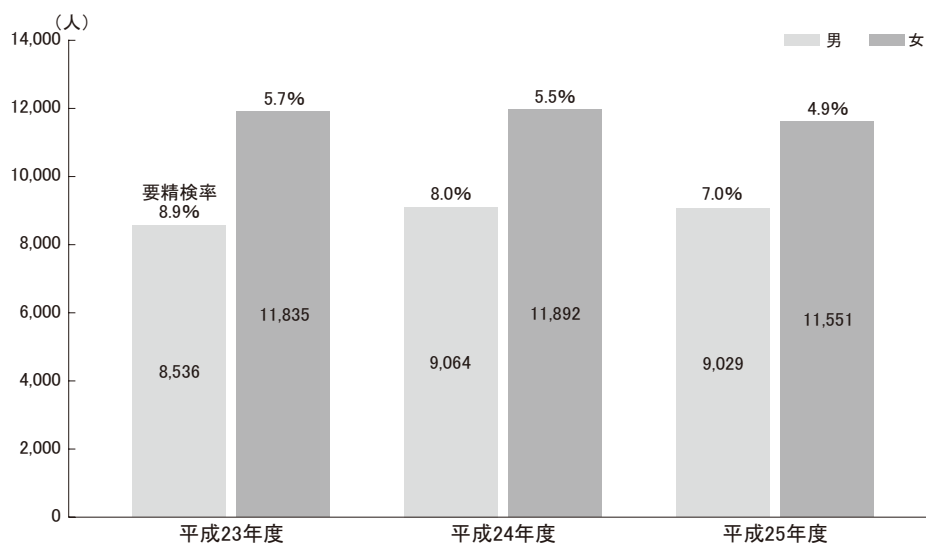


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 胃部X線検査（伊丹市）

年齢階級	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	57	1	1.8	44	1	2.3	0	0	—
	女	116	2	1.7	118	1	0.9	0	0	—
	計	173	3	1.7	162	2	1.2	0	0	—
40～44	男	53	0	0	41	2	5.0	48	1	2.1
	女	95	3	3.2	91	1	1.0	113	4	3.5
	計	148	3	2.0	132	3	2.0	161	5	3.1
45～49	男	28	1	3.6	34	2	6.0	51	5	9.8
	女	84	2	2.4	83	4	5.0	104	2	1.9
	計	112	3	2.7	117	6	5.0	155	7	4.5
50～54	男	43	0	0	38	3	8.0	34	0	0
	女	97	3	3.1	71	3	4.0	85	5	5.9
	計	140	3	2.1	109	6	6.0	119	5	4.2
55～59	男	135	14	10.4	87	6	7.0	39	2	5.1
	女	242	12	5.0	209	12	6.0	89	4	4.5
	計	377	26	6.9	296	18	6.0	128	6	4.7
60～64	男	281	20	7.1	250	18	7.0	80	6	7.5
	女	289	16	5.5	242	8	3.0	176	6	3.4
	計	570	36	6.3	492	26	5.0	256	12	4.7
65～69	男	237	10	4.2	208	20	10.0	244	34	13.9
	女	239	14	5.9	226	8	4.0	255	14	5.5
	計	476	24	5.0	434	28	6.0	499	48	9.6
70～74	男	144	15	10.4	170	15	9.0	259	16	6.2
	女	101	8	7.9	122	8	7.0	229	15	6.6
	計	245	23	9.4	292	23	8.0	488	31	6.4
75歳以上	男	56	4	7.1	70	5	7.0	233	24	10.3
	女	24	1	4.2	38	3	8.0	166	7	4.2
	計	80	5	6.3	108	8	7.0	399	31	7.8
合 計	男	1,034	65	6.3	942	72	8.0	988	88	8.9
	女	1,287	61	4.7	1,200	48	4.0	1,217	57	4.7
	計	2,321	126	5.4	2,142	120	6.0	2,205	145	6.6

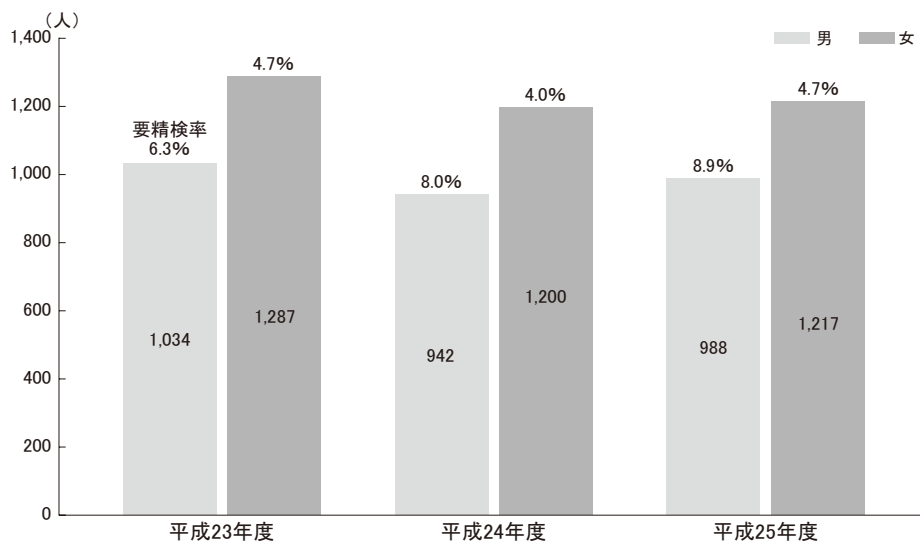


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

(4) 乳がん検診（神戸市・芦屋市・伊丹市）

乳がん検診は、人間ドック受診時と神戸市、伊丹市、芦屋市の依頼による住民検診で行っている。

乳がんの罹患率・死亡数は近年増加傾向である。地方

自治体からの巡回検診の依頼や、受診者数の増加に対応するため、検診車の効率的稼働と優良施設認定機関として精度管理等検診体制の充実を図っている。

表1 乳がん検診（神戸市）

年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	1,066	133	12.5	995	62	6.2	843	47	5.6
45～49	790	109	13.8	659	51	7.7	628	46	7.3
50～54	1,084	113	10.4	1,077	52	4.8	895	46	5.1
55～59	753	65	8.6	744	44	5.9	579	28	4.8
60～64	1,895	173	9.1	1,661	78	4.7	1,463	84	5.7
65～69	795	80	10.1	952	60	6.3	1,047	66	6.3
70歳以上	1,305	113	8.7	1,542	69	4.5	1,923	102	5.3
計	7,688	786	10.2	7,630	416	5.5	7,378	419	5.7

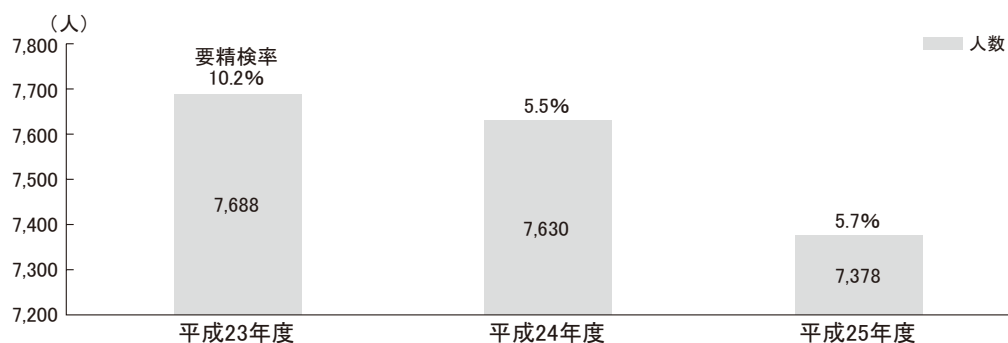


図1 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 乳がん検診（伊丹市）

年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	9	3	33.3	0	0	—	0	0	—
40～44	234	23	9.8	272	14	5.1	284	15	5.3
45～49	202	20	9.9	190	12	6.3	204	16	7.8
50～54	128	11	8.6	145	9	6.2	140	7	5.0
55～59	116	10	8.6	97	4	4.1	108	8	7.4
60～64	174	15	8.6	157	11	7.0	136	4	2.9
65～69	42	4	9.5	43	2	4.7	43	2	4.7
70歳以上	28	3	10.7	35	0	0	24	2	8.3
計	933	89	9.5	939	52	5.5	939	54	5.8

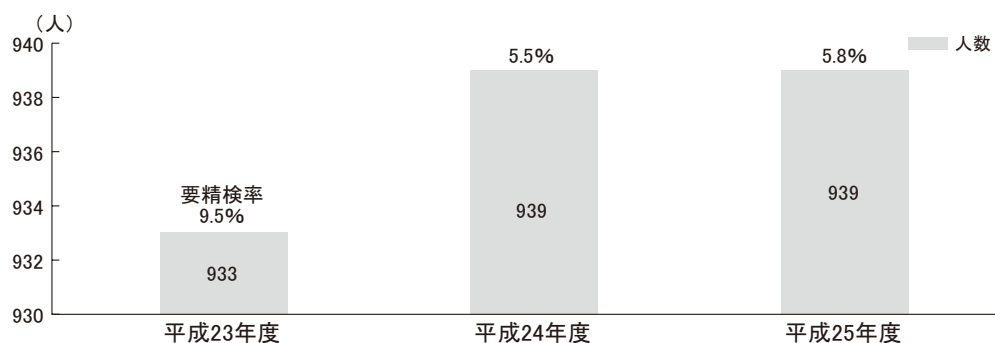


図2 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

表3 乳がん検診（芦屋市）

年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	111	15	13.5	97	9	9.3	127	7	5.5
45～49	97	14	14.4	75	6	8.0	92	4	4.3
50～54	79	1	1.3	79	7	8.9	71	11	15.5
55～59	87	4	4.6	79	1	1.3	93	6	6.5
60～64	133	7	5.3	131	5	3.8	139	5	3.6
65～69	19	7	36.8	84	9	10.7	87	4	4.6
70歳以上	17	1	5.9	90	1	1.1	78	7	9.0
計	543	49	9.0	635	38	6.0	687	44	6.4

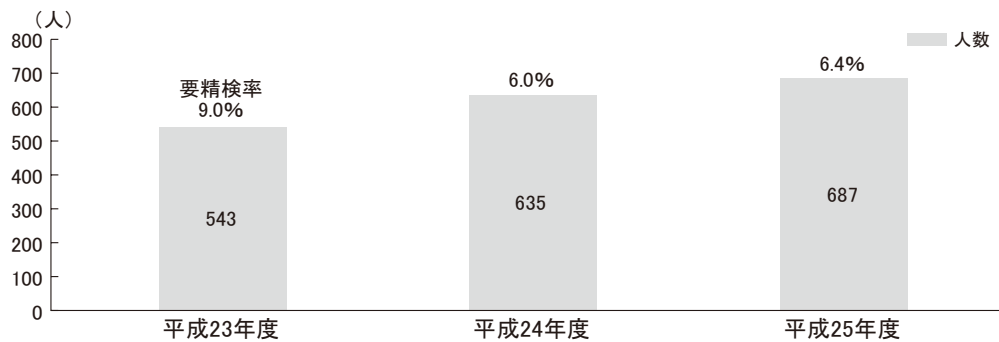


図3 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（芦屋市）

（５）子宮頸がん検診（指定医療機関分）

神戸市の「検診・健康診査実施要項」に基づき子宮がん検診の指定医療機関のとして実施している。

対象者は、神戸市民の20歳以上で偶数歳となる女性（自己負担1,700円）と70歳以上の女性（無料）及び国の「女性特有のがん検診推進事業」により無料クーポンの配布を受けた神戸市民に加え、三田市民の受け入れも

行っている。

また、検診項目に含まれる子宮頸部細胞診については、当協会が神戸市子宮がんセンターとして、市内で実施された子宮頸がん検診の細胞診を全面的に受託しており、受診率向上の一端を担っている。

表1 子宮頸がん検診（診察）

年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	受診者数	有所見者数*	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	120	1	0.8	94	3	3.2	97	3	3.1
35～39	70	0	0	75	7	9.3	55	4	7.3
40～44	539	30	5.6	547	22	4.0	453	29	6.4
45～49	130	14	10.8	124	13	10.5	130	9	6.9
50～54	118	4	3.4	132	6	4.5	108	5	4.6
55～59	111	3	2.7	103	1	1.0	88	2	2.3
60～64	164	1	0.6	143	2	1.4	93	4	4.3
65～69	70	2	2.9	80	2	2.5	69	1	1.4
70～74	84	0	0	85	2	2.4	68	2	2.9
75歳以上	34	0	0	32	0	0	22	0	0
計	1,440	55	3.8	1,415	58	4.1	1,183	59	5.0

※炎症性疾患、筋腫等の内診による所見

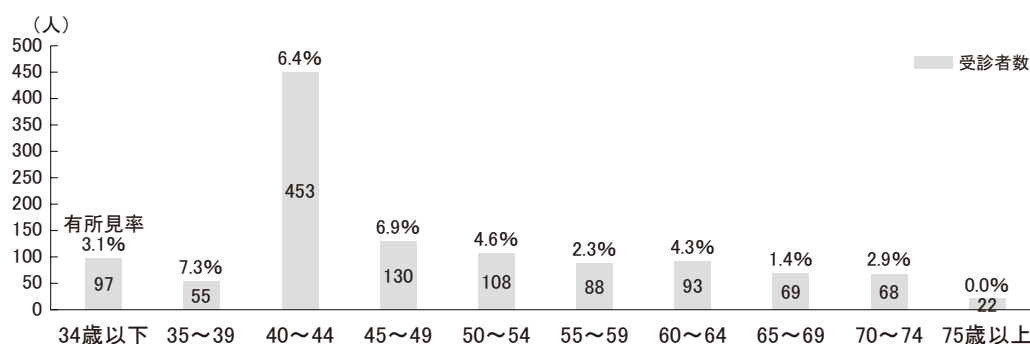


図1 子宮頸がん（診察）年齢階級別受診者数と有所見率

表2 子宮頸がん検診（細胞診）

年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	120	2	1.7	94	2	2.1	97	6	6.2
35～39	70	3	4.3	75	4	5.3	55	4	7.3
40～44	539	20	3.7	547	25	4.6	453	20	4.4
45～49	130	5	3.8	124	11	8.9	130	3	2.3
50～54	118	1	0.8	132	2	1.5	108	4	3.7
55～59	111	0	0	103	0	0	88	7	8.0
60～64	164	1	0.6	143	1	0.7	93	1	1.1
65～69	70	1	1.4	80	1	1.3	69	0	0
70～74	84	3	3.6	85	0	0	68	0	0
75歳以上	34	0	0	32	0	0	22	2	9.1
計	1,440	36	2.5	1,415	46	3.3	1,183	47	4.0

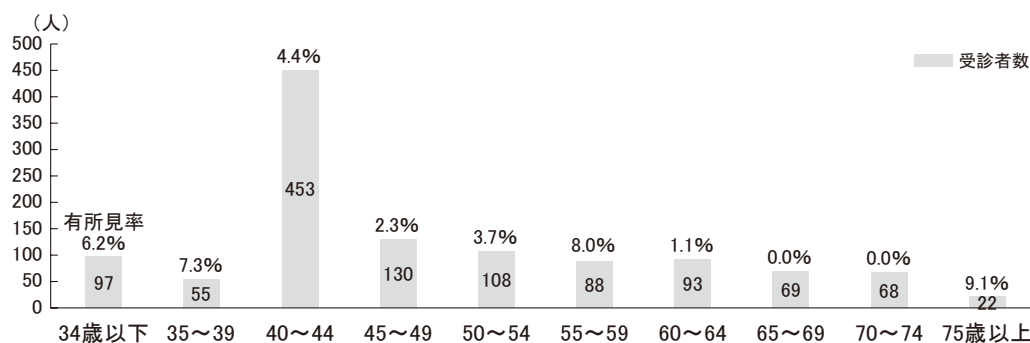


図2 子宮頸がん（細胞診）年齢階級別受診者数と有所見率

(6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）

肺がん検診は、老人保健法のがん検診に導入され、主に40歳以上の住民を対象とし胸部X線撮影と喀痰細胞診によって行われている。地域（神戸市・伊丹市）もこれ

に準じて行っている。なお、神戸市の肺がん検診は指定医療機関のひとつである。

表1 肺がん検診 ―胸部X線検査―（神戸市）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	1	1	100.0	0	0	—	0	0	—
	女	1	0	0	0	0	—	0	0	—
	計	2	1	50.0	0	0	—	0	0	—
40～44	男	17	0	0	16	0	0	18	0	0
	女	234	0	0	229	1	0.4	207	1	0.5
	計	251	0	0	245	1	0.4	225	0	0
45～49	男	3	1	33	2	0	0	1	0	0
	女	11	0	0	10	0	0	10	0	0
	計	14	1	7.1	12	0	0	11	0	0
50～54	男	8	0	0	3	0	0	6	0	0
	女	8	0	0	13	0	0	5	0	0
	計	16	0	0	16	0	0	11	0	0
55～59	男	5	0	0	4	0	0	8	0	0
	女	6	0	0	10	0	0	7	0	0
	計	11	0	0	14	0	0	15	0	0
60～64	男	11	0	0	11	0	0	9	1	11.1
	女	18	0	0	19	0	0	11	0	0
	計	29	0	0	30	0	0	20	1	5.0
65～69	男	11	3	27.3	20	0	0	19	1	5.3
	女	18	0	0	20	0	0	16	0	0
	計	29	3	10.3	40	0	0	35	0	0
70～74	男	9	0	0	13	0	0	6	0	0
	女	14	1	7.1	7	0	0	9	2	22.2
	計	23	1	4.3	20	0	0	15	2	13.3
75歳以上	男	4	1	25.0	10	1	10.0	7	0	0
	女	6	0	0	9	1	11.1	4	0	0
	計	10	1	10.0	19	2	10.5	11	0	0
合 計	男	69	6	8.7	79	1	1.3	74	2	2.7
	女	316	1	0.3	317	3	0.9	269	3	1.1
	計	385	7	1.8	396	4	1.0	343	5	1.5

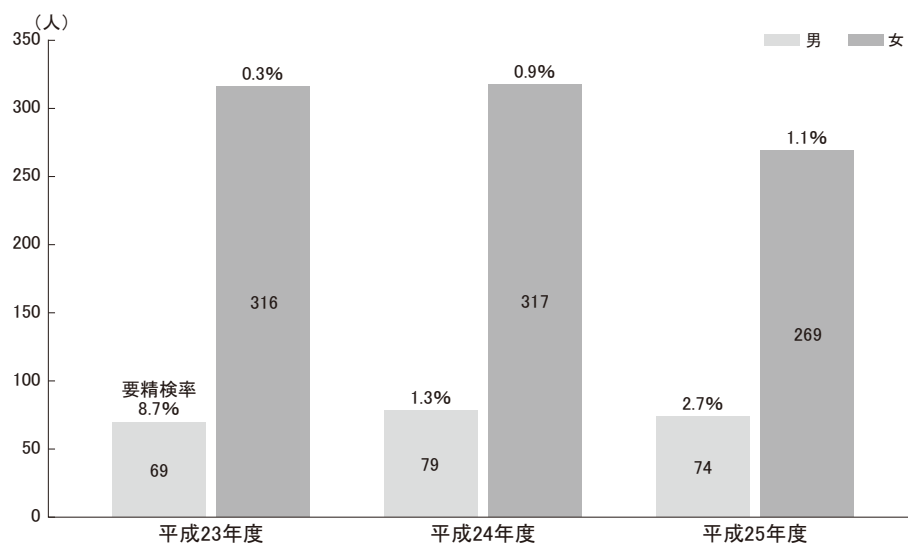


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ―胸部X線―（神戸市）

表2 肺がん検診 一喀痰検査一（神戸市）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	1	0	0	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	1	0	0	0	0	—	0	0	—
40～44	男	14	0	0	13	0	0	11	0	0
	女	101	0	0	95	0	0	79	0	0
	計	115	0	0	108	0	0	90	0	0
45～49	男	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	女	8	0	0	7	0	0	6	0	0
	計	10	0	0	8	0	0	7	0	0
50～54	男	6	0	0	1	0	0	5	0	0
	女	2	0	0	7	0	0	2	0	0
	計	8	0	0	8	0	0	7	0	0
55～59	男	2	0	0	3	0	0	4	0	0
	女	4	0	0	7	0	0	4	0	0
	計	6	0	0	10	0	0	8	0	0
60～64	男	8	0	0	8	0	0	9	0	0
	女	11	0	0	10	0	0	4	0	0
	計	19	0	0	18	0	0	13	0	0
65～69	男	9	0	0	15	0	0	10	0	0
	女	9	0	0	10	0	0	5	0	0
	計	18	0	0	25	0	0	15	0	0
70～74	男	7	0	0	11	0	0	4	0	0
	女	10	0	0	6	0	0	6	0	0
	計	17	0	0	17	0	0	10	0	0
75歳以上	男	1	0	0	8	0	0	7	0	0
	女	4	0	0	6	0	0	3	0	0
	計	5	0	0	14	0	0	10	0	0
合 計	男	50	0	0	60	0	0	51	0	0
	女	149	0	0	148	0	0	109	0	0
	計	199	0	0	208	0	0	160	0	0

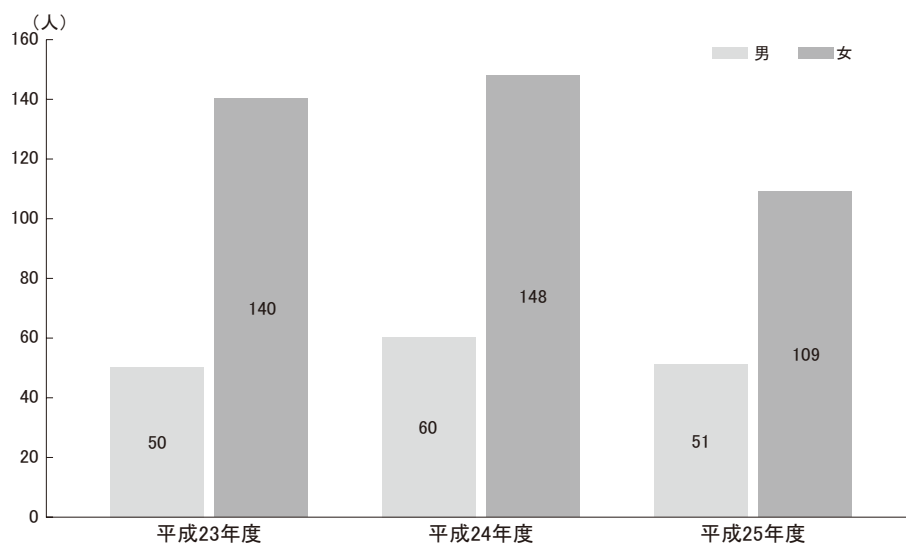


図2 肺がん検診年度別受診者数 一喀痰検査一（神戸市）

表3 肺がん検診 ー胸部X線検査ー（伊丹市）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	－	0	0	－	6	0	0
	女	0	0	－	0	0	－	15	0	0
	計	0	0	－	0	0	－	21	0	0
40～44	男	59	0	0	52	1	1.9	48	0	0
	女	98	0	0	106	3	2.8	93	1	1.1
	計	157	0	0	158	4	2.5	141	1	0.7
45～49	男	48	0	0	43	0	0	45	0	0
	女	98	1	1.0	95	1	1.1	104	0	0
	計	146	1	0.7	138	1	0.7	149	0	0
50～54	男	33	1	3.0	34	1	2.9	34	1	2.9
	女	75	0	0	80	0	0	80	0	0
	計	108	1	0.9	114	1	0.9	114	1	0.9
55～59	男	41	1	2.4	39	0	0	43	0	0
	女	90	1	1.1	75	3	4.0	100	2	2.0
	計	131	2	1.5	114	3	2.6	143	2	1.4
60～64	男	124	2	1.6	89	1	1.1	95	1	1.1
	女	233	6	2.6	211	4	1.9	194	8	4.1
	計	357	8	2.2	300	5	1.7	289	9	3.1
65～69	男	271	8	3.0	257	9	3.5	285	7	2.5
	女	277	10	3.6	274	6	2.2	292	9	3.1
	計	548	18	3.3	531	15	2.8	577	16	2.8
70～74	男	258	9	3.5	233	9	3.9	245	7	2.9
	女	264	4	1.5	242	3	1.2	233	3	1.3
	計	522	13	2.5	475	12	2.5	478	10	2.1
75歳以上	男	251	20	8.0	260	17	6.5	224	12	5.4
	女	154	8	5.2	170	12	7.1	164	10	6.1
	計	405	28	6.9	430	29	6.7	388	22	5.7
合 計	男	1085	41	3.8	1,007	38	3.8	1,025	28	2.7
	女	1289	30	2.3	1,253	32	2.6	1,275	33	2.6
	計	2374	71	3.0	2,260	70	3.1	2,300	61	2.7

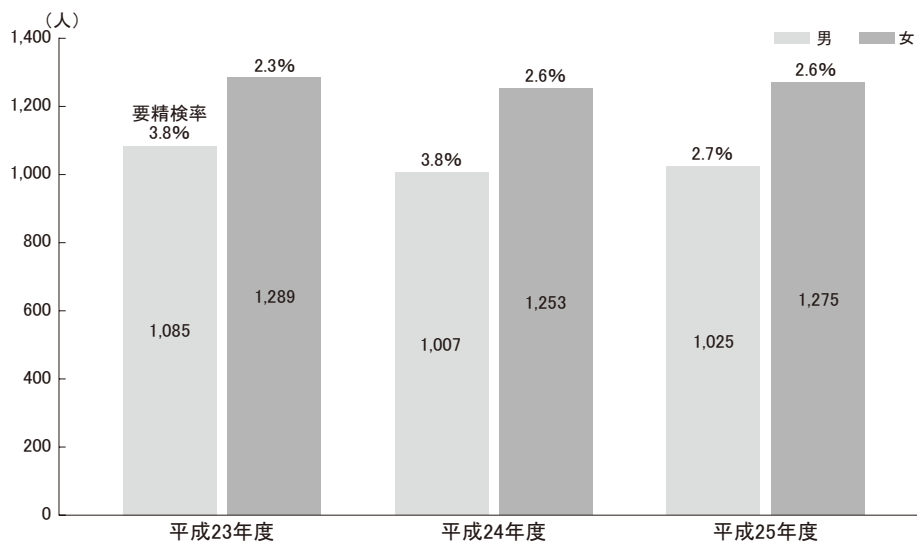


図3 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ー胸部X線ー（伊丹市）

表4 肺がん検診 一喀痰検査一（伊丹市）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	女	0	0	—	2	0	0	3	0	0
	計	2	0	0	4	0	0	5	0	0
40～44	男	12	0	0	12	0	0	14	0	0
	女	9	0	0	10	0	0	4	0	0
	計	21	0	0	22	0	0	18	0	0
45～49	男	11	0	0	9	0	0	12	0	0
	女	10	0	0	8	0	0	6	0	0
	計	21	0	0	17	0	0	18	0	0
50～54	男	12	0	0	11	0	0	7	0	0
	女	6	0	0	5	0	0	4	0	0
	計	18	0	0	16	0	0	11	0	0
55～59	男	16	0	0	10	0	0	10	0	0
	女	11	0	0	8	0	0	7	0	0
	計	27	0	0	18	0	0	17	0	0
60～64	男	43	0	0	33	0	0	36	0	0
	女	19	0	0	25	0	0	12	0	0
	計	62	0	0	58	0	0	48	0	0
65～69	男	91	0	0	74	0	0	73	0	0
	女	33	0	0	23	0	0	35	0	0
	計	124	0	0	97	0	0	108	0	0
70～74	男	82	0	0	73	0	0	79	0	0
	女	31	0	0	21	0	0	33	0	0
	計	113	0	0	94	0	0	112	0	0
75歳以上	男	59	0	0	62	0	0	58	0	0
	女	11	0	0	11	0	0	7	0	0
	計	70	0	0	73	0	0	65	0	0
合 計	男	326	0	0	286	0	0	291	0	0
	女	130	0	0	113	0	0	111	0	0
	計	456	0	0	399	0	0	402	0	0

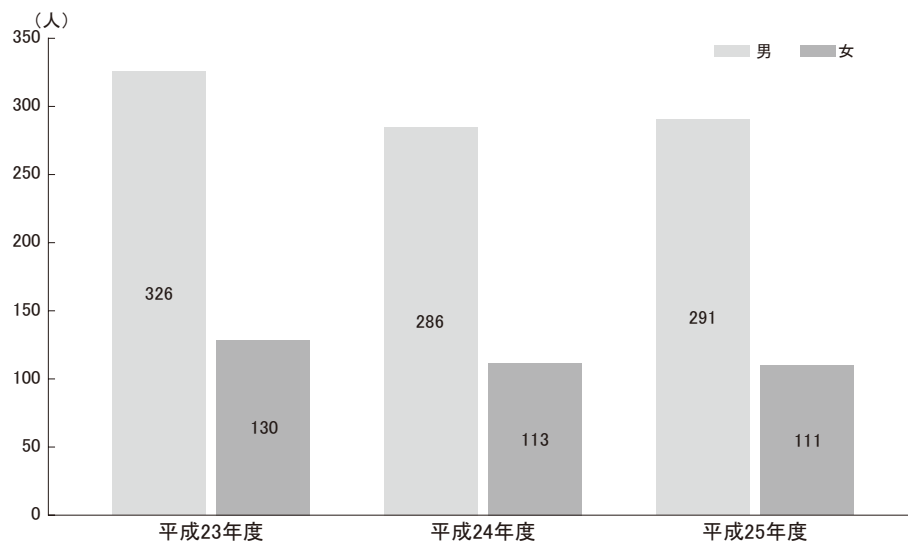


図4 肺がん検診年度別受診者数 一喀痰検査一（伊丹市）

(7) 大腸がん検診（神戸市）

表1 大腸がん検診（便潜血検査）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
40～44	男	2,932	107	3.6	3,111	159	5.1	3,090	147	4.8
	女	5,988	285	4.8	6,337	322	5.1	6,278	324	5.2
	計	8,920	392	4.4	9,448	481	5.1	9,368	471	5.0
45～49	男	2,472	105	4.2	2,559	126	4.9	2,809	145	5.2
	女	4,467	195	4.4	4,730	204	4.3	5,377	246	4.6
	計	6,939	300	4.3	7,289	330	4.5	8,186	391	4.8
50～54	男	2,298	139	6.0	2,679	157	5.9	2,851	167	5.9
	女	4,054	148	3.7	4,790	221	4.6	5,489	289	5.3
	計	6,352	287	4.5	7,469	378	5.1	8,340	456	5.5
55～59	男	2,266	145	6.4	2,699	162	6.0	2,952	199	6.7
	女	4,261	151	3.5	5,020	217	4.3	5,748	287	5.0
	計	6,527	296	4.5	7,719	379	4.9	8,700	486	5.6
60～64	男	4,332	307	7.1	4,822	390	8.1	5,063	403	8.0
	女	7,387	361	4.9	8,111	440	5.4	8,570	466	5.4
	計	11,719	668	5.7	12,933	830	6.4	13,633	869	6.4
65～69	男	3,412	236	6.9	3,723	291	7.8	3,891	315	8.1
	女	4,860	188	3.9	5,500	272	4.9	5,957	295	5.0
	計	8,272	424	5.1	9,223	563	6.1	9,848	610	6.2
70～74	男	4,164	316	7.6	4,587	363	7.9	4,766	423	8.9
	女	5,251	274	5.2	5,851	367	6.3	6,228	391	6.3
	計	9,415	590	6.3	10,438	730	7.0	10,994	814	7.4
75～79	男	2,690	196	7.3	2,984	257	8.6	3,025	300	9.9
	女	3,516	190	5.4	3,847	276	7.2	3,900	311	8.0
	計	6,206	386	6.2	6,831	533	7.8	6,925	611	8.8
80歳以上	男	1,874	148	7.9	2,171	231	10.6	2,409	276	11.5
	女	2,057	129	6.3	2,488	203	8.2	2,875	262	9.1
	計	3,931	277	7.0	4,659	434	9.3	5,284	538	10.2
合 計	男	26,440	1,699	6.4	29,335	2,136	7.3	30,856	2,375	7.7
	女	41,841	1,921	4.6	46,674	2,522	5.4	50,422	2,871	5.7
	計	68,281	3,620	5.3	76,009	4,658	6.1	81,278	5,246	6.5

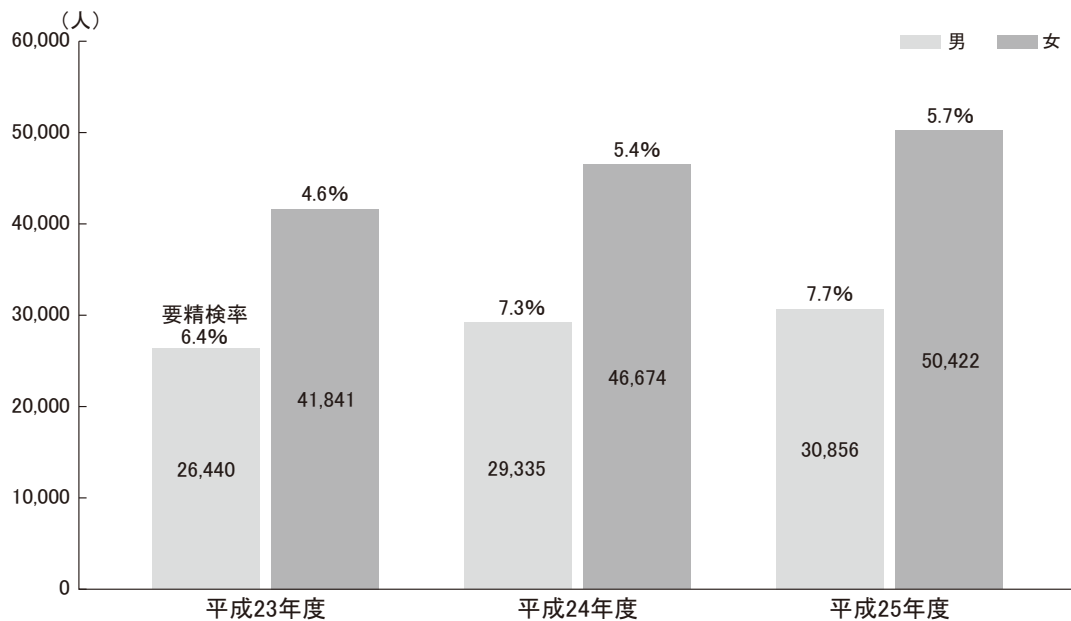


図1 大腸がん検診年度別受診者数と要精検率（便潜血）

(8) 前立腺がん検診

表1 前立腺がん検診 (PSA)

年齢階級	平成23年度				平成24年度				平成25年度			
	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)
34歳以下	1	1	0	0	5	5	0	0	2	2	0	0
35～39	85	82	3	3.5	116	113	3	2.6	116	112	4	3.4
40～44	201	198	3	1.5	166	163	3	1.8	199	194	5	2.5
45～49	214	209	5	2.3	229	226	3	1.3	215	210	5	2.3
50～54	424	411	13	3.1	439	427	12	2.7	432	420	12	2.8
55～59	545	512	33	6.1	517	489	28	5.4	547	516	31	5.7
60～64	1,501	1,351	150	10.0	1,445	1,309	136	9.4	1,298	1,186	112	8.6
65～69	2,776	2,530	246	8.9	2,777	2,523	254	9.1	2,851	2,575	276	9.7
70～74	2,916	2,693	223	7.6	2,984	2,753	231	7.7	3,224	2,963	261	8.1
75～79	726	658	68	9.4	904	820	84	9.3	1,013	917	96	9.5
80歳以上	125	103	22	17.6	174	146	28	16.1	211	180	31	14.7
計	9,514	8,748	766	8.1	9,756	8,974	782	8.0	10,165	9,379	786	7.7

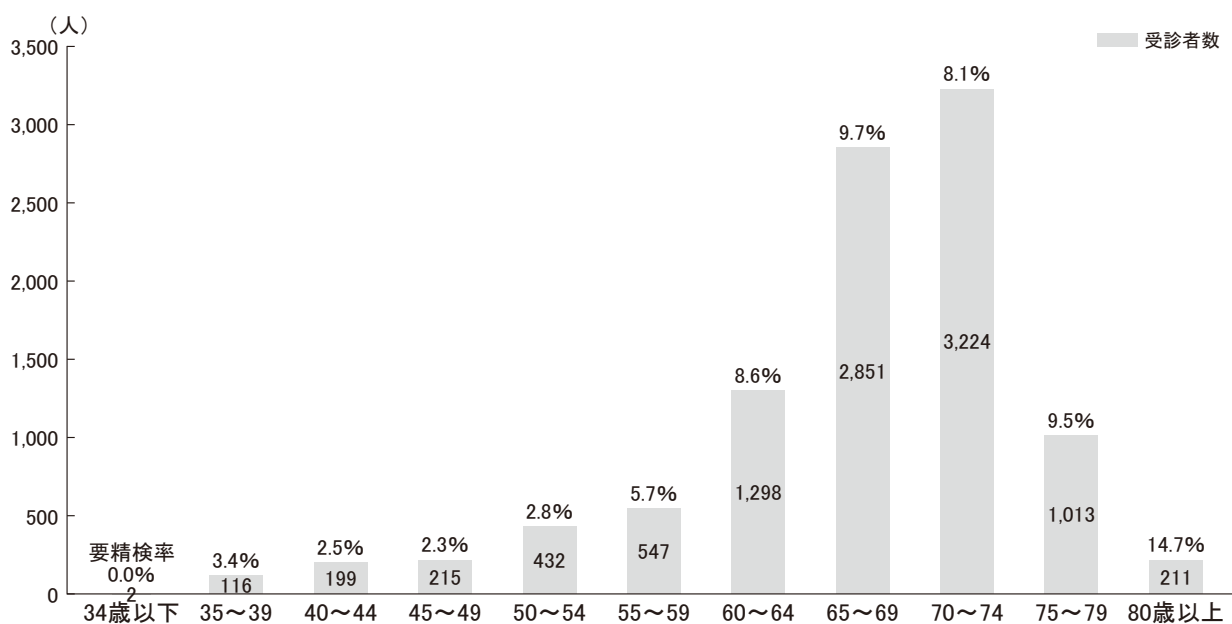


図1 前立腺がん検診年齢階級別受診者数と要請検率

(9) 結核健診（神戸市）

神戸市より委託を受け、各種結核健診を実施した。

受診者数は下記のとおりである。

市民健診同時実施分

感染症法第53条の2に基づく結核定期健診。15歳以上の市民を対象者として市民健康診査（集団健診）と同時に実施し、保健衛生、公衆衛生の確保を行なうとともに、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

管理健診

感染症法第53条の13に基づいて、保健所長が結核登録者に対して実施する健康診断（精密検査）。治療終了者の再発防止のための早期発見および治療放置患者あるいは病状不明の登録者に対する病状把握や悪化防止、治療復帰への指導を目的とする。

接触者健診

感染症法第17条に基づき、結核患者が発見された場合にその周囲の者に対して行なう健康診断。感染者の早期発見および患者の感染源の追求により、新たな感染防止を図る。

ハイリスク者健診

結核を発病する率が高いとされる、社会的経済的弱者および外国人や若年のフリーター、ホームレス等、受診機会のない人々に対して行なう健康診断。画像診断モニター積載デジタル検診車を用い、その場で要精密者に対し適切な医療の提供、指導を行ない、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

表1 神戸市結核健診

結核検診種類内訳	結核定期健診 (市民健診同時実施分)	管理健診	接触者健診	ハイリスク者健診
平成23年度受診者数	47,027	215	1,128	1,898
平成24年度受診者数	49,032	244	912	1,838
平成25年度受診者数	50,258	274	959	1,640

表2 神戸市結核健診（市民健診同時実施分）結果

年度	受診者数	性別	計 (F)	正常 (A)	ほぼ正常 (B)	要検査 (C)	要医療 (D)	医療中 (E)	有所見率(%) (C+D+E)/F
平成 23年度	47,027	男	18,810	16,631	1,668	173	335	3	2.7
		女	28,217	26,389	1,395	145	288	0	1.5
		計	47,027	43,020	3,063	318	623	3	2.0
平成 24年度	49,032	男	19,948	17,839	1,562	135	412	0	2.7
		女	29,084	27,344	1,220	133	386	1	1.8
		計	49,032	45,183	2,782	268	798	1	2.2
平成 25年度	50,258	男	20,104	17,912	1,623	170	398	1	2.8
		女	30,154	28,251	1,372	189	341	1	1.8
		計	50,258	46,163	2,995	359	739	2	2.2

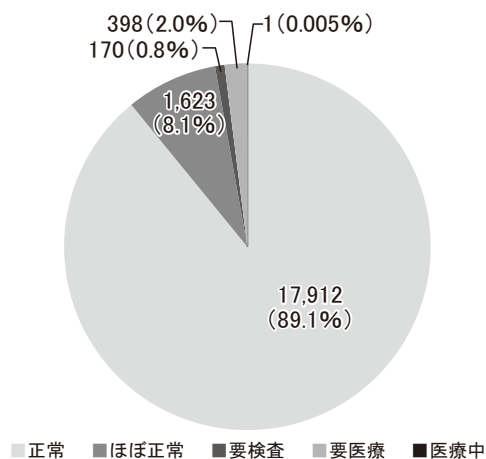


図1 結核健診受診結果（男）

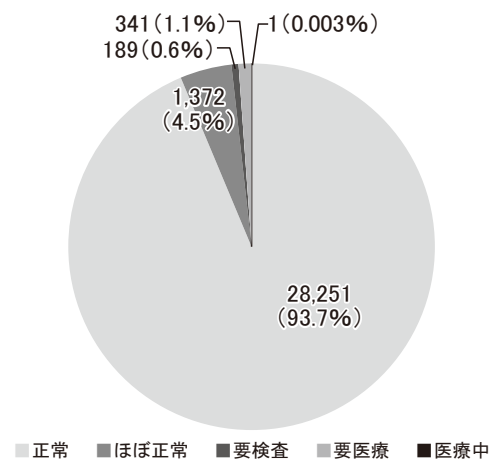


図2 結核健診受診結果（女）

(10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）

肝炎検査は、厚生労働省の定める「肝炎ウイルス検診等実施要領」に基づき行われ、B型肝炎ウイルス（HBV）検査と、C型肝炎ウイルス（HCV）検査を実施する。上記要領により、対象は、40歳以上の肝炎検査歴がなく、検査を希望する方とされ、自治体ごとにさら

に細かな対象者を指定している。B型肝炎ウイルスは、HBs抗原検査の結果により感染の有無を判定する。上記要領が平成25年4月に改正されたことに伴い、C型肝炎ウイルスの判定過程は、図1から図2へ変更になった。芦屋市の肝炎検査は、平成24年度より受託を開始した。

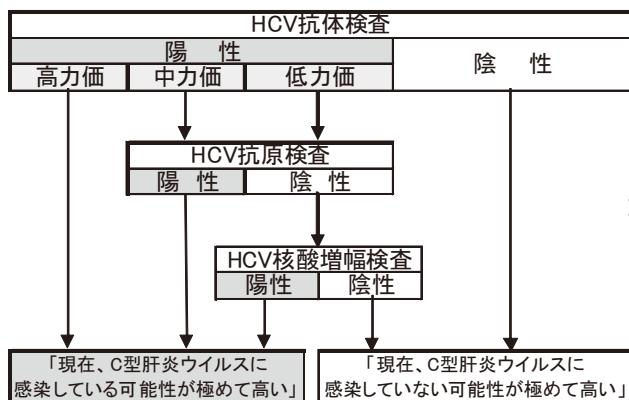


図1 C型肝炎ウイルス検査の流れ（改正前）

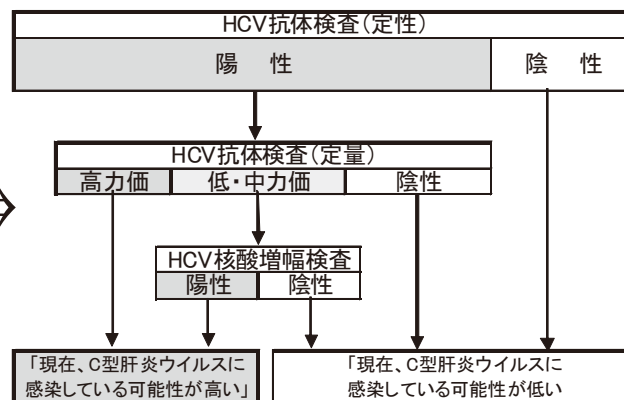


図2 C型肝炎ウイルス検査の流れ（改正後）

表1 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（神戸市）

検査項目	平成23年度			平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	8,054	93	1.2	7,675	98	1.3
HCV抗原	66	3	4.5	61	6	9.8
HCV核酸増幅	63	0	0	55	0	0

表2 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（神戸市）

検査項目	平成25年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	8,478	81	1.0
HCV抗体（定量）	81	48	59.3
HCV核酸増幅	28	3	10.7

表3 肝炎検査陽性^{※1}率の推移（神戸市）

検診項目	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	8,054	67	0.8	7,675	67	0.9	8,478	57	0.7
C型肝炎ウイルス	8,054	30	0.4	7,675	43	0.6	8,478	23	0.3

表4 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率
(芦屋市)

検査項目	平成24年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	619	3	0.5
HCV抗原	2	0	0
HCV核酸増幅	2	0	0

表5 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率
(芦屋市)

検査項目	平成25年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	653	9	1.4
HCV抗体（定量）	9	5	55.6
HCV核酸増幅	4	0	0

表6 肝炎検査陽性^{※1}率の推移（芦屋市）

検診項目	平成24年度			平成25年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	618	6	1.0	653	5	0.8
C型肝炎ウイルス	619	1	0.2	653	1	0.2

表7 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（伊丹市）

検査項目	平成23年度			平成24年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	197	4	2.0	215	2	0.9
HCV抗原	3	0	0	2	1	50.0
HCV核酸増幅	3	0	0	1	0	0

表8 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率
(伊丹市)

検査項目	平成25年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	170	3	1.8
HCV抗体（定量）	3	2	66.7
HCV核酸増幅	1	0	0

表9 肝炎検査陽性^{※1}率の推移（伊丹市）

検診項目	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	197	4	2.0	215	3	1.4	170	0	0
C型肝炎ウイルス	197	1	0.5	215	1	0.5	170	1	0.6

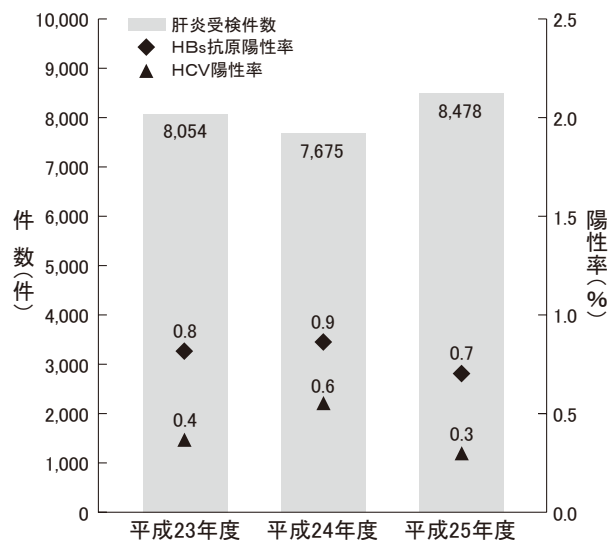


図3 年度別受検件数と陽性^{※1}率（神戸市）

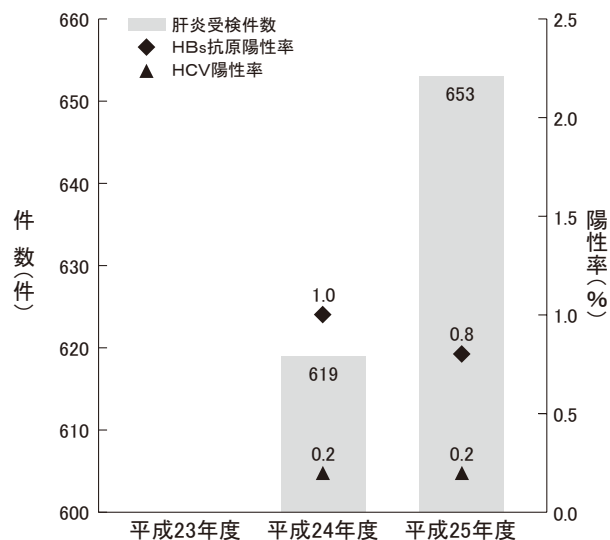


図4 年度別受検件数と陽性^{※1}率（芦屋市）^{※2}

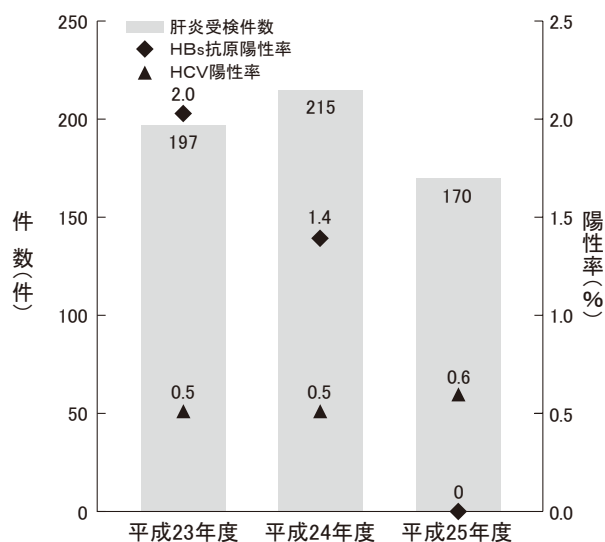


図5 年度別受検件数と陽性^{※1}率（伊丹市）

※1 C型肝炎ウイルス検査は、最終判定が「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が（極めて）高い」となった検体を陽性とした。

※2 平成25年度のB型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの受検件数が異なるため、C型肝炎ウイルス受検件数を肝炎受検件数とした。

（11）エイズ（HIV／AIDS）及びクラミジア・梅毒検査

神戸市から継続して受託している。夜間検査（夜間HIV・性感染症検査）は予約不要で、毎週水曜日18時から、即日検査（即日HIV抗体検査）は事前予約制で毎月1～2回土曜日13時から実施している。夜間検査の検査項目は、HIV、クラミジア、梅毒である。即日検査は、平成24年7月に神戸市からの要請により定員を従来の30

名から45名に拡大したが、平成25年4月にはさらにB型肝炎検査も追加することになった。従来のHIV抗体検査に、性感染症の1つでもあるB型肝炎検査を加えることで、市民の皆様のより幅広い感染症の早期発見に繋げ、地域の感染拡大防止に寄与していきたい。

表1 夜間HIV・性感染症件数推移（件）

検査項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
HIV	1,855	1,806	1,797
クラミジア	1,776	1,741	1,371
梅毒	1,796	1,754	1,718

表2 即日HIV件数推移（件）

検査項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
HIV	449	475	525

表3 即日B型肝炎件数と陽性率

検査項目	平成25年度		
	受検件数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎（HBs抗原）	525	3	0.57

表4 HIV陽性※の推移

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	陽	性 陽性率(%)	陽	性 陽性率(%)	陽	性 陽性率(%)
夜間	4	0.17	5	0.22	6	0.26
即日	3	0.13	2	0.09	2	0.09
陽性合計	7	0.30	7	0.31	8	0.34
全受検者	2,304		2,281		2,322	

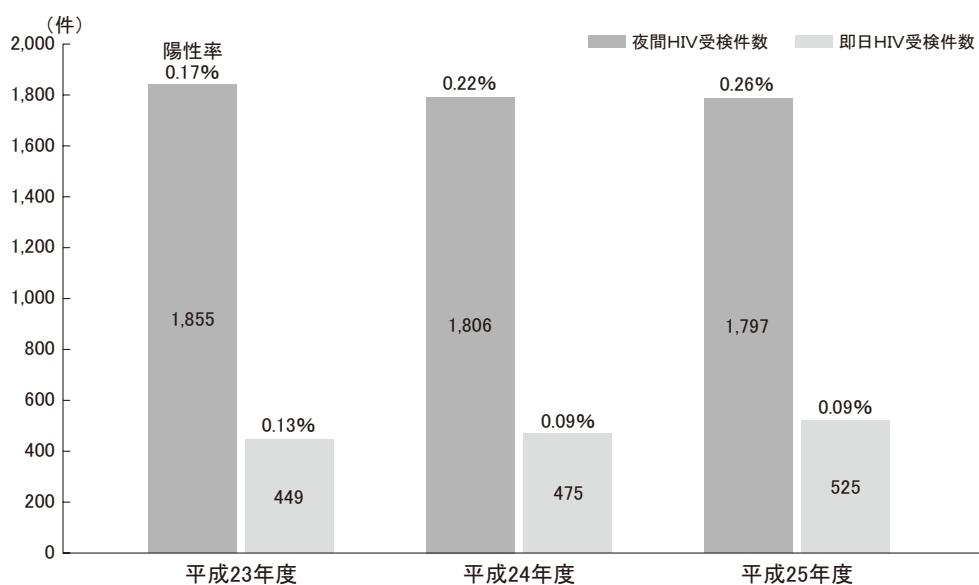


図1 年度別HIV件数と陽性※率

※HIV陽性：確認試験の結果、最終的な陽性を示す。

(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）

骨粗鬆症の早期発見及び予防を目的に骨量測定（超音波法）による集団検診を実施し、早期治療及び適切な健康教育に努めた。

性別	年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	26	4	15.4	38	4	10.5	34	5	14.7
	40～44	73	12	16.4	75	8	10.7	100	10	10.0
	45～49	77	13	16.9	67	6	9.0	59	4	6.8
	50～54	90	4	4.4	92	3	3.3	86	8	9.3
	55～59	123	11	8.9	104	9	8.7	98	2	2.0
	60～64	352	30	8.5	316	22	7.0	298	15	5.0
	65～69	707	63	8.9	706	58	8.2	664	61	9.2
	70～74	874	68	7.8	896	54	6.0	885	67	7.6
	75～79	259	30	11.6	343	40	11.7	346	26	7.5
	80歳以上	60	14	23.3	84	16	19.0	100	21	21.0
計		2,641	249	9.4	2,721	220	8.1	2,670	219	8.2

性別	年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	736	55	7.5	741	40	5.4	611	47	7.7
	40～44	351	28	8.0	369	11	3.0	409	25	6.1
	45～49	317	23	7.3	323	20	6.2	380	19	5.0
	50～54	409	12	2.9	416	11	2.6	520	13	2.5
	55～59	752	7	0.9	742	5	0.7	853	6	0.7
	60～64	2,244	49	2.2	2,037	42	2.1	2,073	51	2.5
	65～69	2,838	138	4.9	2,823	117	4.1	2,890	118	4.1
	70～74	2,715	147	5.4	2,784	132	4.7	2,967	167	5.6
	75～79	586	59	10.1	726	59	8.1	810	74	9.1
	80歳以上	132	25	18.9	164	24	14.6	190	33	17.4
計		11,080	543	4.9	11,125	461	4.1	11,703	553	4.7

性別	年齢階級	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	762	59	7.7	779	44	5.6	645	52	8.1
	40～44	424	40	9.4	444	19	4.3	509	35	6.9
	45～49	394	36	9.1	390	26	6.7	439	23	5.2
	50～54	499	16	3.2	508	14	2.8	606	21	3.5
	55～59	875	18	2.1	846	14	1.7	951	8	0.8
	60～64	2,596	79	3.0	2,353	64	2.7	2,371	66	2.8
	65～69	3,545	201	5.7	3,529	175	5.0	3,554	179	5.0
	70～74	3,589	215	6.0	3,680	186	5.1	3,852	234	6.1
	75～79	845	89	10.5	1,069	99	9.3	1,156	100	8.7
	80歳以上	192	39	20.3	248	40	16.1	290	54	18.6
計		13,721	792	5.8	13,846	681	4.9	14,373	772	5.4

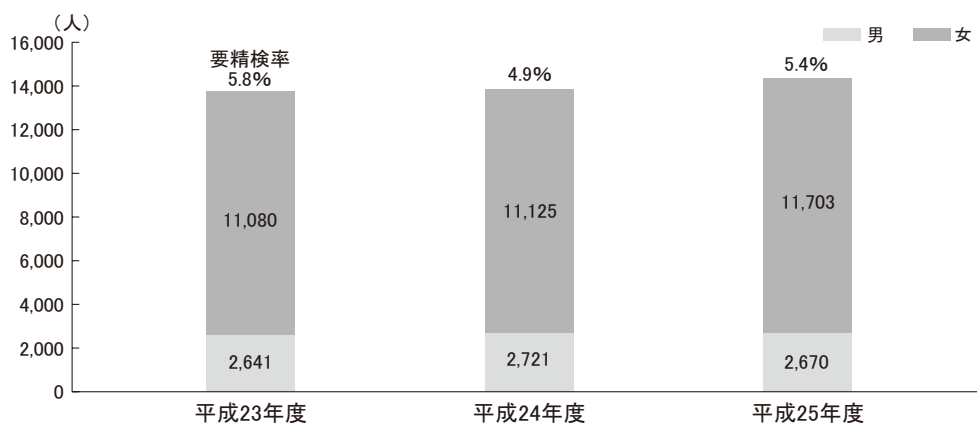


図1 骨粗鬆症検診年度別受診者数と要精検率

2. 学校保健

(1) 心臓検診

昭和50年から取り組んでいる学校心臓検診は、神戸市、宝塚市、西宮市、芦屋市、伊丹市、太子町、上郡町、兵庫県北部（宍粟市、朝来市、佐用町）、洲本市、南あわじ市の兵庫県下広域に亘り、一次検診を実施している。

学校心臓検診は、地域により心臓検診システムに違いがあり、問診とともに6誘導心電図、12誘導心電図、4誘導心電図心音図、6誘導心電図心音図等のさまざまな検査方法により行っている。

(1) 小学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	南あわじ市	男	398	7	1.76	397	4	1.01	371	7	1.89
		女	408	5	1.23	372	5	1.34	408	10	2.45
		計	806	12	1.49	769	9	1.17	779	17	2.18
	私立	男	32	1	3.13	45	2	4.44	21	0	0
		女	33	2	6.06	37	2	5.41	31	0	0
		計	65	3	4.62	82	4	4.88	52	0	0
	合計	男	430	8	1.86	442	6	1.36	392	7	1.79
		女	441	7	1.59	409	7	1.71	439	10	2.28
		計	871	15	1.72	851	13	1.53	831	17	2.05
12誘導心電図方式	伊丹市 (他学年含む)	男	1,937	62	3.20	54	9	16.67	35	8	22.86
		女	1,932	55	2.85	27	9	33.33	33	5	15.15
		計	3,869	117	3.02	81	18	22.22	68	13	19.12
	上郡町	男	72	0	0	46	2	4.35	65	2	3.08
		女	61	0	0	61	3	4.92	58	0	0
		計	133	0	0	107	5	4.67	123	2	1.63
	太子町	男	210	7	3.33	182	8	4.40	221	10	4.52
		女	177	2	1.13	181	8	4.42	190	5	2.63
		計	387	9	2.33	363	16	4.41	411	15	3.65
芦屋市 (他学年含む)	男	807	25	3.10	853	23	2.70	824	21	2.55	
	女	739	23	3.11	733	13	1.77	741	6	0.81	
	計	1,546	48	3.10	1,586	36	2.27	1,565	27	1.73	
私立 (他学年含む)	男	157	2	1.27	183	5	2.73	140	4	2.86	
	女	226	4	1.77	210	2	0.95	220	3	1.36	
	計	383	6	1.57	393	7	1.78	360	7	1.94	
合計	男	3,183	96	3.02	1,318	47	3.57	1,285	45	3.50	
	女	3,135	84	2.68	1,212	35	2.89	1,242	19	1.53	
	計	6,318	180	2.85	2,530	82	3.24	2,527	64	2.53	
心電・心音図方式	神戸市 (他学年含む)	男	6,400	474	7.41	6,502	405	6.23	6,532	370	5.66
		女	6,312	321	5.09	6,072	311	5.12	6,239	281	4.50
		計	12,712	795	6.25	12,574	716	5.69	12,771	651	5.10
	兵庫県北部 (他学年含む)	男	779	20	2.57	711	39	5.49	700	24	3.43
		女	679	17	2.50	707	19	2.69	672	22	3.27
		計	1,458	37	2.54	1,418	58	4.09	1,372	46	3.35
	宝塚市	男	1,034	68	6.58	1,046	64	6.12	1,062	55	5.18
		女	1,005	46	4.58	892	36	4.04	1,082	52	4.81
		計	2,039	114	5.59	1,938	100	5.16	2,144	107	4.99
	西宮市 (他学年含む)	男	2,533	18	0.71	2,372	61	2.57	2,454	23	0.94
		女	2,292	10	0.44	2,121	39	1.84	2,235	17	0.76
		計	4,825	28	0.58	4,493	100	2.23	4,689	40	0.85
	伊丹市	男	0	0	－	866	34	3.93	948	45	4.75
		女	0	0	－	926	24	2.59	916	37	4.04
		計	0	0	－	1,792	58	3.24	1,864	82	4.40
	合計	男	10,746	580	5.40	11,497	603	5.24	11,696	517	4.42
		女	10,288	394	3.83	10,718	429	4.00	11,144	409	3.67
		計	21,034	974	4.63	22,215	1,032	4.65	22,840	926	4.05

(2) 中学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)
6誘導心電図方式	南あわじ市 洲本市	男	432	4	0.93	411	4	0.97	452	0
		女	454	7	1.54	455	5	1.10	405	2
		計	886	11	1.24	866	9	1.04	857	2
	私立 (他学年含む)	男	107	1	0.93	98	0	0	41	0
		女	101	4	3.96	92	3	3.26	36	2
		計	208	5	2.40	190	3	1.58	77	2
	合 計	男	539	5	0.93	509	4	0.79	493	0
		女	555	11	1.98	547	8	1.46	441	4
		計	1,094	16	1.46	1,056	12	1.14	934	4
12誘導心電図方式	県立 (他学年含む)	男	52	3	5.77	41	0	0	37	1
		女	111	2	1.80	118	2	1.69	123	1
		計	163	5	3.07	159	2	1.26	160	2
	伊丹市 (他学年含む)	男	993	18	1.81	953	22	2.31	935	21
		女	883	18	2.04	980	20	2.04	899	24
		計	1,876	36	1.92	1,933	42	2.17	1,834	45
	上郡町	男	96	2	2.08	80	1	1.25	59	1
		女	68	1	1.47	71	1	1.41	67	1
		計	164	3	1.83	151	2	1.32	126	2
	太子町	男	186	5	2.69	174	5	2.87	182	2
		女	184	4	2.17	192	7	3.65	208	4
		計	370	9	2.43	366	12	3.28	390	6
	芦屋市 (他学年含む)	男	254	4	1.57	301	5	1.66	272	9
		女	268	3	1.12	240	5	2.08	274	8
		計	522	7	1.34	541	10	1.85	546	17
	私立 (他学年含む)	男	1,598	30	1.88	1,393	17	1.22	1,453	34
		女	1,145	13	1.14	1,077	14	1.30	1,046	26
		計	2,743	43	1.57	2,470	31	1.26	2,499	60
	合 計	男	3,179	62	1.95	2,942	50	1.70	2,938	68
		女	2,659	41	1.54	2,678	49	1.83	2,617	64
		計	5,838	103	1.76	5,620	99	1.76	5,555	132
	神戸市 (他学年含む)	男	6,354	347	5.46	6,273	357	5.69	6,109	399
		女	5,990	260	4.34	5,919	255	4.31	5,869	294
		計	12,344	607	4.92	12,192	612	5.02	11,978	693
心電・心音図方式	兵庫県北部	男	474	11	2.32	489	27	5.52	442	18
		女	453	13	2.87	420	15	3.57	434	20
		計	927	24	2.59	909	42	4.62	876	38
	宝塚市	男	922	55	5.97	893	34	3.81	945	40
		女	916	53	5.79	943	50	5.30	931	49
		計	1,838	108	5.88	1,836	84	4.58	1,876	89
	西宮市 (他学年含む)	男	1,995	32	1.60	2,095	35	1.67	2,174	41
		女	1,885	21	1.11	1,865	16	0.86	1,891	39
		計	3,880	53	1.37	3,960	51	1.29	4,065	80
	私立	男	0	0	－	0	0	－	0	0
		女	337	10	2.97	297	14	4.71	292	5
		計	337	10	2.97	297	14	4.71	292	5
	合 計	男	9,745	445	4.57	9,750	453	4.65	9,670	498
		女	9,581	357	3.73	9,444	350	3.71	9,417	407
		計	19,326	802	4.15	19,194	803	4.18	19,087	905

(3) 高等学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	私立	男	32	2	6.25	99	5	5.05	38	0	0
		女	39	0	0	122	1	0.82	33	1	3.03
		計	71	2	2.82	221	6	2.71	71	1	1.41
	合 計	男	32	2	6.25	99	5	5.05	38	0	0
		女	39	0	0	122	1	0.82	33	1	3.03
		計	71	2	2.82	221	6	2.71	71	1	1.41
12誘導心電図方式	県立 (他学年含む)	男	7,020	136	1.94	7,228	154	2.13	6,900	147	2.13
		女	7,125	106	1.49	7,584	152	2.00	7,318	107	1.46
		計	14,145	242	1.71	14,812	306	2.07	14,218	254	1.79
	伊丹市 西宮市 (他学年含む)	男	475	14	2.95	396	6	1.52	417	12	2.88
		女	459	11	2.40	448	5	1.12	423	5	1.18
		計	934	25	2.68	844	11	1.30	840	17	2.02
	神戸市 (他学年含む)	男	1,190	60	5.04	1,355	81	5.98	1,267	24	1.89
		女	983	36	3.66	1,067	40	3.75	1,092	17	1.56
		計	2,173	96	4.42	2,422	121	5.00	2,359	41	1.74
	私立 (他学年含む)	男	3,234	74	2.29	3,129	71	2.27	3,221	86	2.67
		女	2,782	51	1.83	2,805	56	2.00	2,892	60	2.07
		計	6,016	125	2.08	5,934	127	2.14	6,113	146	2.39
	合 計	男	11,919	284	2.38	12,108	312	2.58	11,805	269	2.28
		女	11,349	204	1.80	11,904	253	2.13	11,725	189	1.61
		計	23,268	488	2.10	24,012	565	2.35	23,530	458	1.95
心電・心音図方式	私立	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
		女	341	6	1.76	328	7	2.13	308	8	2.60
		計	341	6	1.76	328	7	2.13	308	8	2.60
	合 計	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
		女	341	6	1.76	328	7	2.13	308	8	2.60
		計	341	6	1.76	328	7	2.13	308	8	2.60

(2) 脊柱変形学校検診

神戸市、阪神間諸都市を中心に兵庫県一円における小学校5、6年生と中学校1、2年生の児童生徒を対象に実施している。^{※1}

検診の方式は、各会場校へモアレ写真撮影、専門医による視触診、X線直接撮影を全て出張検診で行ない、側弯症と診断された児童生徒には、保護者も含めて事後指導を実施している（右図）。^{※2}

本年度のモアレ検査受診者は31,482名で有所見者は4,792名。有所見率は15.2%であった（表1、3）。

協会実施のモアレ検査有所見者及び学校医の指摘により受診した視触診者数は2,516名でX線直接撮影により側弯症と判定された者は334名で発現率は13.3%であった（表2）。

過去3年度分のモアレ検診有所見率と性差、受診者総数と側弯発現率をそれぞれ表3、表4に示している。

※1（対象学年は自治体により異なる。）

※2（方式は自治体により異なる。）

脊柱側弯症判定区分

管理区分	診断	わん曲度
A 要治療	脊柱側弯症 (中等度以上)	コブ角25度以上 構築性側弯
B1 要経過観察	脊柱側弯症 (軽度)	コブ角15度～24度 構築性側弯
B2 要経過観察	脊柱側弯症 の疑い	コブ角14度以下 構築性変化あり 構築性変化なし
C 要注意		
D 正常	異常なし	

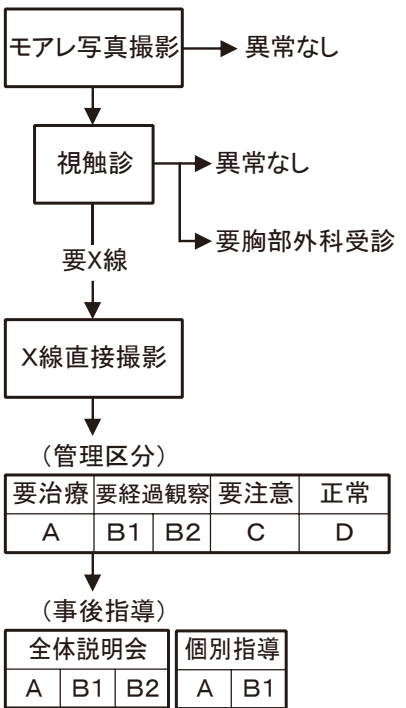


表1 脊柱検診集計表（モアレ法）

区分	学年	小学5年生			小学6年生			中学1年生			中学2年生		
	性別	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)
神戸市 ※	男	0	0	－	6,809	924	13.6	0	0	－	0	0	－
	女	0	0	－	6,265	1,001	16.0	0	0	－	0	0	－
	計	0	0	－	13,074	1,925	14.7	0	0	－	0	0	－
宝塚市	男	1,080	90	8.3	0	0	－	0	0	－	906	111	12.3
	女	1,037	184	17.7	0	0	－	0	0	－	921	230	25.0
	計	2,117	274	12.9	0	0	－	0	0	－	1,827	341	18.7
尼崎市	男	0	0	－	0	0	－	1,682	187	11.1	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	1,544	337	21.8	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	3,226	524	16.2	0	0	－
明石市	男	0	0	－	0	0	－	1,349	135	10.0	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	1,260	233	18.5	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	2,609	368	14.1	0	0	－
伊丹市	男	0	0	－	0	0	－	909	87	9.6	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	865	198	22.9	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	1,774	285	16.1	0	0	－
三田市 ※	男	547	32	5.9	0	0	－	514	18	3.5	0	0	－
	女	479	52	10.9	0	0	－	472	51	10.8	0	0	－
	計	1,026	84	8.2	0	0	－	986	69	7.0	0	0	－
小野市 ※	男	0	0	－	0	0	－	290	26	9.0	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	251	41	16.3	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	541	67	12.4	0	0	－
相生市 ※	男	114	12	10.5	0	0	－	0	0	－	141	8	5.7
	女	117	13	11.1	0	0	－	0	0	－	117	20	17.1
	計	231	25	10.8	0	0	－	0	0	－	258	28	10.9
上郡市 ※	男	72	17	23.6	0	0	－	0	0	－	79	23	29.1
	女	59	19	32.2	0	0	－	0	0	－	72	32	44.4
	計	131	36	27.5	0	0	－	0	0	－	151	55	36.4
猪名川	男	180	45	25.0	0	0	－	0	0	－	142	31	21.8
	女	162	51	31.5	0	0	－	0	0	－	148	51	34.5
	計	342	96	28.1	0	0	－	0	0	－	290	82	28.3
加東市 ※	男	0	0	－	172	15	8.7	186	13	7.0	0	0	－
	女	0	0	－	171	20	11.7	166	25	15.1	0	0	－
	計	0	0	－	343	35	10.2	352	38	10.8	0	0	－
芦屋市	男	418	80	19.1	0	0	－	0	0	－	307	81	26.4
	女	358	87	24.3	0	0	－	0	0	－	243	81	33.3
	計	776	167	21.5	0	0	－	0	0	－	550	162	29.5
国・私立 学校9校 ※	男	43	4	9.3	15	3	20.0	101	11	10.9	0	0	－
	女	97	11	11.3	16	4	25.0	467	76	16.3	139	22	15.8
	計	140	15	10.7	31	7	22.6	568	87	15.3	139	22	15.8
合 計	男	2,474	302	11.4	6,996	942	13.5	5,031	477	9.5	1,575	254	16.1
	女	2,502	426	18.6	6,452	1,025	15.9	5,025	961	19.1	1,640	436	26.6
	計	4,976	728	14.6	13,448	1,967	14.6	10,056	1,438	14.3	3,215	690	21.5

※モアレ検査のみ施行の自治体

表2 視触診受診者数と側弯症発現率

学年	性別	視 触 診			X 線 (管理指導区分)						事後指導	
		受診者数	要X線 撮影	率 (%)	A		B1		B2		側弯 症数	発現率 (%)
					人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)		
小学生	男	253	40	15.8	1	0.4	1	0.4	14	5.5	16	6.3
	女	376	94	25.0	3	0.8	24	6.4	25	6.6	52	13.8
	計	629	134	21.3	4	0.6	25	4.0	39	6.2	68	10.8
中学生	男	694	122	17.6	0	0.0	8	1.2	21	3.0	29	4.2
	女	1,193	437	36.6	29	2.4	112	9.4	96	8.0	237	19.9
	計	1,887	559	29.6	29	1.5	120	6.4	117	6.2	266	14.1
合 計	男	947	162	17.1	1	0.1	9	1.0	35	3.7	45	4.8
	女	1,569	531	33.8	32	2.0	153	9.8	121	7.7	289	18.4
	計	2,516	693	27.5	33	1.3	162	6.4	156	6.2	334	13.3

注：発現率は視触診受診者数に対する比率。

表3 モアレ検査有所見率と性差

学年	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
小学生	男	9,641	971	10.1	9,494	1,151	12.1	9,450	1,222	12.9
	女	9,194	1,826	19.9	9,151	1,549	16.9	8,761	1,442	16.5
	計	18,835	2,797	14.9	18,645	2,700	14.5	18,211	2,664	14.6
中学生	男	6,751	622	9.2	6,611	775	11.7	6,606	731	11.1
	女	7,088	1,478	20.9	7,043	1,720	24.4	6,665	1,397	21.0
	計	13,839	2,100	15.2	13,654	2,495	18.3	13,271	2,128	16.0
合 計	男	16,392	1,593	9.7	16,105	1,926	12.0	16,056	1,953	12.2
	女	16,282	3,304	20.3	16,194	3,269	20.2	15,426	2,839	18.4
	計	32,674	4,897	15.0	32,299	5,195	16.1	31,482	4,792	15.2

表4 受診者総数と側弯症発現率（除西宮市）

学年	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	B2以上数と発現率(%)		受診者数	B2以上数と発現率(%)		受診者数	B2以上数と発現率(%)	
小学生	男	1,754	16	0.9	1,707	11	0.6	1,678	13	0.8
	女	1,634	51	3.1	1,645	26	1.6	1,557	43	2.8
	計	3,388	67	2.0	3,352	37	1.1	3,235	56	1.7
中学生	男	5,432	46	0.9	5,312	27	0.5	5,295	27	0.5
	女	5,180	257	5.0	5,213	245	4.7	4,981	218	4.4
	計	10,612	303	2.9	10,525	272	2.6	10,276	245	2.4
合 計	男	7,186	62	0.9	7,019	38	0.5	6,973	40	0.6
	女	6,814	308	4.5	6,858	271	4.0	6,538	261	4.0
	計	14,000	370	2.6	13,877	309	2.2	13,511	301	2.2

注：西宮市においては、モアレは実施せず、学校定期健診における内科検診の結果、有所見者に対して視触診を行ない、さらにその中の有所見者を対象として、脊柱X線を実施する方式となっている。

(3) 腎臓・糖尿病検診

腎臓病疾患の検査項目は学校保健法施行規則では、『尿中の蛋白などについて試験紙法により検査する』こととなっており、蛋白検査は必須であるが、潜血検査は蛋白検査と併せて行うことが望ましいに留まっている。しかし、腎炎の初期や治療期には血尿だけしか症状がな

い腎臓病も多く知られており、潜血検査は重要な項目の一つである。一方、糖尿病においては、糖尿病検診として平成4年度から尿検査で尿糖の検査も併せて行うことが義務づけられた。

腎臓病検診（尿蛋白・潜血）

表1 学校区別受検者数

学 校 区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
保育園・幼稚園	49,278	52,919	54,719
小 学 校	138,616	240,485	286,745
中 学 校	67,580	95,706	99,114
高 等 学 校	67,069	72,130	72,306
大学・短大	1,868	1,866	621
養護学校他	4,094	4,354	4,539
合 計	328,505	467,460	518,044

表2 平成25年度 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

学 校 区 分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率（％）
保育園・幼稚園	男	28,341	243	0.9
	女	26,378	524	2.0
	計	54,719	767	1.4
小 学 校	男	147,597	1,362	0.9
	女	139,148	3,548	2.5
	計	286,745	4,910	1.7
中 学 校	男	50,078	1,793	3.6
	女	49,036	3,812	7.8
	計	99,114	5,605	5.7
高 等 学 校	男	35,437	1,196	3.4
	女	36,869	2,595	7.0
	計	72,306	3,791	5.2
大学・短大	男	15	0	0
	女	606	47	7.8
	計	621	47	7.6
養護学校等	男	2,598	99	3.8
	女	1,941	121	6.2
	計	4,539	220	4.8
合 計	男	264,066	4,693	1.8
	女	253,978	10,647	4.2
	計	518,044	15,340	3.0

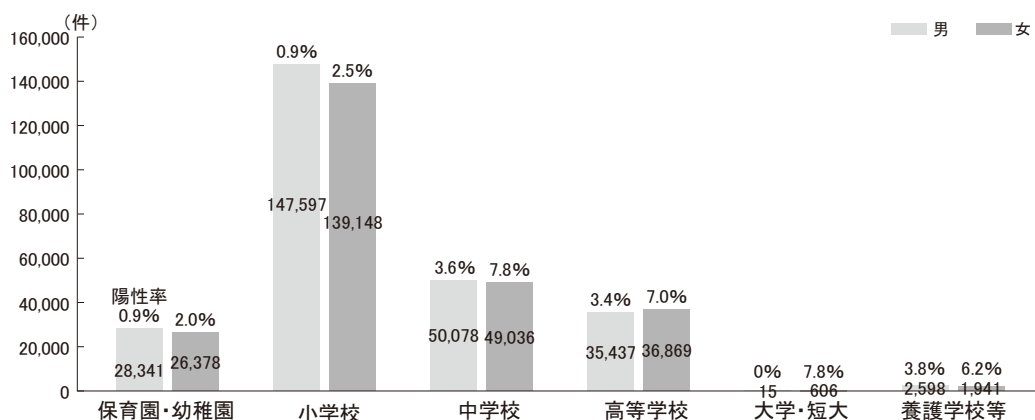


図1 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

糖尿病検診（尿糖）

表3 学校区分別受検者数

学 校 区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
保育園・幼稚園	49,278	52,919	54,719
小 学 校	138,616	240,485	286,745
中 学 校	66,159	95,706	99,114
高 等 学 校	64,676	72,130	72,306
大学・短大	1,570	1,866	621
養護学校他	4,034	4,354	4,539
合 計	324,333	467,460	518,044

表4 平成25年度 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

学 校 区 分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率（％）
保育園・幼稚園	男	28,341	19	0.1
	女	26,378	64	0.2
	計	54,719	83	0.2
小 学 校	男	147,597	723	0.5
	女	139,148	1,878	1.3
	計	286,745	2,601	0.9
中 学 校	男	50,078	983	2.0
	女	49,036	2,171	4.4
	計	99,114	3,154	3.2
高 等 学 校	男	35,437	185	0.5
	女	36,869	365	1.0
	計	72,306	550	0.8
大学・短大	男	15	0	0
	女	606	0	0
	計	621	0	0
養護学校等	男	2,598	29	1.1
	女	1,941	22	1.1
	計	4,539	51	1.1
合 計	男	264,066	1,939	0.7
	女	253,978	4,500	1.8
	計	518,044	6,439	1.2

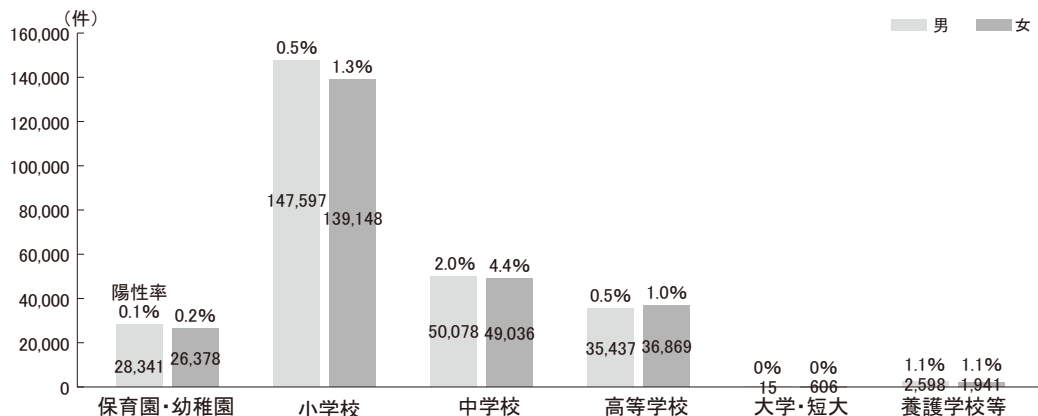


図2 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

(4) 結核検診（胸部X線）

児童・生徒

学校区分	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
小学校	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
中学校	男	18	0	6.25	15	0	0	10	0	0
	女	41	1	0	35	0	2.44	23	0	0
	計	59	1	1.43	50	0	1.69	33	0	0
高等学校	男	11,554	3	0.04	11,692	15	0.03	11,363	16	0.14
	女	11,643	11	0.06	12,084	4	0.09	11,834	9	0.08
	計	23,197	14	0.05	23,776	19	0.06	23,197	25	0.11
大学・専門学校	男	32,795	35	0.10	31,427	37	0.11	29,222	22	0.08
	女	33,848	28	0.07	33,126	35	0.08	32,003	26	0.08
	計	66,643	63	0.08	64,553	72	0.09	61,225	48	0.08
養護学校	男	166	0	0	205	0	0	199	0	0
	女	109	0	0	101	0	0	110	1	0.91
	計	275	0	0	306	0	0	309	1	0.32
計	男	44,533	38	0.09	43,339	52	0.12	40,794	38	0.09
	女	45,641	40	0.09	45,346	39	0.09	43,970	36	0.08
	計	90,174	78	0.09	88,685	91	0.10	84,764	74	0.09

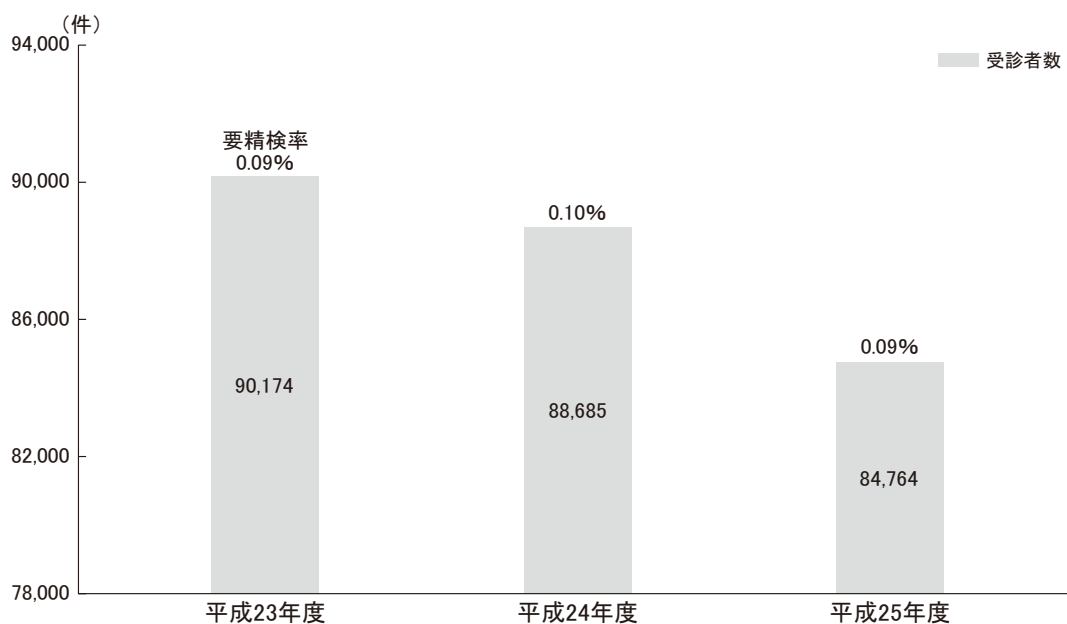


図1 結核検診年度別受診者数と要精検率

(5) ぎょう虫卵検査

学校保健安全法に基づき、幼稚園および小学校低学年（１～３年生）に対して実施している。

平成24年度は0.10%と高い保有率であったが、平成25年度は約0.06%となっている。

平成26年４月に「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令」が公布され、児童生徒等の健康診断における検査項目の見直しの中で、半世紀にわたり継続されてきた「寄生虫卵検出検査」が、必須項目から削除される事となった。また、この省令の施行は平成28年４月１日であることから、平成28年度以降のぎょう虫検査依頼は、大幅減少が予想される。

表1 年度別検査件数と陽性率

年 度	受検者数	陽性者数	陽性率(%)
平成23年度	119,537	42	0.04
平成24年度	91,407	95	0.10
平成25年度	92,699	51	0.06

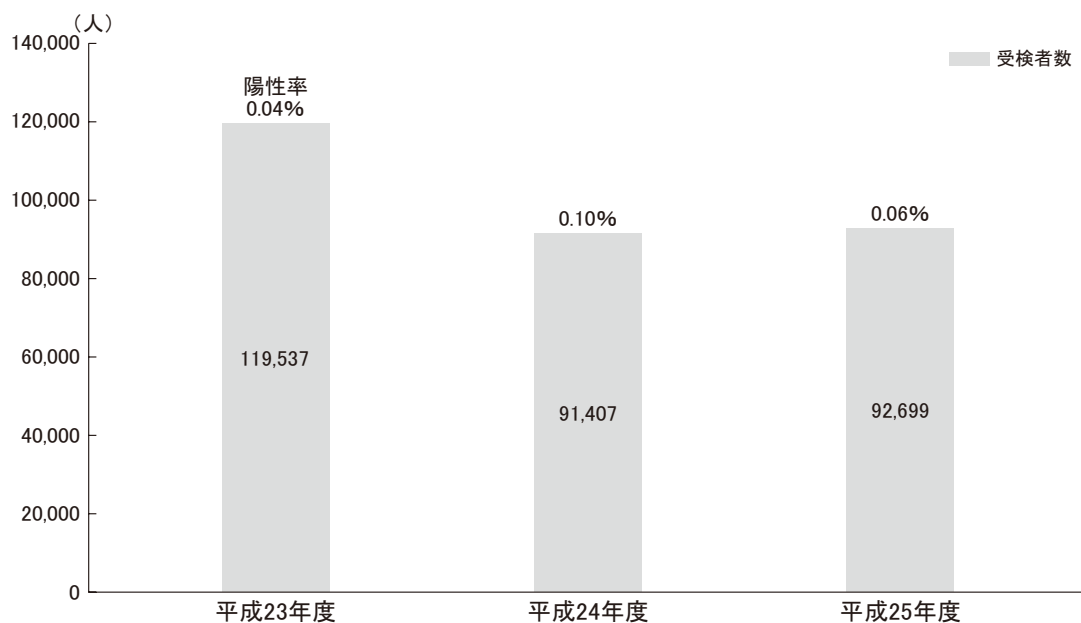


図1 ぎょう虫卵検査年度別受検者数と陽性率

3. 産業保健

(1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断

年齢階級	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
24歳以下	男	5,186	1,221	23.5	6,069	1,017	16.8	4,330	612	14.1
	女	5,726	1,356	23.7	7,826	1,543	19.7	4,999	927	18.5
	計	10,912	2,577	23.6	13,895	2,560	18.4	9,329	1,539	16.5
25～29	男	7,620	1,605	21.1	7,862	1,407	17.9	7,356	1,383	18.8
	女	8,311	1,749	21.0	8,278	1,655	20.0	7,636	1,543	20.2
	計	15,931	3,354	21.1	16,140	3,062	19.0	14,992	2,926	19.5
30～34	男	8,593	2,283	26.6	8,432	2,068	24.5	7,747	1,932	24.9
	女	6,695	1,658	24.8	6,708	1,532	22.8	6,117	1,573	25.7
	計	15,288	3,941	25.8	15,140	3,600	23.8	13,864	3,505	25.3
35～39	男	8,200	3,160	38.5	8,140	2,882	35.4	8,294	3,231	39.0
	女	6,008	2,123	35.3	6,250	1,809	28.9	5,682	1,901	33.5
	計	14,208	5,283	37.2	14,390	4,691	32.6	13,976	5,132	36.7
40～44	男	8,287	4,049	48.9	8,136	3,642	44.8	9,120	4,443	48.7
	女	6,923	3,091	44.6	6,708	2,399	35.8	6,381	2,588	40.6
	計	15,210	7,140	46.9	14,844	6,041	40.7	15,501	7,031	45.4
45～49	男	7,472	4,103	54.9	7,471	3,757	50.3	8,303	4,653	56.0
	女	6,575	3,342	50.8	6,573	2,606	39.6	6,299	2,874	45.6
	計	14,047	7,445	53.0	14,044	6,363	45.3	14,602	7,527	51.5
50～54	男	6,774	4,013	59.2	6,721	3,719	55.3	7,588	4,690	61.8
	女	6,596	3,772	57.2	6,356	2,722	42.8	5,814	2,935	50.5
	計	13,370	7,785	58.2	13,077	6,441	49.3	13,402	7,625	56.9
55～59	男	6,753	4,285	63.5	6,449	3,858	59.8	6,706	4,468	66.6
	女	6,123	3,749	61.2	5,745	2,675	46.6	5,172	2,935	56.7
	計	12,876	8,034	62.4	12,194	6,533	53.6	11,878	7,403	62.3
60～64	男	6,972	4,639	66.5	6,724	4,293	63.8	7,092	4,901	69.1
	女	4,254	2,558	60.1	3,978	1,966	49.4	3,679	2,140	58.2
	計	11,226	7,197	64.1	10,702	6,259	58.5	10,771	7,041	65.4
65歳以上	男	3,759	2,631	70.0	3,577	2,411	67.4	5,120	3,749	73.2
	女	1,947	1,258	64.6	1,824	1,144	62.7	2,466	1,740	70.6
	計	5,706	3,889	68.2	5,401	3,555	65.8	7,586	5,489	72.4
合 計	男	69,616	31,989	46.0	69,581	29,054	41.8	71,656	34,062	47.5
	女	59,158	24,656	41.7	60,246	20,051	33.3	54,245	21,156	39.0
	計	128,774	56,645	44.0	129,827	49,105	37.8	125,901	55,218	43.9

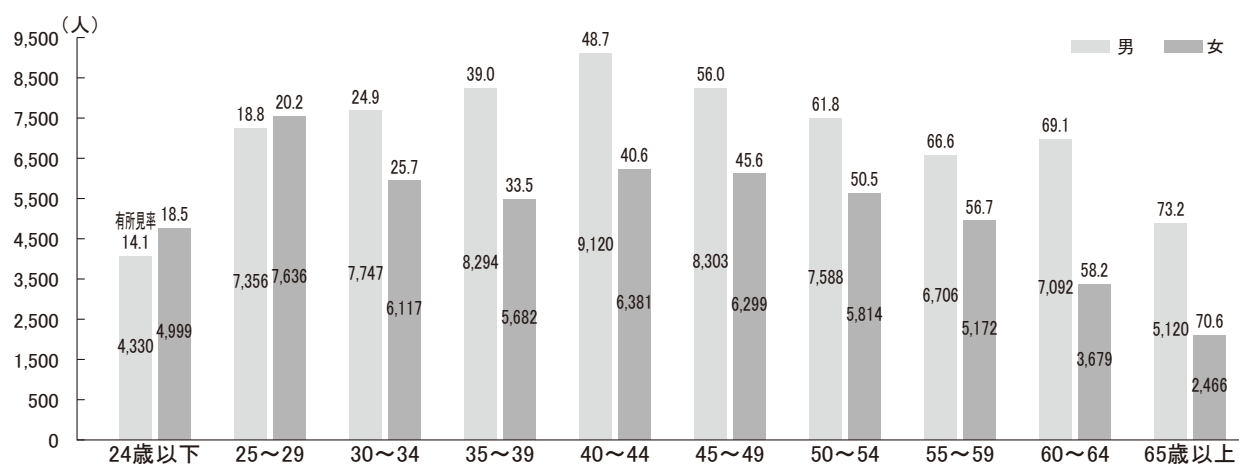


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

(2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）

全国健康保険協会管掌健康保険の被保険者のうち、35 歳以上の方を対象とした健康診断。 兵庫県下全体では毎年20万人以上の方が受診している。

年齢階級	性別	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
35～39	男	2,576	1,246	48.4	2,394	1,145	47.8	2,386	1,113	46.6
	女	1,131	461	40.8	1,103	455	41.3	1,102	439	39.8
	計	3,707	1,707	46.0	3,497	1,600	45.8	3,488	1,552	44.5
40～44	男	2,478	1,343	54.2	2,659	1,464	55.1	2,740	1,440	52.6
	女	1,313	640	48.7	1,369	660	48.2	1,384	651	47.0
	計	3,791	1,983	52.3	4,028	2,124	52.7	4,124	2,091	50.7
45～49	男	1,999	1,207	60.4	2,038	1,259	61.8	2,153	1,213	56.3
	女	1,289	633	49.1	1,312	692	52.7	1,290	672	52.1
	計	3,288	1,840	56.0	3,350	1,951	58.2	3,443	1,885	54.7
50～54	男	1,740	1,117	64.2	1,868	1,220	65.3	1,868	1,189	63.7
	女	1,289	699	54.2	1,360	771	56.7	1,292	711	55.0
	計	3,029	1,816	60.0	3,228	1,991	61.7	3,160	1,900	60.1
55～59	男	1,601	1,121	70.0	1,650	1,179	71.5	1,677	1,169	69.7
	女	1,064	612	57.5	1,095	636	58.1	1,132	680	60.1
	計	2,665	1,733	65.0	2,745	1,815	66.1	2,809	1,849	65.8
60～64	男	2,094	1,519	72.5	2,062	1,604	77.8	1,827	1,353	74.1
	女	935	590	63.1	867	556	64.1	833	526	63.1
	計	3,029	2,109	69.6	2,929	2,160	73.7	2,660	1,879	70.6
65～69	男	825	639	77.5	930	753	81.0	997	756	75.8
	女	197	134	68.0	250	180	72.0	258	168	65.1
	計	1,022	773	75.6	1,180	933	79.1	1,255	924	73.6
70歳以上	男	209	171	81.8	245	193	78.8	277	223	80.5
	女	54	38	70.4	53	40	75.5	54	39	72.2
	計	263	209	79.5	298	233	78.2	331	262	79.2
合 計	男	13,522	8,363	61.8	13,846	8,817	63.7	13,925	8,456	60.7
	女	7,272	3,807	52.4	7,409	3,990	53.9	7,345	3,886	52.9
	計	20,794	12,170	58.5	21,255	12,807	60.3	21,270	12,342	58.0

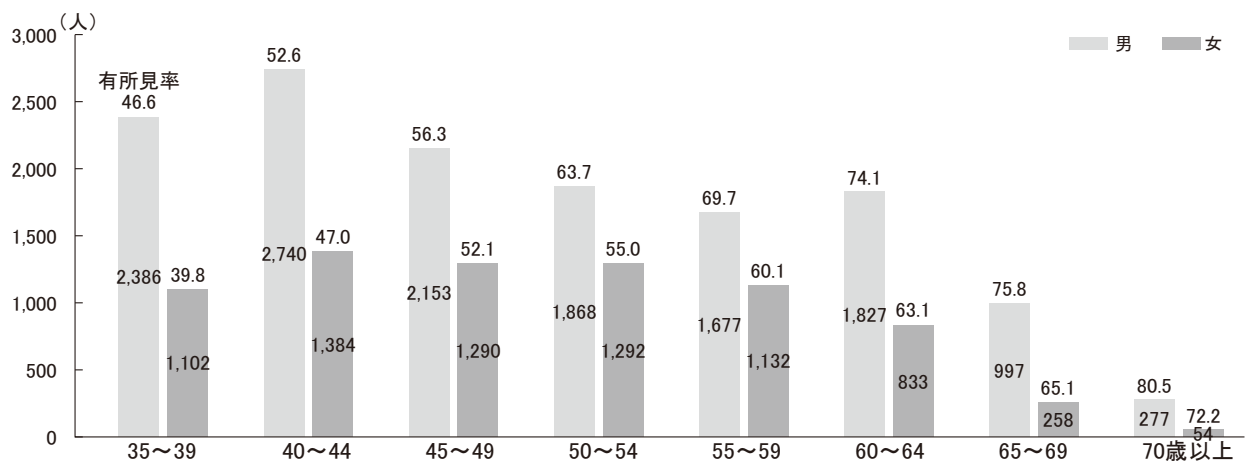


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）

（1）胃がん検診

事業所単位の胃検診希望者に対し検診車による出張検診（産業保健巡回健診）あるいは協会での施設健診を行った。胃がん検診の有効性は厚生労働省より証明され

ており、検診現場での受診勧奨やリーフレット配布等で受診率向上を図っている。

表1 胃部X線検査（産業保健巡回健診）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	2,387	39	1.6	2,208	27	1.2	2,044	19	0.9
	女	739	18	2.4	723	9	1.2	630	9	1.4
	計	3,126	57	1.8	2,931	36	1.2	2,674	28	1.0
40～44	男	2,414	68	2.8	2,366	70	3.0	2,168	50	2.3
	女	984	33	3.4	922	25	2.7	780	17	2.2
	計	3,398	101	3.0	3,288	95	2.9	2,948	67	2.3
45～49	男	2,364	77	3.3	2,200	75	3.4	1,956	49	2.5
	女	906	23	2.5	841	34	4.0	722	10	1.4
	計	3,270	100	3.1	3,041	109	3.6	2,678	59	2.2
50～54	男	2,239	83	3.7	2,147	84	3.9	1,941	71	3.7
	女	884	32	3.6	829	34	4.1	680	15	2.2
	計	3,123	115	3.7	2,976	118	4.0	2,621	86	3.3
55～59	男	2,126	117	5.5	1,936	109	5.6	1,749	78	4.5
	女	760	24	3.2	646	25	3.9	576	14	2.4
	計	2,886	141	4.9	2,582	134	5.2	2,325	92	4.0
60～64	男	1,506	114	7.6	1,773	117	6.6	1,445	85	5.9
	女	375	13	3.5	349	15	4.3	289	9	3.1
	計	1,881	127	6.8	2,122	132	6.2	1,734	94	5.4
65～69	男	513	32	6.2	599	35	5.8	449	27	6.0
	女	67	3	4.5	84	6	7.1	71	2	2.8
	計	580	35	6.0	683	41	6.0	520	29	5.6
70～74	男	147	9	6.1	177	13	7.3	132	8	6.0
	女	27	1	3.7	22	1	4.5	11	0	0
	計	174	10	5.7	199	14	7.0	143	8	5.6
75歳以上	男	37	0	0	48	0	0	4	1	25.0
	女	64	0	0	64	0	0	7	1	14.3
	計	101	0	0	112	0	0	11	2	18.2
合 計	男	13,733	539	3.9	13,454	530	3.9	11,888	388	3.3
	女	4,806	147	3.1	4,480	149	3.3	3,766	77	2.0
	計	18,539	686	3.7	17,934	679	3.8	15,654	465	3.0

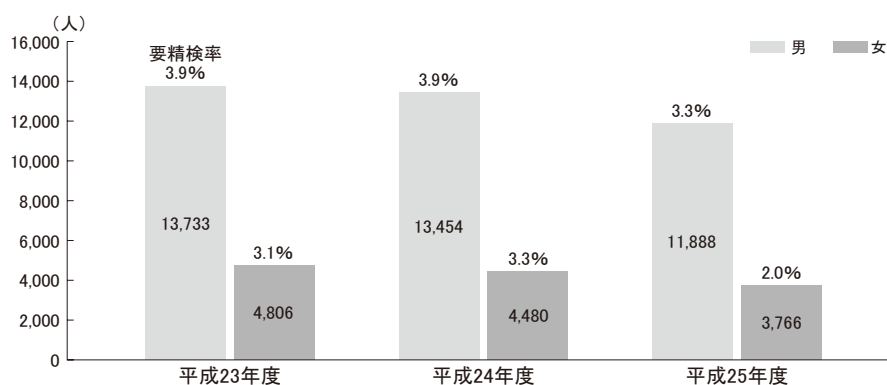


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（産業保健巡回健診）

表2 胃部X線検査（施設健診）

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	1,720	43	2.5	1,566	42	2.7	1,706	40	2.3
	女	918	31	3.4	897	29	3.2	998	25	2.5
	計	2,638	74	2.8	2,463	71	2.9	2,704	65	2.4
40～44	男	1,581	47	3.0	1,597	49	3.1	1,603	51	3.2
	女	998	27	3	1,007	37	3.7	985	29	2.9
	計	2,579	74	2.9	2,604	86	3.3	2,588	80	3.1
45～49	男	1,309	64	4.9	1,305	46	3.5	1,337	50	3.7
	女	866	32	4	922	42	4.6	890	28	3.1
	計	2,175	96	4.4	2,227	88	4.0	2,227	78	3.5
50～54	男	1,074	61	5.7	1,158	62	5.4	1,077	60	5.6
	女	696	30	4	769	45	5.9	719	35	4.9
	計	1,770	91	5.1	1,927	107	5.6	1,796	95	5.3
55～59	男	947	64	6.8	960	57	5.9	878	64	7.3
	女	524	39	7	528	34	6.4	536	31	5.8
	計	1,471	103	7.0	1,488	91	6.1	1,414	95	6.7
60～64	男	966	96	9.9	902	78	8.6	797	75	9.4
	女	452	33	7	445	34	7.6	377	29	7.7
	計	1,418	129	9.1	1,347	112	8.3	1,174	104	8.9
65～69	男	385	36	9.4	444	44	9.9	393	47	12.0
	女	121	8	7	145	6	4.1	129	9	7.0
	計	506	44	8.7	589	50	8.5	522	56	10.7
70～74	男	163	9	5.5	174	13	7.5	141	14	9.9
	女	57	6	11	56	6	10.7	45	1	2.2
	計	220	15	6.8	230	19	8.3	186	15	8.1
75歳以上	男	23	1	4.3	21	2	9.5	12	1	8.3
	女	5	0	0	5	1	20.0	3	1	33.3
	計	28	1	3.6	26	3	11.5	15	2	13.3
合 計	男	8,168	421	5.2	8,127	393	4.8	7,944	402	5.1
	女	4,637	206	4.4	4,774	234	4.9	4,682	188	4.0
	計	12,805	627	4.9	12,901	627	4.9	12,626	590	4.7

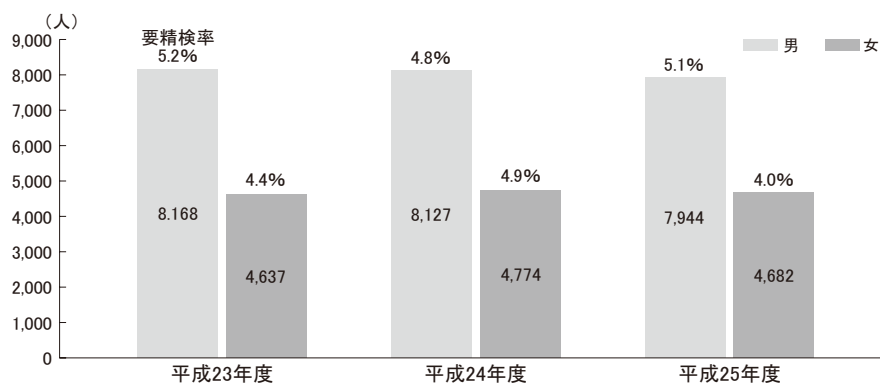


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（施設健診）

(2) 肺がん検診（職域）

肺がんによる死亡数は2009年度、男・女共にトップであり、肺がんはがん対策上、最も重要ながんの一つとなっている。肺がん検診は、老人保健法のがん検診に導入され、主に40歳以上の住民を対象とし胸部X線撮影と喀痰細胞診によって行われている。喀痰細胞診はX線で

は発見しにくい肺門部肺がんの早期発見のため、喫煙指数（1日の本数×喫煙年数）600以上、又は過去6カ月以内に血痰のあった受診者に行う事が勧められている。当協会の職域検診もこれに準じて行われている。

表1 肺がん検診 ー胸部X線ー

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	317	0	0	286	0	0	226	1	0.4
	女	247	0	0	205	0	0	168	0	0
	計	564	0	0	491	0	0	394	1	0.3
40～44	男	453	3	0.7	417	1	0.2	342	0	0
	女	401	2	1	362	2	0.6	348	0	0
	計	854	5	1	779	3	0.4	690	0	0
45～49	男	434	1	0.2	448	3	0.7	447	3	0.7
	女	377	1	0.3	410	2	0.5	426	2	0.5
	計	811	2	0.2	858	5	0.6	873	5	0.6
50～54	男	361	3	0.8	401	2	0.5	403	4	1.0
	女	438	3	0.7	409	3	0.7	396	4	1.0
	計	799	6	0.8	810	5	0.6	799	8	1.0
55～59	男	401	3	0.7	396	4	1.0	372	9	2.4
	女	411	3	0.7	402	6	1.5	399	6	1.5
	計	812	6	0.7	798	10	1.3	771	15	1.9
60～64	男	325	6	1.8	299	9	3.0	279	4	1.4
	女	47	0	0	40	0	0	37	0	0
	計	372	6	1.6	339	9	2.7	316	4	1.3
65～69	男	19	0	0	21	0	0	19	1	5.3
	女	2	0	0	4	0	0	4	0	0
	計	21	0	0	25	0	0	23	1	4.3
70～74	男	1	0	0	0	0	－	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	計	1	0	0	0	0	－	0	0	－
75歳以上	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	0	0	－
合 計	男	2,311	16	0.7	2,268	19	0.8	2,088	22	1.1
	女	1,923	9	0.5	1,832	13	0.7	1,778	12	0.7
	計	4,234	25	0.6	4,100	32	0.8	3,866	34	0.9

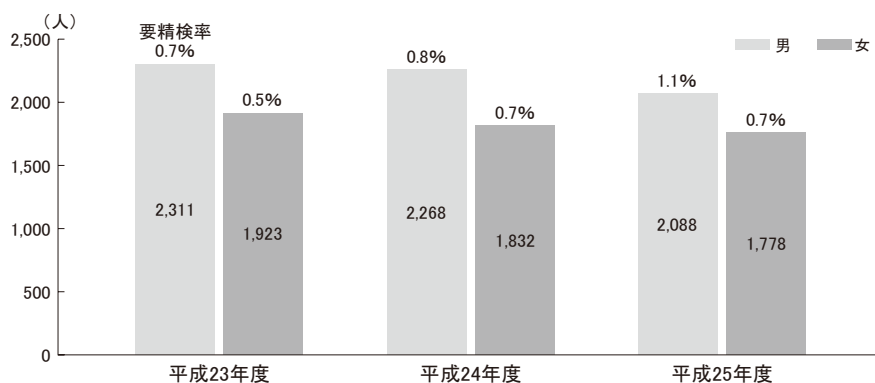


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ー胸部X線ー

表2 肺がん検診 一喀痰検査一

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	11	0	0	41	0	0	32	0	0
	女	6	0	0	4	0	0	7	0	0
	計	17	0	0	45	0	0	39	0	0
40～44	男	37	0	0	85	0	0	74	0	0
	女	8	0	0	14	0	0	25	1	4.0
	計	45	0	0	99	0	0	99	1	1.0
45～49	男	57	0	0	115	0	0	85	0	0
	女	11	0	0	14	0	0	20	0	0
	計	68	0	0	129	0	0	105	0	0
50～54	男	88	0	0	159	0	0	146	0	0
	女	19	0	0	34	0	0	36	0	0
	計	107	0	0	193	0	0	182	0	0
55～59	男	107	0	0	146	0	0	142	2	1.4
	女	10	0	0	10	0	0	16	0	0
	計	117	0	0	156	0	0	158	2	1.3
60～64	男	95	0	0	135	1	0.7	135	0	0
	女	7	0	0	7	0	0	11	0	0
	計	102	0	0	142	1	0.7	146	0	0
65～69	男	25	0	0	48	0	0	69	1	1.4
	女	1	0	0	5	0	0	4	0	0
	計	26	0	0	53	0	0	73	1	1.4
70～74	男	9	0	0	23	0	0	27	0	0
	女	0	0	－	2	0	0	2	0	0
	計	9	0	0	25	0	0	29	0	0
75歳以上	男	5	0	0	39	0	0	30	1	3.3
	女	0	0	－	2	0	0	6	0	0
	計	5	0	0	41	0	0	36	1	2.8
合 計	男	434	0	0	791	1	0.1	740	4	0.5
	女	62	0	0	92	0	0	127	1	0.8
	計	496	0	0	883	1	0.1	867	5	0.6

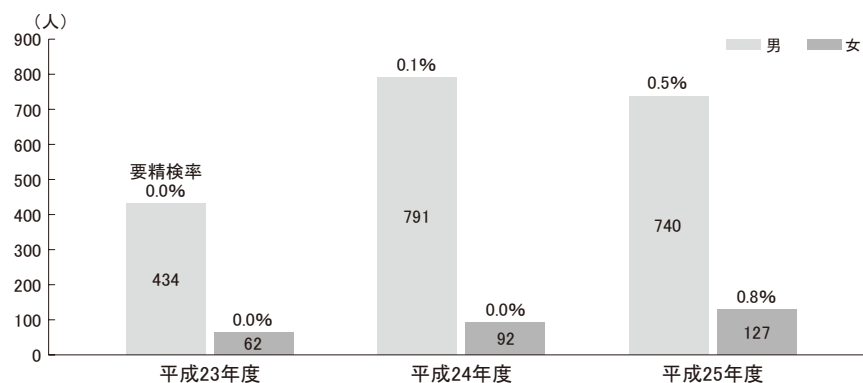


図2 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 一喀痰検査一

(3) 大腸がん検診

表1 大腸がん検診（便潜血検査）〈施設〉

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	765	24	3.1	904	34	3.8	942	30	3.2
	女	389	17	4.4	458	19	4.1	460	19	4.1
	計	1,154	41	3.6	1,362	53	3.9	1,402	49	3.5
40～44	男	840	28	3.3	1,068	42	3.9	1,056	53	5.0
	女	435	15	3.4	520	22	4.2	556	19	3.4
	計	1,275	43	3.4	1,588	64	4.0	1,612	72	4.5
45～49	男	740	3	0.4	854	30	3.5	906	32	3.5
	女	354	18	5.1	484	17	3.5	478	19	4.0
	計	1,094	21	1.9	1,338	47	3.5	1,384	51	3.7
50～54	男	672	31	4.6	755	33	4.4	781	36	4.6
	女	324	8	2.5	456	18	3.9	431	19	4.4
	計	996	39	3.9	1,211	51	4.2	1,212	55	4.5
55～59	男	570	37	6.5	652	32	4.9	673	54	8.0
	女	258	8	3.1	346	16	4.6	360	14	3.9
	計	828	45	5.4	998	48	4.8	1,033	68	6.6
60～64	男	487	33	6.8	558	44	7.9	535	46	8.6
	女	258	9	3.5	285	17	6.0	273	20	7.3
	計	745	42	5.6	843	61	7.2	808	66	8.2
65～69	男	230	8	3.5	339	30	8.8	311	28	9.0
	女	80	6	7.5	128	6	4.7	126	3	2.4
	計	310	14	4.5	467	36	7.7	437	31	7.1
70～74	男	96	3	3.1	127	7	5.5	149	4	2.7
	女	59	2	3.4	56	2	3.6	58	5	8.6
	計	155	5	3.2	183	9	4.9	207	9	4.3
75～79	男	30	2	6.7	56	2	3.6	26	1	3.8
	女	12	0	0	2	2	100.0	6	1	16.7
	計	42	2	4.8	58	4	6.9	32	2	6.3
80歳以上	男	7	0	0	8	0	0	6	1	16.7
	女	3	0	0	6	0	0	8	0	0
	計	10	0	0	14	0	0	14	1	7.1
合 計	男	4,437	169	3.8	5,321	254	4.8	5,385	285	5.3
	女	2,172	83	3.8	2,741	119	4.3	2,756	119	4.3
	計	6,609	252	3.8	8,062	373	4.6	8,141	404	5.0

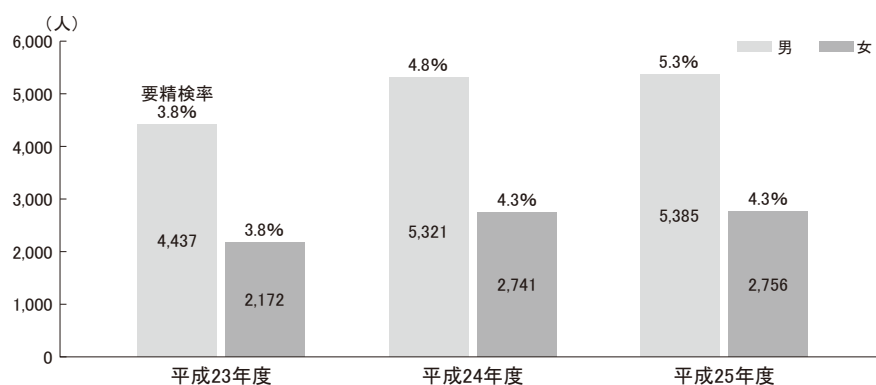


図1 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈施設〉

表2 大腸がん検診（便潜血検査）〈職域〉

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	4,515	135	3.0	7,600	255	3.4	4,401	150	3.4
	女	2,550	114	4.5	3,019	122	4.0	2,579	132	5.1
	計	7,065	249	3.5	10,619	377	3.6	6,980	282	4.0
40～44	男	4,323	125	2.9	5,176	188	3.6	4,539	179	3.9
	女	3,340	132	4.0	3,884	177	4.6	3,332	154	4.6
	計	7,663	257	3.4	9,060	365	4.0	7,871	333	4.2
45～49	男	3,557	148	4.2	4,308	144	3.3	3,818	186	4.9
	女	2,872	87	3.0	3,464	199	5.7	3,195	134	4.2
	計	6,429	235	3.7	7,772	343	4.4	7,013	320	4.6
50～54	男	3,487	162	4.6	4,196	199	4.7	3,581	186	5.2
	女	3,066	111	3.6	3,510	160	4.6	3,050	122	4.0
	計	6,553	273	4.2	7,706	359	4.7	6,631	308	4.6
55～59	男	3,534	201	5.7	4,042	227	5.6	3,495	228	6.5
	女	2,691	89	3.3	2,993	117	3.9	2,888	130	4.5
	計	6,225	290	4.7	7,035	344	4.9	6,383	358	5.6
60～64	男	3,748	241	6.4	4,056	247	6.1	3,505	238	6.8
	女	2,077	77	3.7	2,253	115	5.1	1,989	71	3.6
	計	5,825	318	5.5	6,309	362	5.7	5,494	309	5.6
65～69	男	1,208	89	7.4	1,699	130	7.7	1,794	144	8.0
	女	346	19	5.5	718	30	4.2	764	39	5.1
	計	1,554	108	6.9	2,417	160	6.6	2,558	183	7.2
70～74	男	432	55	12.7	611	51	8.3	653	59	9.0
	女	136	6	4.4	295	20	6.8	283	20	7.1
	計	568	61	10.7	906	71	7.8	936	79	8.4
75～79	男	94	9	9.6	116	14	12.1	106	6	5.7
	女	41	4	9.8	79	5	6.3	73	3	4.1
	計	135	13	9.6	195	19	9.7	179	9	5.0
80歳以上	男	37	2	5.4	47	5	10.6	57	7	12.3
	女	49	4	8.2	70	4	5.7	79	5	6.3
	計	86	6	7.0	117	9	7.7	136	12	8.8
合 計	男	24,935	1,167	4.7	31,851	1,460	4.6	25,949	1,383	5.3
	女	17,168	643	3.7	20,285	949	4.7	18,232	810	4.4
	計	42,103	1,810	4.3	52,136	2,409	4.6	44,181	2,193	5.0

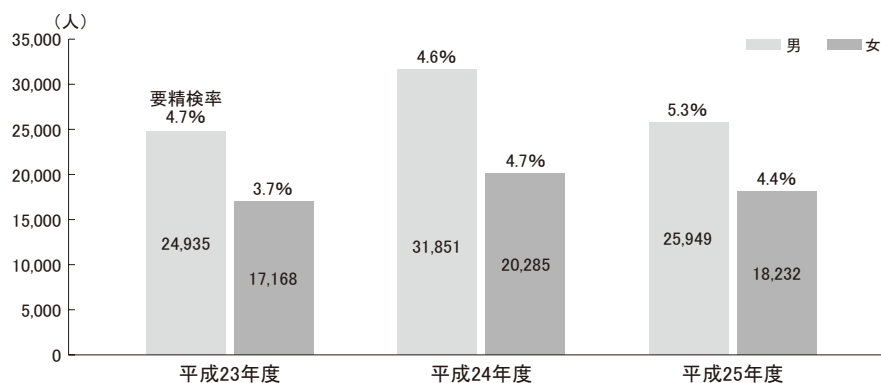


図2 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈職域〉

5. 人間ドック・脳ドック

当協会開設以来の事業である「人間ドック」は、精度管理を徹底し「優良総合健診施設」の認定を受け実施している。

全体の有所見率は、年度別、性別にみても大きな差はないが年代別に男女差をみると明らかに50歳から70歳までの男女差が非常に大きく、70歳以上ではこの差が小さくなっている。男女の寿命差の由来はこのあたりに

あることが考えられる。

超高齢化社会に突入している我が国では、単に人間ドックの受診者数を増加させるだけでなく、この年代の方々に対し積極的にドック受診後の保健指導に介入し「健康寿命の延伸」を図っていく必要があると思われる。その目的を達成するため平成26年度より50歳以上の方を対象に「いきいきライフドック」を実施する予定である。

表1 人間ドック

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	88	38	43.2	73	39	53.4	70	30	42.9
	女	87	41	47.1	68	28	41.2	67	30	44.8
	計	175	79	45.1	141	67	47.5	137	60	43.8
35～39	男	506	295	58.3	411	228	55.5	435	243	55.9
	女	427	236	55.3	318	178	56.0	317	163	51.4
	計	933	531	56.9	729	406	55.7	752	406	54.0
40～44	男	853	550	64.5	818	534	65.3	734	464	63.2
	女	610	347	56.9	610	325	53.3	585	315	53.8
	計	1,463	897	61.3	1,428	859	60.2	1,319	779	59.1
45～49	男	906	605	66.8	797	542	68.0	853	553	64.8
	女	599	376	62.8	596	346	58.1	576	360	62.5
	計	1,505	981	65.2	1,393	888	63.7	1,429	913	63.9
50～54	男	812	552	68.0	792	543	68.6	856	573	66.9
	女	601	373	62.1	666	398	59.8	624	361	57.9
	計	1,413	925	65.5	1,458	941	64.5	1,480	934	63.1
55～59	男	853	625	73.3	768	516	67.2	765	522	68.2
	女	536	343	64.0	568	356	62.7	596	362	60.7
	計	1,389	968	69.7	1,336	872	65.3	1,361	884	65.0
60～64	男	604	440	72.8	555	397	71.5	550	398	72.4
	女	363	244	67.2	366	249	68.0	341	212	62.2
	計	967	684	70.7	921	646	70.1	891	610	68.5
65～69	男	227	173	76.2	281	213	75.8	284	210	73.9
	女	130	92	70.8	179	117	65.4	163	105	64.4
	計	357	265	74.2	460	330	71.7	447	315	70.5
70～74	男	127	92	72.4	150	120	80.0	164	124	75.6
	女	83	59	71.1	81	53	65.4	79	56	70.9
	計	210	151	71.9	231	173	74.9	243	180	74.1
75歳以上	男	58	52	89.7	62	50	80.6	59	47	79.7
	女	30	22	73.3	31	26	83.9	36	28	77.8
	計	88	74	84.1	93	76	81.7	95	75	78.9
合 計	男	5,034	3,422	68.0	4,707	3,182	67.6	4,770	3,164	66.3
	女	3,466	2,133	61.5	3,483	2,076	59.6	3,384	1,992	58.9
	計	8,500	5,555	65.4	8,190	5,258	64.2	8,154	5,156	63.2

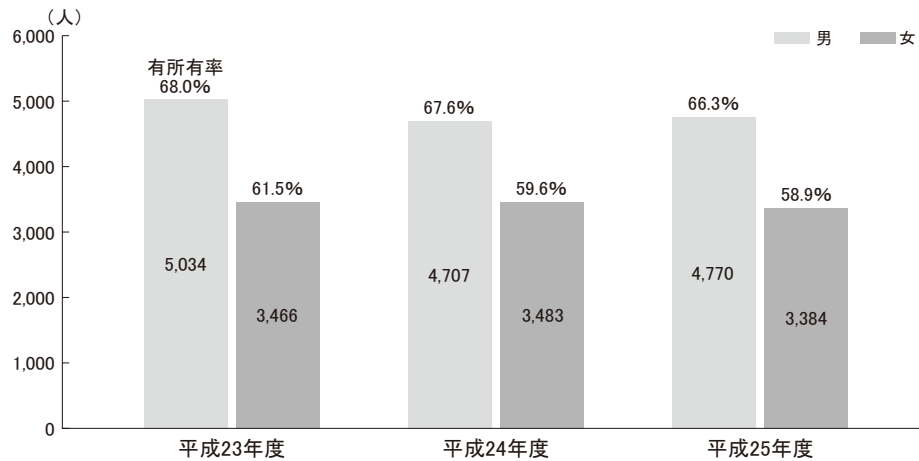


図1 人間ドック年度別受診者数と有所見率

表2 脳ドック

年齢階級		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	1	0	0	0	0	—	0	0	—
	女	1	0	0	2	1	50.0	0	0	—
	計	2	0	0	2	1	50.0	0	0	—
35～39	男	2	0	0	2	2	100.0	0	0	—
	女	3	1	33.3	1	0	0	3	0	0
	計	5	1	20.0	3	2	66.7	3	0	0
40～44	男	7	2	28.6	1	0	0	3	1	33.3
	女	2	0	0	5	1	20.0	4	2	50.0
	計	9	2	22.2	6	0	0	7	3	42.9
45～49	男	6	1	16.7	4	1	25.0	7	1	14.3
	女	1	0	0	5	1	20.0	8	2	25.0
	計	7	1	14.3	9	2	22.2	15	3	20.0
50～54	男	7	3	42.9	30	12	40.0	43	10	23.3
	女	9	3	33.3	34	13	38.2	40	14	35.0
	計	16	6	37.5	64	25	39.1	83	24	28.9
55～59	男	38	11	28.9	40	9	22.5	41	18	43.9
	女	14	7	50.0	34	20	58.8	46	13	28.3
	計	52	18	34.6	74	29	39.2	87	31	35.6
60～64	男	10	4	40.0	3	2	66.7	17	6	35.3
	女	8	2	25.0	12	6	50.0	16	4	25.0
	計	18	6	33.3	15	8	53.3	33	10	30.3
65～69	男	3	2	66.7	4	0	0	5	1	20.0
	女	4	2	50.0	3	1	33.3	1	1	100.0
	計	7	4	57.1	7	1	14.3	6	2	33.3
70～74	男	0	0	—	2	1	50.0	2	2	100.0
	女	1	1	100.0	1	0	0	0	0	—
	計	1	1	100.0	3	1	33.3	2	2	100.0
75歳以上	男	0	0	—	2	0	0	3	3	100.0
	女	1	0	0	1	1	100.0	2	0	0
	計	1	0	0	3	1	33.3	5	3	60.0
合 計	男	74	23	31.1	88	27	30.7	121	42	34.7
	女	44	16	36.4	98	44	44.9	120	36	30.0
	計	118	39	33.1	186	71	38.2	241	78	32.4

※有所見者：頭部MRI・MRA，頸部MRA判定のC1（1年後要再検査）以上の者

脳ドックにおける受診者数を年齢別に見てみると、50歳代が最も多く、全体の70.5%（男性69.4%、女性71.7%）を占め、有所見者数も全体の70.5%（男性66.7%、女性75.0%）と多いものとなっている。

50歳代の有所見者数における各判定所見を見てみると、頭部MRIでは、無症候性脳梗塞が23.6%（男性32.1%、女性14.8%）で最も多く、次いで腫瘍が10.9%（男性7.1%、女性14.8%）、のう胞が9.1%（男性7.1%、女性11.1%）、萎縮が3.6%（男性7.1%、女性0%）、透明中

隔のう胞が1.8%（男性3.6%、女性0%）、また、耳鼻咽喉所見は34.5%（男性35.7%、女性33.3%）という結果であった。

頭部MRAでは、動脈狭窄が16.4%（男性17.9%、女性14.8%）、動脈瘤も16.4%（男性10.7%、女性22.2%）と大半を占め、動脈拡張が1.8%（男性3.6%、女性0%）という結果であった。

頸部MRAでは、動脈狭窄が7.2%（男性3.6%、女性11.1%）という結果であった。

表3 25年度 判定別有所見数

年齢階級		受診者数	有所見者数	頭部MRI								頭部MRA			頸部MRA	
				無症候性脳梗塞	腫瘍（※2）	のう胞	血管腫	耳鼻咽喉	透明中隔のう胞	萎縮	異常陰影	動脈狭窄	動脈瘤	拡張	動脈狭窄	解離
39歳以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	男	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	計	7	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
45～49	男	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	計	15	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
50～54	男	43	10	2	1	2	0	2	1	1	0	1	2	1	0	0
	女	40	14	1	1	2	0	4	0	0	0	2	4	0	2	0
	計	83	24	3	2	4	0	6	1	1	0	3	6	1	2	0
55～59	男	41	18	7	1	0	0	8	0	1	1	4	1	0	1	0
	女	46	13	3	3	1	0	5	0	0	0	2	2	0	1	0
	計	87	31	10	4	1	0	13	0	1	1	6	3	0	2	0
60～64	男	17	6	1	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0
	女	16	4	1	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	計	33	10	2	4	1	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0
65～69	男	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
75歳以上	男	3	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
合 計	男	121	42	13	3	2	2	13	1	3	1	6	4	1	4	1
	女	120	36	6	7	4	0	9	0	0	0	8	7	0	3	0
	計	241	78	19	10	6	2	22	1	3	1	14	11	1	7	1

※1 有所見者数から各判定ごとの有所見数（複数所見あり）

※2 腫瘍は皮膚所見等も含む

6. 保健指導

(1) 特定保健指導事業

特定保健指導とは、生活習慣病の予防を目的とした事業で、特定健診受診者を3つのレベルに階層化し、動機付け支援レベルおよび積極的支援レベルに該当した対象者に指導を行う。積極的支援の対象者は40歳以上65歳未

満である。勧奨後終了者数と最終評価実施者数を合わせたものを終了者数とした。平成25年度の特定保健指導は実施中のため、平成24年に実施した特定保健指導の状況について示す。

i. 地域保健

神戸市国民健康保険から委託された特定健診受診者を階層化し、H24年度からは国の受診勧奨基準値に該当す

る人も対象者とした。対象者には案内を送付し、希望者に特定保健指導を実施した。また申し込みのなかった対象者には電話で参加勧奨を行った。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回 実施者数	終了者数	最終評価 実施者数
40～44	男	114	2	2	1
	女	46	3	3	3
	計	160	5	5	4
45～49	男	83	4	3	3
	女	41	2	2	2
	計	124	6	5	5
50～54	男	81	5	5	5
	女	58	3	2	2
	計	139	8	7	7
55～59	男	97	5	4	2
	女	59	4	3	3
	計	156	9	7	5
60～64	男	191	12	11	10
	女	220	17	16	15
	計	411	29	27	25
65～69	男	934	52	45	44
	女	401	21	20	17
	計	1,335	73	65	61
70～74	男	930	59	51	48
	女	364	35	31	30
	計	1,294	94	82	78
合 計	男	2,430	139	121	113
	女	1,189	85	77	72
	計	3,619	224	198	185

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回 実施者数	最終評価 実施者数
40～44	男	168	4	4
	女	22	0	0
	計	190	4	4
45～49	男	153	5	4
	女	17	0	0
	計	170	5	4
50～54	男	162	7	7
	女	34	5	3
	計	196	12	10
55～59	男	174	6	4
	女	47	1	1
	計	221	7	5
60～64	男	388	18	14
	女	132	9	6
	計	520	27	20
合計	男	1,045	40	33
	女	252	15	10
	計	1,297	55	43

ii. 産業保健

平成24年度は出張実施として7つの医療保険者から、施設実施として集合契約を結んだ医療保険者等から委託を受け、特定保健指導を実施した。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	初回実施者数	終了者数	最終評価実施者数
40～44	男	14	9	9
	女	7	5	4
	計	21	14	13
45～49	男	9	3	3
	女	6	5	5
	計	15	8	8
50～54	男	12	9	9
	女	0	0	0
	計	12	9	9
55～59	男	9	9	9
	女	8	6	6
	計	17	15	15
60～64	男	6	5	5
	女	2	2	2
	計	8	7	7
65～69	男	8	7	6
	女	0	0	0
	計	8	7	6
70～74	男	3	1	1
	女	0	0	0
	計	3	1	1
合計	男	61	43	42
	女	23	18	17
	計	84	61	59

※初回実施者数には、初回支援のみ契約で実施した人数も含む

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	初回実施者数	最終評価実施者数
40～44	男	14	8
	女	2	1
	計	16	9
45～49	男	12	11
	女	1	1
	計	13	12
50～54	男	17	9
	女	3	2
	計	20	11
55～59	男	17	11
	女	2	1
	計	19	12
60～64	男	11	10
	女	0	0
	計	11	10
合計	男	71	49
	女	8	5
	計	79	54

※初回実施者数には、初回支援のみ契約で実施した人数も含む

（2）健康相談事業

生活習慣病対策は、健康寿命を延伸するために極めて重要である。勤務形態や生活習慣を見直し、健康的な習

慣を作り出していただくことを目的として健康相談を行っている。

i. 地域保健

a. 神戸市民健康診査当日健康相談

予約が100人以上の健診会場に保健師が出務し、医師の指示があったものおよび希望者の相談に応じている。出務回数は285回あった。

b. がん検診勧奨事業

神戸市からの委託を受け、市民健診会場に保健師が出務し、がん検診の受診勧奨を行っている。出務回数は112回あった。

表1 神戸市市民健診当日健康相談

種別	実施人数
メタボ勧奨	222
受診勧奨	497
健康相談	2,026
その他	160
延べ合計	2,905
実数合計	2,135

表2 がん検診勧奨事業

種別	実施人数
胃がん	3,527
大腸がん	4,112
乳がん	3,308
子宮頸がん	2,809
肺がん	1,727
計	15,483

c. 相談業務

健診結果・諸検査・項目の意味・所見・日常生活の改善点に関する質問や疑問については電話と面接で対応している。

表3 電話・面接健康相談

相談方法	実施人数
電 話	558
面 接	4
計	562

表4 健康相談内容

相談内容	相談件数
身体（BMI・腹囲）	13
血圧	65
脂質（中性脂肪・HDL・LDL）	231
肝機能（AST・ALT・ γ GTP）	66
糖代謝（血糖・HbA1c・尿糖）	111
腎機能（尿蛋白・尿潜血・Cre・eGFR）	98
貧血（RBC・血色素量・Ht値）	25
尿酸	36
肝炎（B型・C型）	9
胸部X線	52
心電図	58
眼底	70
骨粗鬆症	30
睡眠時無呼吸症候群	2
胃がん検診	195
大腸がん検診	17
子宮がん検診	17
乳がん検診	19
前立腺がん検診	13
肺がん検診	8
その他のがん検診	4
その他	105
計	1,244

ii. 産業保健

a. 施設内健康相談

施設内健康相談には、半日ドック、一泊ドックの結果説明時に実施する健康相談や労災二次健診における健康

相談などがある。二次検査および受診の勧奨や運動・栄養等の生活習慣改善の相談を実施している。

表5 結果説明および健康相談

事業名	実施人数
半日ドック	555
一泊ドック	196
労災二次	86
計	837

表6 日帰りドック健康相談内容

相談項目	相談件数
ダイエット	225
脂質異常	114
高血圧	53
糖尿病	39
不眠	31
肝障害	30
腰痛	29
アルコール	27
高尿酸血症	20
慢性疲労	18
禁煙	12
更年期	12
眼精疲労	8
貧血	6
関節疾患	6
アレルギー	3
乳房	1
子宮	1
メンタル（全般）	0
その他	344
計	979

b. 出張健康相談

依頼のあった事業所1か所11人に対して、健康診断の結果に基づき抽出した受診者や希望者を実施している。

iii. その他

骨粗しょう症検診やドックの受診者に対して、運動・栄養等の生活習慣改善相談を実施している。

表8 その他の結果説明および健康相談

事業名	実施人数
骨粗しょう症検診	109
半日ドック	99
一泊ドック	12
計	220

7. 細胞診

神戸市の委託を受け、「神戸市子宮頸がん検診」および「神戸市肺がん検診」における“細胞診部門”を実施している。

また、神戸市内医療機関が一般診療として実施する「子宮がん細胞診（一般診療）」を受託している。

（１）子宮がん細胞診

ⅰ 神戸市子宮頸がん検診

昭和47年、神戸市の委託を受けて、「神戸市子宮がん細胞診センター」が当協会に設置され、細胞診は子宮頸がん検診における主軸をなしてきた。検診体制は、昭和58年度の老人保健法施行、平成11年度一般財源化、平成17年度の検診対象条件改正（年齢が30歳以上から20歳以上、受診間隔が通年から隔年）を経てきた。さらに平成21年度から5年間、20、25、30、35、40歳を対象に無料クーポン券による「女性特有のがん検診」が実施された。今後は、未受診者に対する勧奨に重点をおいた検診を実施していく。

【神戸市子宮頸がん検診システム】

日本産婦人科医会の方式に基づき、神戸市指定医療機関（約100施設）で採取された検体は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会へ搬入される。検査成績は、このルートにより、当該医療機関へ報告する。

細胞診成績の報告様式は、平成22年より、従来のクラス分類にベセスダシステムによる分類を併記しているが、

今後はベセスダシステムに統一される見込みである。判定結果が要精検の場合、医療機関宛に追跡調査を実施し、統計表を月次集計表と同様に、神戸市へ報告する。また、各医療機関へ神戸市および医療機関毎の集計表を報告する等、連携して検診事業の精度向上に努めている。

平成25年度の「神戸市子宮頸がん検診細胞診成績」を表1と図1に示した。検査数のピークは、40～44歳で、これは「無料クーポン検診」と神戸市が独自に実施している「40歳総合健診」（無料）による受診者が多いためである。次いで多い30歳代は、妊娠を契機としたものと思われる。要精検数は、44歳以下が全体の79.4%を占め、その成績は“ASC-US”が45.8%を占めており、HPV検査への対応が必要と思われる。また、不適正検体減少のため関係機関との協力が重要である。

過去3年間の「細胞診実施状況推移」を表2に示した。検査数は、平成25年度やや減少したが、要精検率は概ね一定の値で推移している。

表1 神戸市子宮頸がん検診 細胞診成績（ベセスダシステム）

年齢 階級	検査数	不適正 検体率 (%)	NILM	扁平上皮系					腺系			その他	要精検 者数	要精 検率 (%)
				ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Ad.ca			
20～24	1,450	9.2	1,272	28	1	10	6	0	0	0	0	0	45	3.10
25～29	2,859	8.7	2,525	31	8	31	11	0	3	0	0	0	84	2.94
30～34	4,714	10.8	4,056	69	10	26	36	3	5	0	0	0	149	3.16
35～39	4,339	9.9	3,810	45	10	10	28	3	2	0	0	0	98	2.26
40～44	7,857	6.9	7,133	81	16	28	33	7	12	0	2	0	179	2.28
45～49	2,189	7.9	1,970	22	1	7	6	3	6	0	1	0	46	2.10
50～54	2,074	12.1	1,798	15	1	3	3	2	2	0	0	0	26	1.25
55～59	1,388	14.2	1,174	11	1	1	3	1	0	0	0	0	17	1.22
60～64	1,836	13.3	1,577	8	2	0	3	0	2	0	0	0	15	0.82
65～69	1,138	12.0	981	12	2	0	0	4	3	0	0	0	21	1.85
70～74	1,260	14.0	1,078	2	1	2	0	0	1	0	0	0	6	0.48
75～79	380	13.2	322	5	1	1	0	0	1	0	0	0	8	2.11
80歳以上	289	18.0	232	2	0	0	0	1	1	0	1	0	5	1.73
計	31,773	9.9	27,928	331	54	119	129	24	38	0	4	0	699	2.20

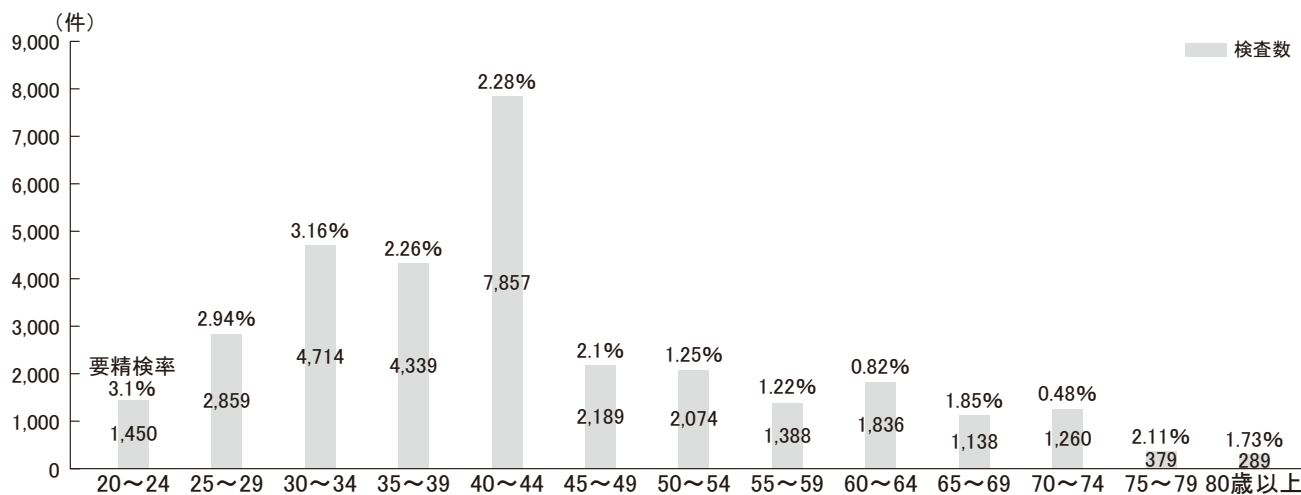


図1 神戸市子宮頸がん検診検査数と要精検率（細胞診成績）

表2 神戸市子宮頸がん検診
細胞診実施状況推移

	検査数	要精検者数	要精検率(%)
平成23年度	32,886	633	1.92
平成24年度	32,936	737	2.24
平成25年度	31,773	699	2.20

ii. 子宮がん細胞診（一般診療）

医療機関において一般診療として実施される子宮がん細胞診を受託し、神戸市子宮頸がん検診システムに準じて運用している。標本作製方法は従来法（直接塗抹法）に加え、平成23年度より要望に応じて液状検体処理法（LBC）を採用している。検体採取部位は、従来法では子宮頸部と体部、LBCでは頸部のみである。

表3に平成25年度の「子宮がん細胞診成績・一般診療」を、表4に「子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療）」を表した。

検査数は、子宮頸部の従来法で40歳代、LBCで30歳代、子宮体部（従来法）は40・50歳代で多くなっている。子宮頸部でみると、要精検率は、従来法で4.02%、LBCで6.16%、不適正検体率は、従来法で15.4%、LBCで0.7%であった。LBCによる検診の有用性を明確に示したと思われる。子宮体部では要精検率に上昇傾向がみられる。

検査数は、子宮頸部の従来法で40歳代、LBCで30歳代、子宮体部（従来法）は40・50歳代で多くなっている。子宮頸部でみると、要精検率は、従来法で4.02%、LBCで6.16%、不適正検体率は、従来法で15.4%、LBCで0.7%であった。LBCによる検診の有用性を明確に示したと思われる。子宮体部では要精検率に上昇傾向がみられる。

表3 子宮がん細胞診成績・一般診療

標本作製法 採取部位	LBC				従来法（直接塗抹法）							
	子宮頸部				子宮頸部				子宮体部			
年齢階級	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)
19歳以下	21	4.8	3	14.29	17	5.9	2	11.76	0	—	0	—
20～24	147	0.7	21	14.29	73	15.1	3	4.11	4	0	0	0
25～29	324	0	21	6.48	136	8.8	6	4.41	8	12.5	1	12.50
30～34	414	0.7	24	5.80	148	17.6	5	3.38	38	5.3	2	5.26
35～39	488	0.4	31	6.35	244	12.7	12	4.92	63	7.9	5	7.94
40～44	330	0.9	17	5.15	249	10.0	12	4.82	132	6.8	9	6.82
45～49	252	0.8	20	7.94	323	10.8	14	4.33	222	4.5	10	4.50
50～54	155	1.9	6	3.87	224	10.7	10	4.46	191	10.5	20	10.47
55～59	124	0	5	4.03	197	12.2	4	2.03	134	6.0	8	5.97
60～64	76	0	3	3.95	135	24.4	2	1.48	59	3.4	2	3.39
65～69	89	1.1	3	3.37	97	39.2	4	4.12	28	7.1	2	7.14
70～74	75	1.3	2	2.67	68	30.9	2	2.94	41	7.3	3	7.32
75～79	43	2.3	0	0	48	20.8	3	6.25	17	0	0	0
80歳以上	25	0	2	8.00	57	33.3	2	3.51	16	0	0	0
計	2,563	0.7	158	6.16	2,016	15.4	81	4.02	953	6.5	62	6.51

表4 子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療）

	標本作製法	採取部位	検査数	要精検率 (%)	採取部位	検査数	要精検率 (%)
平成23年度	直接塗抹法	子宮頸部	3,616	3.04	子宮体部	1,153	2.78
	LBC	子宮頸部	2,166	7.11			
平成24年度	直接塗抹法	子宮頸部	2,641	3.82	子宮体部	966	4.76
	LBC	子宮頸部	2,387	7.04			
平成25年度	直接塗抹法	子宮頸部	2,016	4.02	子宮体部	953	6.51
	LBC	子宮頸部	2,563	6.16			

（２）喀痰細胞診

神戸市肺がん検診 喀痰細胞診

昭和62年、老人保健法に基づく肺がん検診が導入され、神戸市より委託を受けて、「喀痰細胞診」を実施している。

神戸市指定医療機関（約450施設）から提出された受診者の喀痰は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会に搬入される。検査結果は神戸市肺がん検診読影委員会へ報告し、胸部X線検査結果と併せて総合判定される。

平成25年度の検査数および検査状況（表1・図1）を見ると、男女ともに45～59歳の受診者が少なく、60～74歳で多くなっている。また、40～44歳で多く特に女性では際立っているが、これは神戸市が「肺癌集団検診の手

引き」より対象者を40歳以上に拡大し、さらに「40歳総合健診」（無料）を実施しているためである。要精検は男性3例であった。

- 〔補足〕
- ・要精検数＝判定区分D（悪性疑）＋E（悪性）
 - ・要精検率％＝要精検数／検査数－判定区分A（材料不適）
 - ・判定区分B（正常）・C（良性）

年度別の検査状況推移（表2）では、検査数は概ね一定しており、要精検数は少数ながら実績を挙げている。

肺がん検診は、胸部X線検査および高危険群への喀痰細胞診の併用で、死亡数減少効果があるとされている。今後は、検診効率を高めるためにも、喫煙者や高齢者等の高危険群に対する受診勧奨を強化すべきと思われる。

表1 男女別年齢階級別検査状況

年齢階級		検査数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	男	6	0	0
	女	4	0	0
	計	10	0	0
40～44	男	431	0	0
	女	1,241	0	0
	計	1,672	0	0
45～49	男	139	0	0
	女	192	0	0
	計	331	0	0
50～54	男	157	0	0
	女	237	0	0
	計	394	0	0
55～59	男	138	0	0
	女	229	0	0
	計	367	0	0
60～64	男	418	0	0
	女	409	0	0
	計	827	0	0
65～69	男	689	0	0
	女	535	0	0
	計	1,224	0	0
70～74	男	872	3	0.34
	女	679	0	0
	計	1,551	3	0.19
75～79	男	358	0	0
	女	326	0	0
	計	684	0	0
80歳以上	男	259	0	0
	女	206	0	0
	計	465	0	0
合 計	男	3,467	3	0
	女	4,058	0	0
	計	7,525	3	0.04

表2 年度別検査状況推移

	性別	検査数	要精検者数	要精検率 (%)
平成23年度	男	3,430	3	0.11
	女	3,896	1	0.04
	計	7,326	4	0.08
平成24年度	男	3,610	1	0.03
	女	4,053	1	0.04
	計	7,663	2	0.04
平成25年度	男	3,467	3	0.09
	女	4,058	0	0
	計	7,525	3	0.04

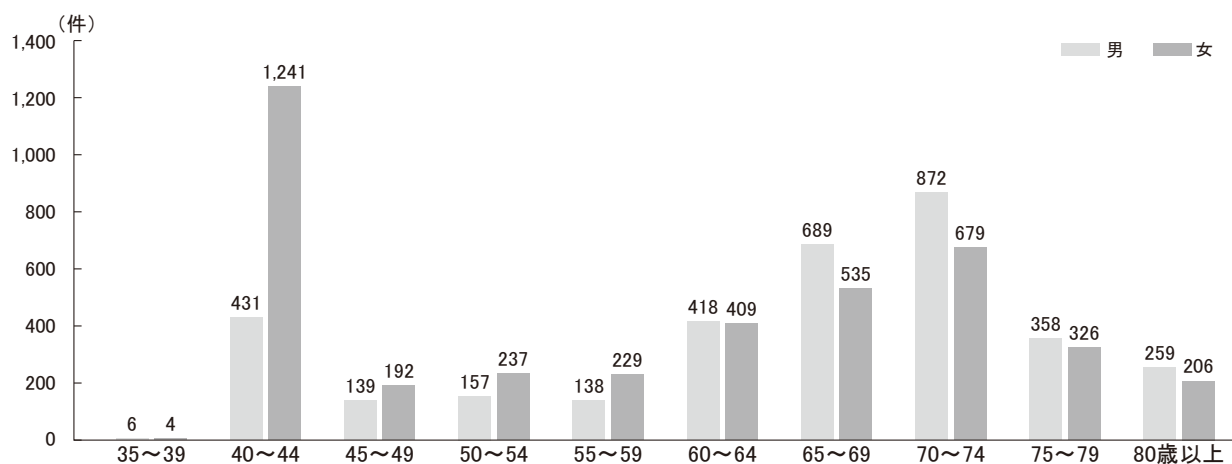


図1 肺がん検診年齢階級別検査数（喀痰細胞診）

8. 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、主として食品取り扱い者（給食従事者を含む）からの依頼に応じて実施している。また、平成15年より神戸市の感染症関連業務の一部の4項目（赤痢菌・腸チフス菌・パラチフス菌・腸管出血性大腸菌O-157）を継続受託している。

平成25年度、当協会で行ったサルモネラ保菌検査は94,124件で、29件の検出があった。一方、腸管出血性大

腸菌保菌検査は98,683件で、14件のみの検出に留まった。また、赤痢保菌検査は94,096件で、検出は一切なかった。

協会では、サルモネラ食中毒防止の疫学的解析の一つとなると考え、保菌者検索で分離した株の血清群を確認している。平成25年度は、O4群51.8%、O8群20.7%、O7群13.8%、O9群10.3%、その他3.4%であった。

表1 腸内細菌年度別検査件数と陽性件数

年 度	検査件数			陽性件数		
	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌
平成23年度	118,108	117,966	117,835	0	29	9
平成24年度	107,342	107,372	112,471	0	61	1
平成25年度	94,096	94,124	98,683	0	29	14

表2 年度別神戸市保健所受託検査件数

平成23年度	赤痢菌	3	陽性者なし
	腸チフス菌	3	陽性者なし
	パラチフス菌	0	陽性者なし
	腸管出血性大腸菌O-157	215	VT I・II（5名） VT IIのみ（4名）
平成24年度	赤痢菌	9	陽性者なし
	腸チフス菌	7	陽性者なし
	パラチフス菌	0	陽性者なし
	腸管出血性大腸菌O-157	57	VT Iのみ（1名）
平成25年度	赤痢菌	8	陽性者なし
	腸チフス菌	0	陽性者なし
	パラチフス菌	6	陽性者なし
	腸管出血性大腸菌O-157	136	VT I・II（13名） VT IIのみ（1名）

9. 環境測定

1. 作業環境測定

労働安全衛生法に基づく作業環境測定を行う機関として、有害物取扱事業所の環境管理の一翼を担い、特殊健康診断と連携して働く人のより快適な職場環境づくりに協力している。

また、測定精度の維持、向上のため、(社)日本作業環境測定協会の「総合精度管理事業」、各種講習会などに継続して参加し、「粉じん計の較正」の実施と併せ、適正な測定業務の遂行に努めている。

平成25年度の測定件数は表1に示すとおり、測定受託事業所数46、年2回の実施を含めた延べ事業場数は95と前年と同程度であった。金属類についてはインジウム分析のみの受託があった。

測定結果の報告に加えて作業環境改善の具体策についても助言を実施した。測定・評価の結果、管理区分が2あるいは3に該当し改善を要すると判断された作業場の

割合は、騒音、特定化学物質順で高く、改善が進んでいない状況が続いており施設設備改善の難しさも一因であると推察される。

2. 事務所衛生基準規則等の空気環境測定

作業環境測定機関の他に、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく空気環境測定業の登録を行い、特定建築物に該当する施設、その他事業所の事務所等における空気環境の測定を行い健康管理の支援を行っている。

表2に今年度の実施数を示す。本年度は、分煙対策の効果判定（浮遊粉じん量、CO₂量、気流測定による）及び熱中症予防関連で食品工場オープン近傍での暑さ指数（WBG：気温、湿度、輻射熱を組み合わせた指数）をそれぞれ1事業場で実施した。

表1 作業環境測定件数（指定作業場）

事業所数（延べ数）		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		43（78）		42（76）		46（95）	
測定項目	測定箇所数	単位作業場	測定点	単位作業場	測定点	単位作業場	測定点
粉 じ ん	重量法	33	33	19	19	23	23
	相対濃度法	33	284	19	200	23	155
	個人暴露	－	－	6	11	3	7
特定化学物質（金属類を除く）		58	441	56	359	78	506
金 属 類		8	79	7	71	4	26
分 析 の み		－	－	5	117	4	78
有 機 溶 剤		59	435	48	349	76	548
騒 音 測 定		25	260	17	178	19	191
局 所 排 気 装 置		12	111	6	96	6	96
計		228	1,643	183	1,400	236	1,630

表2 空気環境測定等件数（測定点数）

測 定 項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事 務 所 衛 生 基 準	924	915	911
喫 煙 対 策	－	4	2
熱 中 症 対 策	0	7	7
計	924	926	920

10. 食品検査

1. はじめに

厚生労働省から食品衛生法の登録を受け、主として地域の食品関連事業者における自主衛生管理をサポートする種々の検査を実施している。

細菌検査を中心とするさまざまな検査・講習を実施しており、食品工場や飲食店の施設設備及び調理器具等の微生物汚染の検査を通して施設衛生状況を調査し、衛生レベルの向上と食中毒事故の防止を目的とした助言や衛生講習会を行っている。行政関連としては、神戸市内の公・私立保育所（園）の給食室を対象とした衛生調査を実施している。食の安全・安心に対する関心が高まっている中、公益性の高い業務の実施に努めている。

2. 業務内容

食品の微生物及び理化学的成分について、次の検査と検査結果に基づく衛生指導助言を行っている。

- （１）食品の品質及び安全性に関する検査
- （２）食品の苦情等に基づく異物の同定検査
- （３）食品の品質保持期限等の設定のための保存検査
- （４）調理器具類、従事者手指等のふき取り検査、検査結果に基づく衛生指導（文書、現場指導）

3. 結果

平成25年度の検査実績は、検体数で5,473件、検査項目数で9,749件であり（表１）、内訳は細菌検査が7,680項目（表２）、理化学検査が2,066項目（表３）であった。

細菌検査では、大腸菌群と一般生菌が全体の半数以上を占めており、衛生指標菌として一般的な衛生管理の検証に幅広く用いられていると推測される。衛生指導は、現場での助言、文書助言、衛生講習会を実施し、改善指導を支援した。

表１ 食品検査検体数および検査項目数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
検 体 数	5,937	6,232	5,473
延べ検査項目数	11,092	11,541	9,749

（検体数、延べ検査項目数には、ふき取り検査件数が含まれる。）

表２ 細菌検査件数

検査項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大 腸 菌 群	2,789	2,430	2,721
一 般 生 菌 数	2,174	3,068	2,026
腸 炎 ビ ブ リ オ	375	225	122
黄 色 ブ ド ウ 球 菌	1,200	1,316	1,542
サ ル モ ネ ラ	569	385	297
腸管出血性大腸菌	727	421	344
大 腸 菌 (<i>E.coli</i>)	164	172	170
カンピロバクター	97	126	48
セ レ ウ ス 菌	32	332	22
真 菌 検 査	429	444	328
そ の 他	73	82	60
計	8,629	9,001	7,680

表3 理化学検査件数

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
栄養成分	水分	270	297	269
	たんぱく質	9	11	19
	脂質	41	18	15
	炭水化物	334	326	306
	エネルギー	7	9	17
	無機質	40	23	31
	ビタミン	24	6	2
乳・乳製品	乳脂肪分	1	1	1
	無脂乳固形	7	7	7
添 加 物		30	26	19
汚染物質	無機化合物	174	185	118
	有機化合物	0	0	1
	残留農薬	75	72	96
	動物用医薬品	0	0	0
保存・変質	水分活性	271	295	260
	pH値	310	318	262
	VBN・アミン類	13	3	24
	油脂酸化	610	641	531
そ の 他	異物	52	92	44
	器具・容器包装	132	158	0
	おもちゃ	0	0	0
	その他	63	52	44
計		2,463	2,540	2,066
検 体 数		551	599	513

11. 水質検査

1. 水道事業体水質検査

厚生労働省の登録を受け兵庫県を業務区域として水道事業体からの水質検査を受託してきた。これは毎年度水事業体が策定する水道水質管理計画に基づき実施され、給水栓における水質基準50項目や3カ月ごと或いは毎月の実施が規定される省略不可項目、湖沼や井戸などの水道原水項目、基準項目以外の目標管理設定項目等である。平成25年度は合計で808件を実施した（表1、表2）。水道水質管理計画は、質の高い、安全な水の安定供給のために水源の監視や浄水処理工程の管理に欠かせず、登録検査機関としても外部及び内部精度管理を実施し、日常検査業務の精度維持・向上に努めてきた。

また、水道事業体対象の水質検査である性質上、事業

体と連携した24時間の緊急検査への対応も図ってきたが、25年度をもって厚生労働省の登録を返上した。

2. 一般水質検査

一般水質検査は、飲用水検査として水質基準に照らされる建築物衛生管理や貯水槽水道、飲用井戸管理の検査のほか、遊泳プール、公衆浴場、空調機冷却水などの衛生管理上の検査や工場排水等の計量証明検査などを含む。平成24年度の実施件数は3,081件であった（表3）。

飲用水検査、プール衛生管理検査において水質基準或いは管理基準を超過する割合（不適率）は毎年ほぼ同程度であるが、僅かながら管理意識向上の傾向が見受けられた。

表1 水質検査実施件数推移（水道事業体等）

給水区分	検査項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
上水道	全項目	36	34	34
	省略不可	24	86	164
	その他	197	173	173
簡易水道	全項目	12	5	0
	省略不可	186	196	159
	その他	8	13	40
専用水道	全項目	27	12	11
	省略不可	61	54	68
	その他	47	43	69
特設水道	全項目	16	14	16
	省略不可	45	41	45
	その他	28	24	29
その他	全項目	0	0	0
	省略不可	5	0	0
	その他	0	0	0
合計	全項目	91	65	61
	省略不可	321	377	436
	その他	280	253	311
総 計		692	695	808

表2 水道事業体等の全項目検査及び省略不可項目並びに水質管理目標設定項目実施件数推移

検 査 項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
原 水 全 項 目	34	25	36
浄 水 全 項 目	57	65	61
省 略 不 可（毎 月）	313	275	384
省略不可（3カ月）*	114	125	178
省略不可（発生月）*	16	5	14
水質管理目標設定項目	141	49	63

※省略不可（毎月）との重複試料を含む。

表3 水質検査実施件数推移（一般）

検 査 項 目	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	件数	不適	(%)	件数	不適	(%)	件数	不適	(%)
井戸水等精密検査	36	7	19.4	34	6	17.6	35	6	17.1
建築物環境衛生関係検査	42	2	4.8	80	0	0	75	0	0
貯水槽水道等定期10項目	405	22	5.4	375	25	6.7	392	4	1.0
プール水（学校・一般）	170	7	4.1	177	7	4.0	128	0	0
レジオネラ検査	750	－	－	804	－	－	773	－	－
排水等計量証明検査	442	－	－	508	－	－	431	－	－
そ の 他	1,334	－	－	1,284	－	－	1,247	－	－
計	3,179	－	－	3,262	－	－	3,081	－	－

12. 水道施設検査

1. 概 要

厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関として受水槽水道施設（簡易専用水道及び小規模受水槽水道）の検査を実施し、安全で衛生的な水の確保に対する貢献を図っている。

簡易専用水道とは、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水を水源とし、給水方式が受水槽方式であり、この受水槽の有効容量が10立方メートルを超えるものをいう。

設置者は供給される水の安全及び衛生を確保するために、厚生労働省令で定める基準に従いその水道を管理し、さらに設置者自らが管理の適否について専門的な知識を有する者の検査を受けることと定められている。

一方、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設においては法規制対象外であったため、管理の不徹底に起因した衛生上の問題が発生する可能性が指摘されてきた。その後、各自自治体では受水槽水道衛生管理指導要綱等を整備し、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設に対しても、簡易専用水道と同等の管理を行うよう規定し、受水槽の有効容量の区別を設けることなく安全で衛生的な飲料水の確保を図っている。

2. 検査内容及び実施結果

検査内容は、大きくは次の3つに分けられる。

○施設の外観検査

○給水栓における水質検査

○書類検査

施設の外観検査を主とするが、検査事項としては最大74あり、それぞれの事項について判定3段階の総合判定を決める。

簡易専用水道は全国的にも高い実施率を維持し平成25年度は、県内の広い範囲で3,748施設の検査を実施した（表1、表2）。全体で「良好」の判定が2,920施設、「やや良（概ね良好）」が824施設、「要改善（速やかに改善を要する）」が、4施設あった。年々向上していた良好施設割合が、ここ数年は横ばいである。

小規模受水槽水道では、法的な検査義務がないこともあり、919施設の検査を実施した（表2、表3）。

検査後、改善が必要な施設については実務担当者等に具体的な改善方法等を例示、提案し、補修及び改善の参考となるよう助言を行っている。また、所轄監督行政機関との連携を深めることにより、受検を促し、衛生的な水の確保への貢献に努めている。

表1 受検施設数の推移（簡易専用水道）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
受 検 施 設 数	4,218	3,945	3,748
良 好 施 設 数	3,275	3,098	2,920
良好施設割合（％）	77.6	78.5	77.9

良好施設割合（％）＝（良好施設数／受検施設数）

表2 地域別受検施設数及び検査結果

検査対象地域			検査施設数	検査結果（総合判定）						小規模施設数
				良 好		やや良(概ね良好)		要改善		
				件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
神戸市	1,602	1,311	81.8	289	18.2	2	0.1	738		
宝塚市	314	239	76.1	75	23.9	0	0	44		
芦屋市	287	228	79.4	59	20.6	0	0	27		
明石市	408	291	71.3	117	28.7	0	0	21		
三田市	178	127	71.3	50	28.7	1	0.6	11		
川西市	176	141	80.1	35	19.9	0	0	12		
川辺郡猪名川町		35	31	88.6	4	11.4	0	0	5	
篠山市	40	29	72.5	11	27.5	0	0	6		
丹波市	46	42	91.3	4	8.7	0	0	3		
洲本市	41	34	82.9	6	17.1	1	2.4	3		
淡路市	56	39	69.6	17	30.4	0	0	1		
南あわじ市		44	31	70.5	13	29.5	0	0	0	
西宮市	408	290	71.1	118	28.9	0	0	26		
伊丹市	23	16	69.6	7	30.4	0	0	4		
尼崎市	39	27	69.2	12	30.8	0	0	11		
姫路市	27	26	96.3	1	3.7	0	0	1		
三木市	6	6	100.0	0	0	0	0	1		
加古川市	10	7	70.0	3	30.0	0	0	3		
加西市	1	1	100.0	0	0	0	0	0		
加古郡播磨町		1	1	100.0	0	0	0	0	0	
高砂市	4	2	50.0	2	50.0	0	0	0		
朝来市	1	1	100.0	0	0	0	0	0		
小野市	0	0	－	0	－	0	－	1		
加東市	1	0	0	1	100.0	0	0	0		
赤穂市	0	0	－	0	－	0	－	1		
計		3,748	2,920	77.9	824	22.0	4	0.1	919	

表3 受検施設数の推移（小規模受水槽水道）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
受検施設数	1,016	991	919

Ⅲ 予防医学に関する 調査研究事業

調査・研究

1. 論文発表（総説論文、原著論文等）

- (1) 伊藤光男：ノンターゲット法によるオフフレーバーの分析. ジャパンフードサイエンス Vol.52-4: 53-61, 2013
- (2) 橋本さおり：Diagnostic Significance of Subclinical Hypothyroidism in Health Check-ups. 総合健診 Vol.40-4: 18-25, 2013
- (3) 山田真由美：採血における看護師腰部負担の実態調査. 予防医学ジャーナル 471: 47-51, 2013
- (4) 亀井真由美：特定保健指導の有用性. 予防医学ジャーナル 471: 99-103, 2013

2. 学会報告等

- (1) 山浦泰子：無症状の大動脈弁逆流とメタボリックシンドローム，第24回日本心エコー図学会学術集会，東京，2013.4.25-27
- (2) 田中一郎：当施設における細胞診精度向上の試み，第54回日本臨床細胞学会総会（春季大会），東京，2013.5.31-6.2
- (3) 田中一郎：当施設における液状細胞診システム細胞診精度向上の試み，兵庫県産科婦人科学会総会，兵庫，2013.6
- (4) 東塚伸一：採血事故処理の事例報告 テーマディスカッション「健診の採血事故対応について」，平成25年度第2回予防医学事業全国運営会議，福井，2013.10.17
- (5) 島屋真希：健診機関における職域大腸がん検診の実態調査－市町村実施のがん検診との比較－，第72回日本公衆衛生学会総会，三重，2013.10.23-25
- (6) 上田いずみ：保健指導業務評価チェックシートの活用による指導技術の向上と特定保健指導，第48回予防医学技術研究会議，愛媛，2014.2.27-28
- (7) 島屋真希：主治医に聞けない話. リレーエッセイ「医療の現場から」，病院73-2: 159, 2014.2.1
- (8) 金本栄美：学校心臓検診における心音図の現状，第48回予防医学技術研究会議，愛媛，2014.2.27-28
- (9) 平田奈穂美：体重変化と検査データ、生活習慣の関連について－脂質変化の検討をとおして－，第48回予防医学技術研究会議，愛媛，2014.2.27-28

IV 健康支援のための健康増進 事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業

健康づくり事業は、自分の生活習慣を振り返る機会を講義や実践などを通して提供している。参加者がこの事業をきっかけに望ましい生活習慣を身につけ、健康増

進・維持を図っていくためにサポートできるよう年齢や性別などを考慮し、ニーズにあわせた様々な企画を行っている。

(1) 健康学習

i. 土曜健康科学セミナー

平成25年度は前期12回（参加者1,178名）、後期12回（1,105名）開催し、健康診断の受診の意義や疾病予防に関する知識や情報について、今年度も各分野でご活躍

中の講師にお話していただいた。

今後も幅広いテーマを取り上げ、内容を深く発展させ市民の健康に寄与していきたい。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
4月13日	ここまで進歩した肺がんの最新治療	先端医療センター病院副院長 神戸市立医療センター中央市民病院 片上 信之 呼吸器内科参事	83
4月27日	iPS細胞を使った網膜再生医療 最近の進歩	先端医療センター病院眼科医長 発生再生科学総合研究センター 平見 恭彦 客員研究員	99
5月11日	肺炎は重い病気です －高齢者の誤嚥性肺炎を中心に－	神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科部長 富岡 洋海	124
5月25日	目の救急 －急性緑内障発作と白内障手術－	西神戸医療センター 眼科部長代行 三河 章子	139
6月8日	健康食品の実力	武庫川女子大学薬学部教授 篠塚 和正	104
6月22日	肺の病気 －COPD（慢性閉塞性肺疾患）を中心に－	神戸大学大学院医学研究科准教授 西村 善博	95
7月13日	感染症の基礎知識と対策のポイント	神戸市保健所医師（感染症担当） 三田 晃史	92
7月27日	認知症予防 －脳と生活習慣との関係について－	国立長寿医療研究センター 物忘れセンター外来部長 櫻井 孝	152
8月3日	PETによる アルツハイマー病の早期診断	先端医療センター病院映像診療科部長 分子イメージング研究グループリーダー 千田 道雄	103
8月24日	成人のうつ病について －その予防と早期診断－	神戸大学大学院医学研究科講師 山本 泰司	88
9月7日	腎臓のはたらきと病気	神戸大学名誉教授 岡田 安弘	99
9月28日	乳がん診察の現状 －早期発見の大切さ－	神戸市立医療センター中央市民病院 乳腺外科部長 加藤 大典	72
10月12日	“メタボ”対策 －心血管病予防を目指して－	先端医療センター病院院長 東京医科歯科大学名誉教授 平田結喜緒	75
10月26日	慢性腎臓病（CKD）の現況と 早期発見・進行予防対策	神戸大学医学部附属病院 腎臓内科・腎血液浄化センター 特定助教・副センター長 伊藤 純	102
11月2日	健診でわかる肝臓病	兵庫医科大学 内科学上部消化管科 助教 豊島 史彦	67

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
11月16日	大腸がんについて	兵庫医科大学 内科学上部消化管科 助教 櫻井 淳	99
12月7日	泌尿器科の病気を からだにやさしく治します	神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科部長 川喜田睦司	103
12月14日	漢方を使用した内科診療	早稲田内科院長 早稲田則雄	84
1月11日	歯の健康を考える －インプラントの有用性－	大阪歯科大学口腔インプラント科専任教授 先端医療センター病院歯科口腔外科客員部長 馬場 俊輔	56
1月25日	大人にも必要な予防接種があります	公益財団法人兵庫県予防医学協会常務理事 先端医療センター病院名誉院長 西尾 利一	71
2月8日	肥満と癌を防ぐ グッド・ダイエット	大阪大学大学院医学系研究科准教授 生体機能補完医学講座 前田 和久	60
2月22日	骨は生きている －今からできる骨粗鬆症対策－	西神戸医療センター 整形外科部長 藤原 正利	125
3月8日	甲状腺の病気 －見つけ方と治療法－	隈病院 内科医長 西原 永潤	104
3月22日	脳神経外科における内視鏡手術	神戸大学大学院医学研究科講師 谷口 理章	87

合計人数 2,283

ii. 健康づくりセミナー

さまざまな視点から健康づくりに役立つ講演会を企画し、今年度は食育にも関連した6教室を開催した。

食育やがん検診啓発に関するテーマを取り上げ、シンポジウム等受講者参加型のセミナーも行った。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
6月1日	食育講演会 まぐろにまつわるエトセトラ	はごろもフーズ株式会社 名倉 洋輔	101
7月20日	シンポジウム 女性のがん検診 ～検査内容と結果の見方～	(公財)兵庫県予防医学協会常務理事 先端医療センター病院名誉院長 西尾 利一 他	49
8月29日	食育講演会 カスピ海ヨーグルト×大豆のちからで美腸習慣	フジッコ株式会社 大橋 聡 村岡 路子	100
9月21日	食育講演会 からだと心においしいコーヒー ～コーヒー器具入門～	株式会社カリタ エキストラ珈琲株式会社 門松 秀和 岡本 直樹 小室こゆみ	50
2月1日	食育講演会 うま味の秘密	味の素株式会社 山田 幹夫	65
2月15日	シンポジウム 健診結果の読み方・生かし方	(公財)兵庫県予防医学協会常務理事 先端医療センター病院名誉院長 西尾 利一 他	85

合計人数 450

(2) 健康づくり教室

健康づくり教室では『トータルコース』、食生活を主とした『ライフキッチンコース』、運動を主とした『エ

クササイズコース』を開催している。

i. トータルコース

トータルコースの目的は、自分の生活を振り返り、望ましい生活習慣を身につけ、健康増進・維持を図っていただけるようにすることである。

身体と心の両面から働きかけ、初心者から始めていけるように様々なコースを設定して、実践の場を設けることにより、家庭でも実行していけるようにしている。

教 室 名			実施回数	参加人数(延べ)
予防医学コース	検査で自分の状態を知り、運動や実習を通して疾病の予防や改善に取り組んでいく	50歳からの「脳力アップ」セミナー（全4回）	2	29
		膝痛なくなれ！運動教室（全6回）	2	12
		骨量測定付き骨粗しょう症予防運動教室（全4回）	3	13
		尿もれを体操で予防！！（全2回）	3	28
癒し・創作コース	ストレスに対処する方法を講話や実習を通して体験したり、創作によって五感や感覚刺激し、自らの心の健康の必要性を考え実践していく	自律訓練法	2	32
		腹式呼吸法	2	45
		認知行動療法	2	41
		瞑想法入門	2	45
		リンパマッサージ	2	49
		快眠法	2	36
		コミュニケーション講座〈コーチング〉（全3回）	2	16
		自己コントロール力を身につける（全2回）	1	17
		自律訓練法 心と体の緊張を緩和するリラクゼーション法（全4回）	1	16
		プリザーブドフラワー	4	48
		クリスマスリースづくり	1	5
		陶芸体験教室	1	10
	ストレスに対処する方法を講話や実習を通して体験したり、創作によって五感や感覚刺激し、自らの心の健康の必要性を考え実践していく	パーソナルカラー	2	26
		セルフリンパマッサージ	4	83
		フェイスマッサージ&メイク	4	54
		積極的な傾聴（全2回）	1	11
		音楽療法	12	161
		サウンド・リラクゼーション・ストレッチ	1	14
		和太鼓のひびき 鑑賞&演奏体験	1	33
運動コース	身体を動かすことで得られるリフレッシュ感や自分の体力の衰えを実感することで、日常生活での運動の必要性を理解し実践していく	歌って笑って♪健康体操	34	330
		健康表現体操 指導員による指導員のためのリレー講座	2	17
		健康表現体操 指導員向上研修	4	49
		骨粗しょう症予防のための太極拳教室	2	7
		初心者のための太極拳体験（全4回）	1	7
		バランスボール&ストレッチボール	10	56
		和みのヨガ	41	504
		女性のためのフェロモンストレッチ、メリハリ☆ボディ	11	127
		自力整体	6	81
		自分でカンタンゆがみりセット～10才若く見える秘訣！基礎編	1	26
		春を探しにウォーキング	1	9

ii. ライフキッチンコース

ライフキッチンコースでは、初めて包丁を持つという料理初心者から、栄養バランスを考えた献立づくりを学びたい料理経験者まで、それぞれのレベルやニーズにあわせた講座を幅広く開催し、健康づくりのための食生活

改善に楽しく取り組める機会を提供している。

「美味しく、安全に」を原則に、衛生管理の知識の啓蒙にも力を入れている。今後も調理技術の習得とともに参加者のニーズにあわせた具体的で実践的なプログラムを提供していきたい。

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
4月11日～6月13日	夜間	料理の基礎コース	料理の基本技術をマスターし、料理がしてみたい入門編	11
7月11日～9月5日				7
10月3日～11月28日				6
1月23日～3月13日				15
4月23日～5月28日	夜間	はじめてクッキング	料理初級者を対象に、作ることと食べることの楽しさを覚え、食材に関する知識や栄養バランスを考えた食事づくりが学べるコース	15
7月9日～9月10日				12
11月12日～12月10日				19
1月21日～3月11日				15
4月26日	夜間	味わいごはん	『おいしい』はもちろん、からだにうれしい健康的な家庭料理を学べるコース	7
5月10日				9
5月24日				9
6月7日				12
7月26日				7
8月9日				9
8月23日				10
9月6日				10
10月18日				13
11月8日				15
11月22日				17
12月6日				10
1月31日				13
2月14日				11
2月28日				13
3月14日				13
4月3日	夜間	まんぞくクッキング 作って満足！ 楽しくて満足！ おいしくて満足！ 少しの手間で内容充実の献立づくりのコツを学びます	コシが決め手の手打ちうどん！	13
6月5日			季節の変化を和食で味わう♪ 初夏のごちそう	14
8月6日			夏はやっぱり♪スパイシー アジアの食堂から	11
10月2日			おうちで焼き豚	18
12月4日			ロシア料理でクリスマス	28
2月5日			冬のあったか料理	13

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
5月8日	午前	まんぞくクッキング アンコール まんぞくクッキングで人気のあったメニューを再びおさらいするコース	おもてなしに♪ お魚づくし	14
7月10日			野菜たっぷり夏カレー！	10
9月11日			きのこでヘルシーイタリアン	7
11月5日			今年は飲茶で中華おせち	17
3月12日			おうちで簡単！ 手打ちうどん	10
4月17日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理食事会 健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！ 必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と試食で学ぶコース	さびない体を作ろう	12
5月15日			中性脂肪と脂肪肝	11
6月19日			おとなの女性のための食育	11
7月17日			熱中症に気をつけよう	12
8月21日			「運動」足りてますか？	10
9月18日			内臓脂肪が嫌われるワケ	11
10月16日			豊かな表情は健康のもと！	12
11月20日			知っていますか慢性腎臓病（CKD）	12
12月18日			肩がこらない生活を！	12
1月15日			冬太り対策法！	12
2月19日			お口の健康を保つ	11
3月19日			よく歩きよく食べよう	11
4月18日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理を作る会 健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！ 必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と調理実習で学ぶコース	さびない体を作ろう	10
5月16日			中性脂肪と脂肪肝	9
6月20日			おとなの女性のための食育	8
7月18日			熱中症に気をつけよう	10
8月22日			「運動」足りてますか？	6
9月19日			内臓脂肪が嫌われるワケ	8
10月17日			豊かな表情は健康のもと！	7
11月21日			知っていますか慢性腎臓病（CKD）	8
12月19日			肩がこらない生活を！	11
1月16日			冬太り対策法！	7
2月20日			お口の健康を保つ	10
3月20日			よく歩きよく食べよう	9
3月27日	午後	いきいき食生活 番外編	慢性腎臓病（CKD）を予防しよう	12
4月27日	午前	ヘルシークッキング 今話題の食品や昔ながらの行事食をとおして、旬の素材や四季の変化を感じる食生活を学ぶコース	ぷるっと☆つやっと寒天クッキング	23
6月15日			野菜をおいしくシーチキン	15
9月14日			からだにやさしいベジ（野菜）スイーツ	7
9月26日			豆とヨーグルトの力で美腸習慣クッキング	17
11月30日			基本のおせち料理	17
12月7日			新感覚のおせち畑	24
1月25日			金芽米を味わおう	18

開催日	時間帯	教室名	内 容		参加人数
5月22日	午後	ヘルシークッキング 番外編 紅茶やコーヒーの歴史や入れ方などを学び、食に対する興味を高めるコース	英国式紅茶を楽しむ会	英国式紅茶の基本 世界の紅茶の飲みくらべ	14
9月25日				フレーバードティー	7
11月27日				ミルク&スパイスで作る チャイ	7
1月22日				冬にあたたまるロシアン ティー	8
3月26日				カジュアルにハイティー を楽しもう	9
4月23日	午後		本格珈琲の会	産地別コーヒー&ブレンド コーヒー味わい比べ	20
8月7日				真夏のアイスコーヒー	11
11月13日				コーヒーの味わい	5
4月12日	午前	美味しいコツのわかる お菓子教室	イチゴのパリプレスト&プロフィットロール		8
7月5日			さっぱりレモンムース&イングリッシュレーズン スコーン		15
10月23日			抹茶・小豆ロールケーキ&クランブル・オ・ボンム		10
1月30日			ガトウ・ショコラ・クラシック&パヴェショコラ		11
5月17日	夜間	おもてなしにぴったり 簡単！お役立ちメニュー	おうちでも簡単にできる米粉のピザ		14
7月12日			夏野菜グラタン&ジンジャーケーキ		13
9月13日			秋を味わう和ごはん		9
11月17日	午前		ゆずスイーツ		20
11月29日	夜間		クリスマスのおもてなし		14
1月17日			寒い季節のほっこり和御膳		17
3月7日			春のおばんざい		23
4月24日	午前	季節のごちそう	食べて効く 家庭で薬膳		10
6月27日			ローストポーク&アサリとトマトのフェデリーニ		10
8月2日			暑さを吹き飛ばす 真夏の中華		16
10月30日			秋の和御膳		15
2月21日			お祝い おもてなしメニュー		10
5月25日	午前	今さら聞けない？！ 料理の基本の“き”	皮から作る水餃子		12
7月27日			週末イタリアン～大皿に盛ればパーティーに～		14
9月28日			定番料理をマスターしましょう		9
11月9日			クリスマスパーティーメニュー		14
2月8日			カフェランチ風メニュー		11
3月8日			まるごと 春キャベツレシピ		13
6月22日	午前	お魚クッキング	潮香る～海の恵みを食卓に 初夏のおうちミニ懐石		19
8月24日			お月見膳 おしゃれミニ懐石風に		15
3月1日			お魚料理で春色ごはん		11

iii. エクササイズコース

エクササイズコースの利用状況は、前年比116%と大きく利用者を増やすことができた。

今年度は気功教室をヨーガに変更したが、開催回数の

少ない月を除いて、安定した集客を確保することができた。

今後とも現状に満足することなく、新たな発想を取り入れたコース作りを行っていきたい。

	教 室 名										合 計	
	健康シルバー 体操教室		ヨーガ		やさしい太極拳		フィット フラダンス		やさしい 社交ダンス			
	懐かしい音楽に 合わせての運動 や、椅子に座っ たまままででき る「チェアーエク ササイズ」など のやさしい体操 のクラス		ヨーガは、スト レスや疲労を取 り除くことがで きるココロとカ ラダの健康法。 呼吸法や瞑想法、 様々なポーズに より心身のバラ ンスを整えるク ラス		腰を沈めてバラ ンスを取りな がらおこなう、 ゆっくりとした 動きが特徴の太 極拳。新陳代謝 を高め骨密度を アップさせる効 果が期待される 運動のクラス		楽しく踊りなが ら骨盤を動かす ことで、ウエス トのシェイプ アップにつなが ります。年齢を 問わず楽しめる クラス		タンゴやルンバ、 チャチャチャ、 ワルツなど、月 替わりで基本の ステップから練 習する初心者で も挑戦できるク ラス			
	実施 回数	参加 人数	実施 回数	参加 人数	実施 回数	参加 人数	実施 回数	参加 人数	実施 回数	参加 人数	実施 回数	参加 人数
4月	4	107	4	114	4	65	3	35	4	45	19	366
5月	4	107	4	110	4	70	4	49	4	28	20	364
6月	4	92	4	106	4	46	4	44	4	36	20	324
7月	5	124	5	126	3	49	4	48	4	32	21	379
8月	3	77	3	67	4	54	4	48	4	24	18	270
9月	4	104	4	94	4	47	4	54	4	26	20	325
10月	4	112	4	95	5	60	4	54	4	30	21	351
11月	4	105	4	95	4	55	4	52	4	36	20	343
12月	4	116	4	108	4	47	4	53	4	32	20	356
1月	4	114	4	119	4	44	4	57	3	27	19	361
2月	3	86	3	87	4	52	4	54	4	35	18	314
3月	4	103	4	120	4	51	3	46	4	36	19	356
合計	47	1,247	47	1,241	48	640	46	594	47	387	235	4,109

(3) 運動施設の個人利用

25年度のトレーニングジム利用状況は、前年比103%と前年比を超えることができた。

その中でも、減免利用者（高齢者・障害者）の利用が増加している（前年比117.1%）。今後とも、高齢者の利用が増加すると考えられる。

また、更なる施設利用者数を増加させるには、一般利用者を増加させることが不可欠である。トレーニングジム、スタジオプログラム、ランニングトラックを更にPRし利用増加をはかっていく。

卓球コーナー利用状況は、前年比101.6%と利用台数を増やすことができた。

その要因として、減免利用者（高齢者・障害者）の利用増加が大きい（前年比111.7%）。

卓球コーナーは知名度があがっており、今後とも利用増加が見込まれる。

トレーニングジム利用状況（利用者数）

月	種別	一般利用人数	減額利用人数 (高齢者・障害者)	団体回数券利用人数	合計人数
4月		3,902	3,665	538	8,105
5月		4,147	4,010	600	8,757
6月		4,057	3,848	629	8,534
7月		4,309	4,368	667	9,344
8月		4,219	4,164	609	8,992
9月		4,202	4,064	564	8,830
10月		4,448	4,595	655	9,698
11月		3,943	4,246	490	8,679
12月		3,449	3,708	442	7,599
1月		3,418	3,707	473	7,598
2月		3,564	3,792	515	7,871
3月		3,855	4,170	441	8,466
合 計		47,513	48,337	6,623	102,473

卓球コーナー利用状況（利用台数）

月	種別	一般利用台数	減額利用台数 (高齢者・障害者)	合計台数
4月		114	367	481
5月		127	379	506
6月		131	392	523
7月		149	400	549
8月		139	430	569
9月		99	386	485
10月		96	432	528
11月		109	428	537
12月		119	375	494
1月		77	398	475
2月		179	420	599
3月		128	437	565
合 計		1,467	4,844	6,311

2. 健康づくり支援事業

(1) 講師派遣等

健康づくり支援事業では、事業所・団体向けに健康教育のための教室の開催、講師派遣を行っている。

平成25年度も、講話や検査、運動実践や調理実習などを組み合わせた教室の開催やポピュレーションアプローチを目的とした講習会に医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、トレーナー等の講師派遣を行った。

また、機関紙などの依頼に、健康や栄養などをテーマ

に原稿を提供した。

これらの機会を通して、健康づくりへの知識の普及や取り組みへの動機付けを行うとともに、当協会が実施する各種健康診断や健康づくり教室を案内し、栄養・運動・休養をトータル的に実践できる施設として健康ライフプラザのPRを行った。

実施月	依頼先	内容	回数	出務職種
4月	日本山村硝子株式会社	メンタルヘルスセミナー ポジティブメンタルヘルスと働きやすい職場環境をめざして ～快適職場調査の評価と活用～	1	保健師
5月	川崎重工業健康保険組合	兵庫工場 36歳健康セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	1	管理栄養士
6月	神戸労働者福祉協議会	メンタルヘルス研修会 セルフケアについて	1	保健師
	兵庫自動車販売店健康保険組合	健康管理推進委員会 健診結果の見方・生かし方	1	管理栄養士
7月	川崎重工業健康保険組合	神戸工場 28歳健康セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	2	管理栄養士
	川崎重工業健康保険組合	神戸本社 食生活改善セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	1	管理栄養士
	山手婦人会	骨粗鬆症検査（US法）と骨粗鬆症とその予防について	1	保健師
	生活協同組合コープこうべ	健康教室 上手に食べて健康力アップ 楽しく身体を動かそう	3	管理栄養士 健康運動指導士
	川崎重工業健康保険組合	株式会社KCM 食生活改善セミナー 基本のメタボ対策	1	管理栄養士
8月	川崎重工業健康保険組合	健康アップセミナー 女性のライフスタイルと食生活 ～きれいに年をとるために知っておきたいこと	4	管理栄養士
	生活協同組合コープこうべ	健康教室 上手に食べて健康力アップ 楽しく身体を動かそう	1	管理栄養士 健康運動指導士
	芦屋市役所	食事と運動を見直して減量にチャレンジ	1	保健師 管理栄養士
9月	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠ストレッチ	3	保健師
	日本山村硝子株式会社	健康保険組合の「データヘルス計画」 ～「健康経営」との協働をめざして～	1	保健師
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	2	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	3	管理栄養士
	川崎重工業健康保険組合	明石工場 25. 30歳従業員対象健康教室 メタボにならないために大切なこと	2	管理栄養士
	生活協同組合コープこうべ	ファミリー倶楽部「D会員の集い」研修会 今日から始める健康づくり ～いつまでもいきいき過ごすために～	1	管理栄養士

実施月	依 頼 先	内 容	回数	出務職種
9 月	神戸市建設局西部建設事務所	安全衛生委員会 肩こり・腰痛リフレッシュ体操	1	健康運動指導士
	明石市職員厚生課	ヘルシー料理講座 疲労回復ヘルシーメニュー	1	管理栄養士
	兵庫自動車販売点健康保険組合	健康管理推進委員会 始まる！ 健康経営～国のデータヘルス計画と事業 所健康管理の連携をめざして～	1	保健師
	月島食品工業株式会社	脂質異常症	1	保健師
10 月	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	5	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	正しい知識で疲労撃退！リラックス体操	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	1	健康運動指導士
	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	看護職員リフレッシュ研修 ブリザーブドフラワー、運動実技	4	専門講師 トレーナー
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠ストレッチ	2	保健師
	尼崎市総務局人事管理部	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	5	健康運動指導士 保健師
	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定セミナー 退職後の健康づくりについて	4	管理栄養士
	神戸市兵庫区スポーツまつり	区民運動会骨密度（US）血圧測定 骨折リスク計算	1	保健師 臨床検査技師
	神戸市建設局西建設事務所	安全衛生委員会 肩こり・腰痛リフレッシュ体操	1	健康運動指導士
	明石市職員厚生課	育つ！ もてる！ デキル！がかなう上質な睡眠	1	保健師
	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 血管を若々しく保って健康寿命を延ばそう 講話 慢性腎臓病（CKD）予防の生活習慣・食習慣 ヘルシー料理試食、健康度測定	1	医師 管理栄養士 看護師 診療放射線技師 臨床検査技師
11 月	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠ストレッチ	2	保健師
	尼崎市総務局人事管理部	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	13	保健師
	神戸市職員共済組合	正しい知識で疲労撃退！リラックス体操	1	管理栄養士
	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定セミナー 退職後の健康づくりについて	4	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	2	管理栄養士
	神戸税関	今日から始める、自分で出来るVDT対策!!	1	保健師
	兵庫県市町村職員共済組合	アサーションでコミュニケーションが変わる！	1	保健師
	日本山村硝子株式会社	中食を上手に利用しよう！	1	保健師 管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	4	健康運動指導士
	川崎重工業健康保険組合	カラダすっきりセミナー 楽しく食生活を見直そう ～かしこく食べてカラダすっきり	1	管理栄養士
12 月	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	4	管理栄養士

実施月	依 頼 先	内 容	回数	出務職種
12月	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、運動実技	2	専門講師 トレーナー
	尼崎市総務局人事管理部	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	6	保健師
	神戸市職員共済組合	正しい知識でメタボ撃退！リラックス体操	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	2	健康運動指導士
	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 心血管病予防のために－メタボ対策の重要性－ 講話 食事の工夫で脱メタボ ヘルシー料理試食、健康度測定	1	医師 管理栄養士 看護師 診療放射線技師 臨床検査技師
1月	尼崎市総務局人事管理部	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	4	保健師
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠ストレッチ	2	保健師
	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	2	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	2	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	正しい知識で疲労撃退！ リラックス体操	1	管理栄養士
	(一財)神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター	仲間とのリフレッシュ交流会 リンパマッサージ、お菓子作り	2	管理栄養士 専門講師
	神戸市環境局	腰痛防止講習会	2	健康運動指導士
2月	川崎重工業健康保険組合	株式会社KCM ダイエットセミナー あなたにあったダイエット法は	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	1	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	食生活から若返り！ ～身体にも脳にもいい食べ方とは？ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	1	管理栄養士
	甲南土木建築労働組合	メンタルヘルス（セルフケア） 病気になるストレスって？ ～心の風邪をひかないために～	1	保健師
	神戸市環境局	腰痛防止講習会	4	健康運動指導士
	公益財団法人 神戸市公園緑化協会	神戸市森林植物園 腰痛、肩こり体操	1	健康運動指導士
	エスフーズ株式会社	腰痛教育	1	保健師
	川崎重工業健康保険組合	兵庫工場 女性のための健康セミナー 女性のための健康講座 ～すぐにためたくなるあれこれ	1	管理栄養士
	川崎重工業健康保険組合	西神戸工場 25歳従業員研修会 25歳の今、気をつけたいこと	1	管理栄養士
3月	日本山村硝子株式会社	働く人のアンチエイジング	1	保健師
	甲南土木建築労働組合	意外とヘルシー！？ コンビニ食の上手な活用術	1	保健師

神戸市消防局 機関紙「雪」	第84回	がん検診	4月号
	第85回	口の周りの表情筋	5月号
	第86回	おとなのためのやさしい栄養学 心臓（虚血性心疾患）	6月号
	第87回	湿疹・かぶれ	7月号
	第88回	足のアーチを維持する筋肉	8月号
	第89回	いま注目の栄養素 葉酸	9月号
	第90回	乳がん検診～大切な人を守るために	10月号
	第91回	顔の筋トレで消化を助ける	11月号
	第92回	いま注目の栄養素 セサミン	12月号
	第93回	冷え性	1月号
	第94回	首・肩をほぐして肩こり解消	2月号
	第95回	いま注目の栄養素 EPA	3月号
サンケイリビング 神戸東版	年に1度の健康チェックで早期発見・早期治療を		6月22日号
CO-OPステーション	40歳からの、健康学 第37回食生活の見直し 減塩②		4月号
	40歳からの、健康学 第38回食生活の見直し 肥満予防③		5月号
	40歳からの、健康学 第39回食生活の見直し 肥満予防④		6月号
	40歳からの、健康学 特別編		3月号

（２）健康づくりの場の提供（貸室等）

平成23年10月から貸室供用が再開された研修室・会議室の2室も利用者への広報が定着し、安定的に件数が増加した。

併せて多目的室・ライフキッチンの2室も増加し、合計件数としては対前年比136.7%を示した。

貸室利用実績

	多目的室	ライフキッチン	研修室	会議室	合計件数
4月	4	2	2	6	14
5月	3	0	4	4	11
6月	7	0	4	9	20
7月	10	2	15	8	35
8月	5	0	1	4	10
9月	4	0	5	8	17
10月	6	1	5	11	23
11月	6	0	4	25	35
12月	6	0	3	12	21
1月	5	0	1	21	27
2月	3	0	11	19	33
3月	9	0	1	16	26
合 計	68	5	56	143	272

件数：半日を1件（単位）として計上

V 沿革・概要

1. 沿革

昭和46年 4月	予防医学事業推進のため神戸市医師会と神戸市衛生局が協議、渡邊一九 志賀一清 青井立夫 石垣四郎 鹿野昭二 前島健治らが発起人となり「兵庫予防医学協会」を設立 事務所を神戸市生田区加納町1丁目5神戸市衛生研究所内に置く 会長 渡邊一九就任
6月	児童・生徒の寄生虫卵検査開始
9月	「兵庫県予防医学協会」と変更 財団法人予防医学事業中央会及び財団法人日本寄生虫予防会の兵庫県支部となる。 灘神戸生活協同組合 組合員健診開始 児童・生徒の尿検査開始
11月	予防医学講演会開催
昭和47年 4月	事務所を神戸市東灘区御影本町6丁目5-2に移転
5月	診療所開設、健診・検査開始
7月	事業所の定期健診、特殊健診開始
11月	神戸市胃部X線車による、胃がん検診開始
12月	「神戸市子宮がん細胞診センター」業務開始
昭和48年 6月	「財団法人兵庫県予防医学協会」設立 基本財産 1,200万円 出捐は 兵 庫 県 300万円 神 戸 市 500万円 灘神戸生活協同組合 100万円 渡邊元会長 100万円 兵庫県予防医学協会 200万円
7月	機関誌「あすの健康」第1号発行 法人設立記念講演会として「健康を守る婦人大会」を開催
9月	登録衛生検査所となる
10月	灘神戸生活協同組合より健診車・X線車生協すこやか号の寄贈を受ける
11月	社団法人全国労働衛生団体連合会加入
昭和49年 4月	循環器検診、住民健診、予防接種開始
8月	灘神戸生活協同組合 各店舗事務所基準環境測定開始 灘神戸生活協同組合従業員健診開始

昭和50年10月	健康保険法 保険医療機関となる
昭和51年 5月	創立5周年記念「健康をめざす婦人大会」開催 基本財産を増額し、1,500万円となる 第1回予防医学講座開催
9月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか3号の寄贈を受ける
11月	第2回予防医学講座開催
12月	国民健康保険被保険者対象 胃検診開始
昭和52年 6月	第3回予防医学講座開催
7月	細菌検査部門開設
10月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者特殊健康診断機関となる
12月	兵庫労働基準局作業環境（測定粉じん）測定登録機関となる
昭和53年 4月	葺合区仮施設へ移転
8月	新館建設 資金 日本船舶振興会 7,020万円 兵庫県 1,500万円 神戸市 2,000万円 借入金 22,000万円 自己資金 3,380万円 計35,900万円 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 654㎡ (神戸市より借地) 建築面積 443.82㎡ 建築床面積 2,117.5㎡
昭和54年 1月	厚生大臣指定 簡易専用水道検査機関となる
3月	厚生大臣指定 空気環境測定・飲料水の水質検査機関となる
4月	新館竣工
5月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度 「じん肺・石綿・クロム・鉛」に係る健康診断機関となる
7月	婦人科検診開始 喀痰細胞診開始

	胃部精密検査開始	9月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか12号完成
10月	成人病総合健診『人間ドック』開始	10月	VDT検診開始
11月	間接断層X線撮影装置による肺がん検診開始		
	肺がんをなくす会発足		
昭和55年2月	予防医学事業中央会近畿・北陸・東海ブロック検査室会議開催	昭和62年4月	ビル管法適用施設について簡易専用水道検査開始
4月	脊柱検診開始		レジオネラ属菌検査開始
	消化器内視鏡検査開始	9月	保健環境検査センター東灘区田中町へ移転登録衛生検査所再登録
	公益法人会計基準による会計に移行	11月	予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
5月	渡邊会長、吉田哲夫医師叙勲受章		
6月	作業環境測定に「有機溶剤・金属・特定化学物質」を追加	昭和63年2月	予防医学事業中央会全国業務研修会開催
8月	脊柱検診専門委員会発足	4月	ホロンピア'88「新しい健康福祉づくり展」参加
	予防医学事業中央会全国大会において、渡邊会長が感謝状を受ける	5月	神戸新聞奨励賞受賞
		7月	政府管掌健康保険成人病予防健診機関となる
昭和58年1月	学校腎臓専門委員会設置		
4月	健康指導室新設	平成元年3月	基本財産を増額し1億円となる
8月	神戸市長より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける		出捐は
			兵庫県 300万円
昭和59年1月	日本船舶振興会補助事業 胃部X線検診車すこやか22号完成		神戸市 3,400万円
3月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか7号の寄贈を受ける		灘神戸生活協同組合 670万円
5月	厚生大臣指定 食品検査機関となる		渡邊元会長 100万円
	保健環境検査センターを開設し環境化学分析、細胞診等の検体検査部門を統合		兵庫県予防医学協会 5,530万円
7月	全国飲用牛乳取引協議会指定検査機関となる	9月	フェスピック神戸大会組織委より大会への貢献に対し、感謝状を受ける
		10月	労働安全衛生法改正により特殊健診に尿代謝物・血中鉛等の生体試料検査追加、定期健診に心電図・聴力検査・血液検査追加
昭和60年3月	骨粗鬆症検診MD法により、全国に先駆け、検診を開始		
4月	学校心臓検診「心音心電図検査」開始	平成2年4月	健康ライフプラザ準備室開設
8月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか9号の寄贈を受ける	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか19号完成
9月	神戸市長よりユニバーシアード神戸大会への貢献に対し、感謝状を受ける	12月	予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
10月	予防医学事業推進全国大会開催		
昭和61年5月	中央労働災害防止協会 中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る作業環境測定機関となる	平成3年5月	会長 青井立夫 名誉会長 渡邊一九 就任
6月	全国労働衛生団体連合会 鉛検査機関となる	6月	創立20周年感謝の集い開催
		7月	生活協同組合コープこうべよりDXA車すこやか20号の寄贈を受ける
		9月	DXA車による骨量測定開始
		10月	THP推進委員会設置
		平成4年1月	予防医学事業中央会 全国生理機能検査研

	修会開催	5月	厚生大臣指定食品検査機関となる
10月	予防医学事業中央会全国大会において、青井会長が感謝状を受ける	12月	日本自転車振興会補助事業 自動血球計数装置設置
11月	日本自転車振興会補助事業 肺がん検診車すこやか10号完成		予防医学事業中央会近畿・東海・北陸ブロック会議開催
	神戸市大腸がん検診開始		
12月	天長島村酒造株式会社と事務所棟建設のため1,490.08㎡の借地契約締結	平成9年4月	一泊二日ドック開始
		8月	日本自転車振興会補助事業 胸部検診車2号完成
平成5年6月	中央労働災害防止協会 労働者健康保持増進サービス機関となる	平成10年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ開業に伴う受託事業開始
9月	事務所棟竣工	3月	磁気共鳴診断装置（MRI）設置
	建築面積 477.15㎡	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザの業務全面開始
	建築床面積 1,249.15㎡		産業保健専門委員会設置
12月	厚生大臣指定水質検査指定機関となる	5月	計量証明事業（濃度）開始
		7月	全衛連近畿地方協議会第1回開催
平成6年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞	9月	日本総合健診医学会 優良総合健診施設に認定される
	「1次検診におけるランニング運動付加心電図検査」		
2月	高速らせん型CT装置設置	平成11年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞
7月	神戸市より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける		「水におけるクリプトスポリジウム検出法の検討」
	兵庫県指定水質検査機関となる	2月	全衛連近畿地方協議会第2回開催
8月	公益事業「元気な骨をつくるキャンペーン」を実施	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ1泊2日ドック開始
10月	日中医療技術協力に参加	7月	全衛連近畿地方協議会第3回開催
平成7年1月	阪神・淡路大震災発生	9月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関に認定される
	保健環境検査センター全壊	11月	社団法人日本作業環境測定協会より作業環境管理への尽力に対し、感謝状を受ける
	第29回予防医学事業技術研究集会中止		労働衛生評価機構より評価基準達成の認定
	出張健診再開		
2月	外来健診再開	平成12年2月	全国労働衛生団体連合会近畿地方協議会第4回開催
	総合健診再開保健環境検査センター代替施設建設決定	7月	健診センター、労働者災害補償保険法の規定による療養の給付を行う診療所（労働者災害補償保険指定医療機関）に指定
4月	中央労働災害防止協会 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度による健康診断及び作業環境測定機関となる		神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー100回を迎える
11月	保健環境検査センター竣工	9月	生化学自動分析装置（日立7600-110）導入
	建築面積 300.76㎡		自動血球分析装置（SysmexSE9000）導入
	建築床面積 837.72㎡	11月	得意先向健診データ管理支援システム
12月	社会保険庁より政府管掌健康保険及び厚生年金事業発展への功績に対し、青井会長が表彰状を受ける		
平成8年2月	保健環境検査センターの業務全面開始 登録衛生検査所再登録		

	「Life-Net」完成 健康ライフプラザ 日本総合健診医学会優良総合健診施設に認定される		導入
		7月	生化学自動分析装置（日立7700）導入
		11月	自動免疫測定装置（ABBOTT ARCHITECT i2000SR）導入
平成13年1月	予防医学事業中央会技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞 「超音波による骨量測定の基準値について」	平成16年1月	胸部X線車すこやか3号、胃部X線車すこやか27号完成
4月	頸動脈超音波装置（GE横河メディカル社VIVID 3）導入	3月	細隙灯顕微鏡導入
5月	当協会創立30周年記念講演会を神戸新聞松方ホールにて開催 同時に記念出版として健康ライフプラザ土曜健康科学セミナーの100回分をまとめた『21世紀の「生命」を考える－これからの健康科学～岡田安弘編著・金芳堂』を発行	4月	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査開始
6月	労働者災害補償保険（労災保険）二次健診等給付指定医療機関となる	5月	兵庫県予防医学協会 灘分室開設
		11月	第49回平成16年度予防医学事業推進全国大会を神戸で開催
平成14年1月	第36回予防医学事業中央会技術研究集会「神戸からの発信－予知の医学をめざして－」を兵庫・神戸で開催	平成17年3月	胸部X線車すこやか14号完成 X線骨密度測定装置（DXA：米国HOLOGIC社）導入
2月	中央労働災害防止協会機器整備補助事業X線装置（DHF-153HⅡ）を導入	4月	緑内障スクリーニング検診開始
3月	神経芽細胞腫検査専用機（東ソ-LC-726VMAⅢ）導入	6月	NPO法人 J-POSH寄贈 乳がん検診車すこやか55号完成
4月	財団法人先端医療振興財団 先端医療センターと提携し、人間ドックのオプションとしてPET検診開始	平成18年1月	（財）予防医学事業中央会 近畿・東海・北陸ブロック会議開催
7月	日本財団補助事業 胸部X線車すこやか12号完成	3月	保健環境センター ISO9001（JISQ9001：2000）認証取得
8月	胸部X線車すこやか13号完成	9月	日本自転車振興会 補助事業 胃部X線検診車すこやか21号車完成
9月	全自動糖分析装置（シノテストGlucoroder MAX）導入	10月	便中ヘリコバクターピロリ菌抗原検査開始
11月	財団法人日本公衆衛生協会 第6回地域保健全国大会（富山県）において、平成14年度公衆衛生事業功労者表彰団体表彰を受ける	平成19年2月	プライバシーマーク認証取得
12月	高速自動遠心分離機（ABBOTT）導入	3月	KEMSこうべ環境マネジメントシステム（ステップ1）認証取得
平成15年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザレディースドック開始 HbA1c分析装置（東ソ-HLC-723G7）導入	5月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー300回を迎える 会長 近藤武久 名誉会長 青井立夫 就任
3月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー200回を迎える	7月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ、トレーニングジム利用者100万人達成
4月	神戸市住民健診事業の全面委託を受ける 自動免疫測定装置（富士レビオLUMIPULSEf）	10月	特定健診・特定保健指導事業推進本部の設置
		平成20年3月	ノロウイルス検査（リアルタイムRT-PCR法＝遺伝子検出）開始 灘区岩屋北町の土地（新館建設予定地）のJR西日本株式会社との取得・処分実施
		4月	神戸市住民健診から特定健診・特定保健指導制度に移行
		平成21年3月	胸部撮影用デジタルX線検診車すこやか15号完成

	高性能HbA1c分析装置 (DM-JACK Ex) 導入		建築床面積 6,970.54㎡
		12月	会長 南部征喜 就任
平成22年 1月	マルチスライスCT装置 (日立社ECLOS) 設置	平成25年 3月	デジタル胃部X線撮影装置 (東芝Raffine DREX-RF50101) 設置
6月	生化学自動分析装置 (日本電子 BM8020) 導入		胸部デジタルX線検診車すこやか19号完成
	採血管準備システム (テクノメディカ BC・ROBO-888) 導入		胃部デジタルX線検診車すこやか23号、27号完成
7月	自動血球装置 (シスメックスXT188i) 導入		上部消化管汎用スコープ (オリンパスGIF-PQ260) 導入
	X線骨密度測定装置 (HOLOGIC ExplorerC) 導入	11月	新館竣工
8月	会長 松村陽右 就任		建築面積 1,697.74㎡
			建築床面積 6,970.54㎡
平成23年 1月	財団法人JKA補助事業 胸部デジタルX線検診車すこやか17号完成		デジタル胸部X線撮影 (日立メディコ DHF-155H4、キャノンFPD-CXDI) 設置
2月	予防医学事業中央会技術研究会議開催を神戸で開催	平成26年 1月	健診センター落成
3月	子宮がん細胞診液状検体処理装置 (BDプレップステインフルセット) 導入		御影健診センター改修工事開始
	印刷機 (富士ゼロックス700Dijital Color Press) 導入	3月	1.5T磁気共鳴断層撮影装置 (シーメンス・ジャパンMAGNETOM ESSENZA A Tim+Dot System) 設置
7月	基本財産を増額し255,979千円となる 出捐は		
	兵庫県 3,000千円		
	神戸市 34,000千円		
	生活協同組合コープこうべ 6,700千円		
	渡邊一九 前名誉会長 1,000千円		
	兵庫県予防医学協会 211,279千円		
8月	ガスクロマトグラフ (GC-2010PlusAF) 導入		
10月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー400回を迎える		
12月	便潜血自動免疫化学分析装置 (DIANA) 導入		
平成24年 2月	胸部X線撮影デジタルシステム導入		
3月	胸部デジタルX線検診車すこやか18号完成		
6月	上部消化管内視鏡検査システム (オリンパス EVIS LUCERA CV-260)、上部消化管汎用ビデオスコープ (オリンパスGIF-PQ260) 導入		
	胸部デジタルX線検診車すこやか12号、14号完成		
8月	神戸市灘区岩屋北町に、新館建設着工 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 4,429.91㎡ 建築面積 1,697.74㎡		

2. 施設概要

事務局・健診センター

所在地		神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1
敷地面積		4,429.91㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート、地上5階 地下1階建
	建築面積	1,697.74㎡
	延床面積	6,970.54㎡

御影健診センター

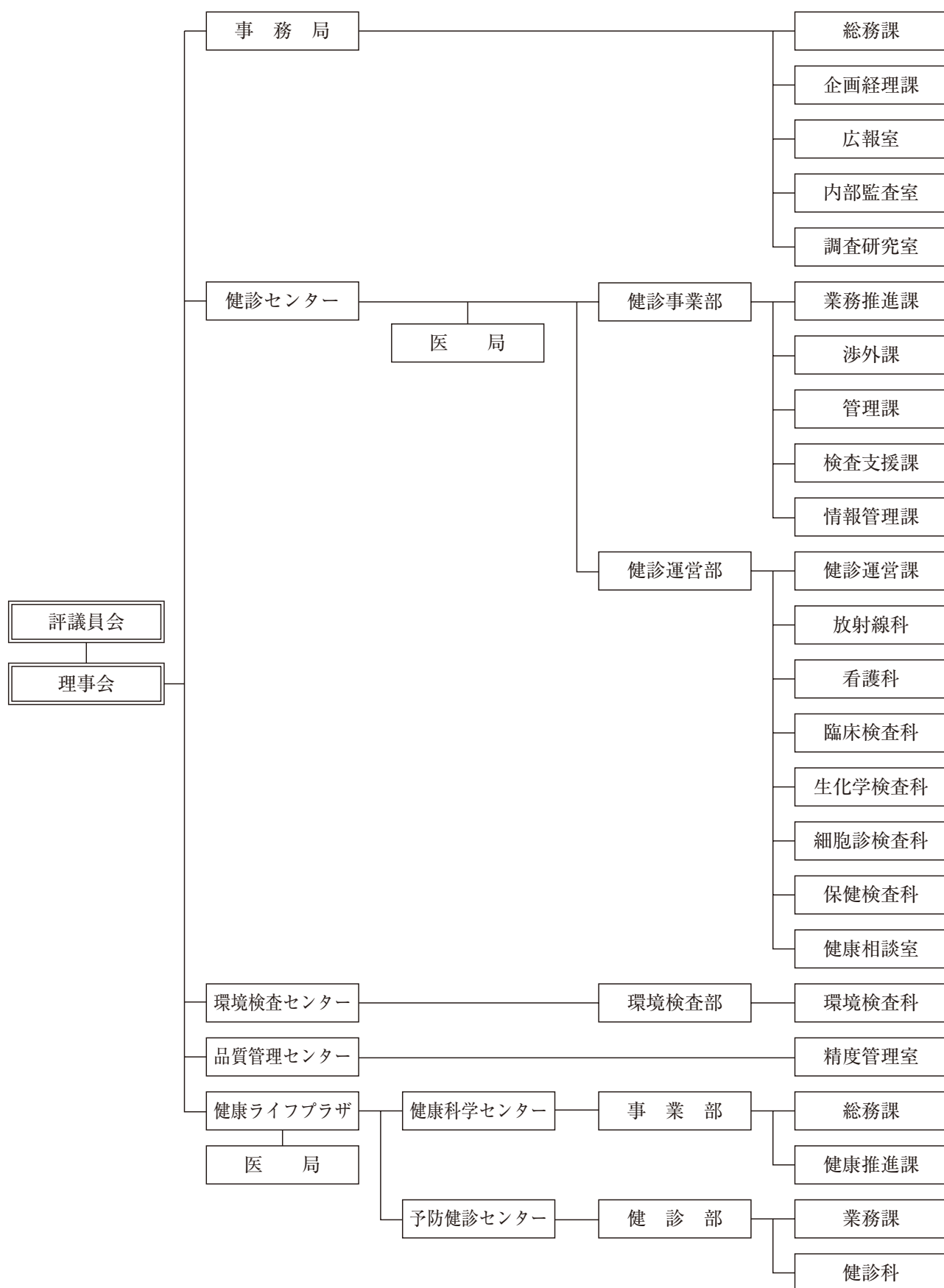
所在地		神戸市東灘区御影本町6丁目5-2
敷地面積		652.50㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート、6階建
	建築面積	443.88㎡
	延床面積	2,033.95㎡

神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ

所在地		神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2-300号
敷地面積		8,099.95㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート
	建築面積	4,878.06㎡
	延床面積	6,771.43㎡

3. 組織図

平成26年11月30日現在



4. 名簿

(1) 役員名簿

平成26年6月5日現在

役 職	氏 名	公 職 等	備 考
会 長	南 部 征 喜		
副 会 長	西 田 芳 矢		
〃	楨 村 博 之	一般社団法人神戸市医師会副会長	
常務理事	岡 秀 次		
〃	西 尾 利 一		
〃	安 田 敏 成		
理 事	岡 田 泰 長	一般社団法人神戸市医師会副会長	
〃	木 田 克 也	生活協同組合コープこうべ常務理事	
〃	田 中 良 樹	一般社団法人兵庫県医師会常任理事	
〃	池 窪 勝 治		
〃	泉 佳 延		
監 事	尾 崎 一 夫	尾崎会計事務所 税理士	
〃	中 嶋 徹	中嶋法律事務所 弁護士	

合計13名（理事11名 監事2名）

[任 期]

理 事 平成25年4月1日から平成27年6月定時評議員会の終結時まで

監 事 平成25年4月1日から平成29年6月定時評議員会の終結時まで

(2) 評議員名簿

(五十音順)

平成26年6月2日現在

氏 名	公 職 等	備 考
石 原 享 介	神戸市立医療センター西市民病院長	
岡 田 弘三郎	一般社団法人兵庫県医師会参与	
置 塩 隆	一般社団法人神戸市医師会会長	
渋谷 和 久	株式会社神戸新聞社地域活動局長	
太 城 力 良	学校法人兵庫医科大学副理事長	
野 原 秀 晃	兵庫県健康福祉部健康局長	
深 谷 隆	一般財団法人神戸市地域医療振興財団理事長 兼 西神戸医療センター院長	
藤 澤 正 人	神戸大学医学部附属病院長	
三 木 孝	神戸市保健福祉局長	
水 谷 隆 志	生活協同組合コープこうべ健康管理室統括部長	

合計10名

[任 期] 平成25年4月1日から平成29年6月の定時評議員会の終結時まで

(3) 顧問・名誉会長名簿

平成26年7月1日現在

役 職	氏 名	公 職 等
顧 問	井 戸 敏 三	兵庫県知事
〃	久 元 喜 造	神戸市長
〃	川 島 龍 一	一般社団法人兵庫県医師会会長
〃	高 士 薫	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
〃	石 垣 四 郎	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	藤 田 拓 男	神戸大学名誉教授
〃	河 野 通 雄	神戸大学名誉教授
〃	住 野 公 昭	神戸大学名誉教授
〃	中 村 肇	神戸大学名誉教授
〃	野 田 起一郎	近畿大学名誉学長
〃	多田羅 浩 三	大阪大学名誉教授
〃	松 村 陽 右	前公益財団法人兵庫県予防医学協会会長
〃	柴 谷 昭 治	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	森 脇 潤	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会理事
〃	岡 田 安 弘	神戸大学名誉教授

役 職	氏 名	公 職 等
名誉会長	青 井 立 夫	元公益財団法人兵庫県予防医学協会会長

5. 有資格者一覧

平成26年11月30日現在

医師	13名	細胞検査士	6名
保健師	7名	超音波検査士	2名
看護師	17名	マンモグラフィ検診認定技師	3名
管理栄養士	4名	胃がん検診専門技師	8名
臨床検査技師	44名	消化器内視鏡技師	7名
診療放射線技師	14名	選別聴力検査員	6名
環境計量士	3名	簡易専用水道検査員	18名
作業環境測定士（第一種）	3名	健康運動指導士	2名
衛生管理者	31名	労働衛生コンサルタント	2名
産業医	6名		

平成25年度 事業年報

第31号

平成26年12月20日発行

発行人 南 部 征 喜

編集人 東 塚 伸 一
事業年報編集委員会

発行所 公益財団法人 兵庫県予防医学協会
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1-8-1
電話 078(855)2716

印刷所 水山産業株式会社